

事務事業及び予算の執行実績
(令和3年度分)

産業革新局

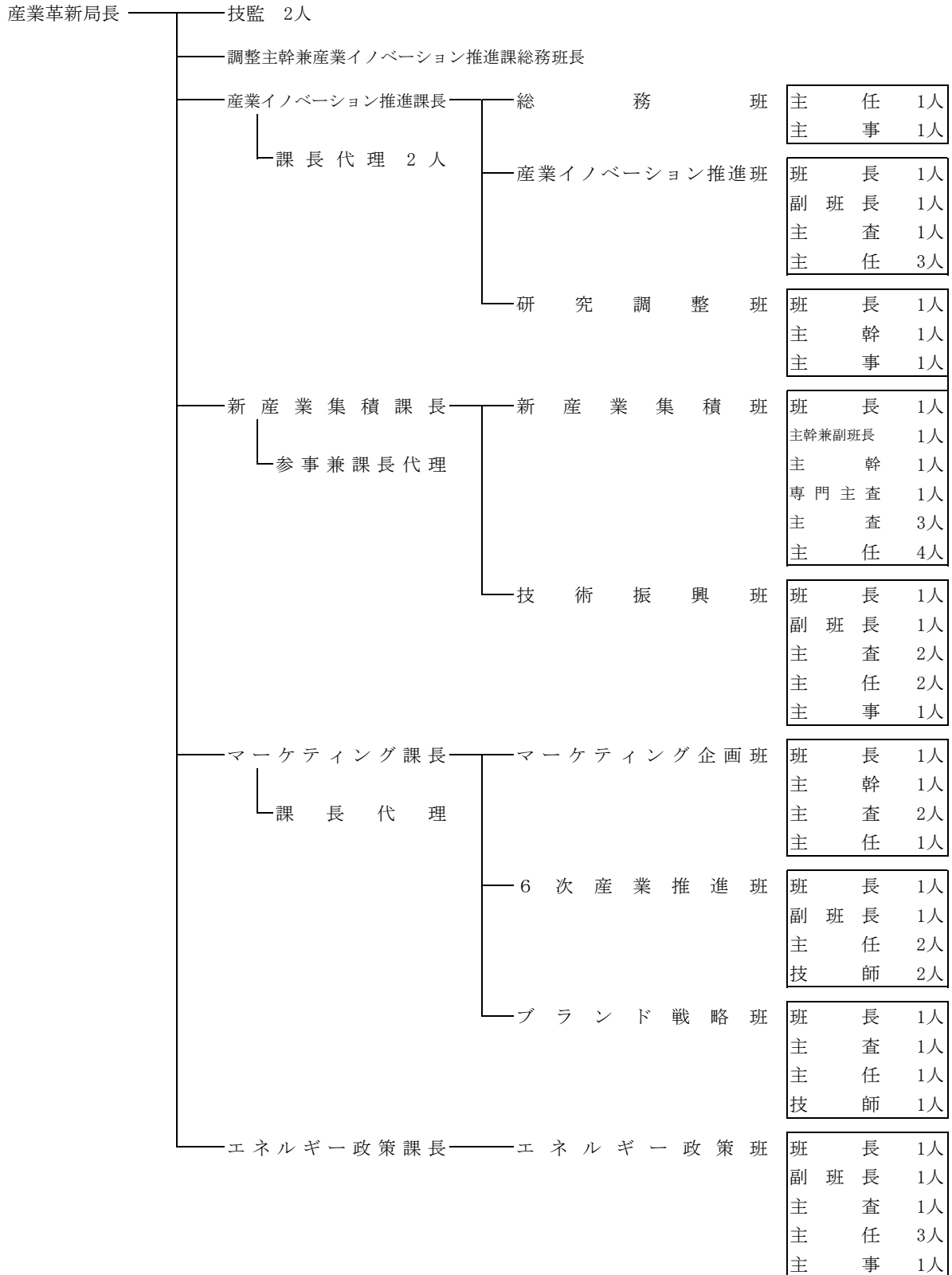
目 次

| | | |
|----|-------------------------|-----|
| 1 | 事務事業の概要 | 産革一 |
| | 産業革新局組織図 | 1 |
| | 産業イノベーション推進課 | 2 |
| | 新産業集積課 | 18 |
| | マーケティング課 | 34 |
| | エネルギー政策課 | 43 |
| | 事業の根拠法令調 | 54 |
| 2 | 職員配置調 | 56 |
| 3 | 過年度分収入未済額調 | 57 |
| 4 | 預金調 | 58 |
| 5 | 郵券等受払調 | 58 |
| 6 | 委託料等歳出予算執行状況節別集計表 | 59 |
| 7 | 委託料に関する調 | 60 |
| 8 | 補助金支出調 | 74 |
| 9 | 負担金支出調 | 88 |
| 10 | 交付金支出調 | 90 |
| 11 | 建築工事調 | 92 |
| 12 | 補助工事調 | 94 |
| 13 | 公有財産調 | 96 |
| 14 | 出資金調 | 98 |
| 15 | 基金の管理状況調 | 100 |
| 16 | 行政財産貸付・使用許可調 | 102 |
| 17 | 備品・図書調 | 104 |
| 18 | 主要備品調 | 105 |

事務事業の概要

【産業革新局】

<組織図>



職員数計 63人
(派遣等職員を除く)

(その他会計年度任用職員)

| 職名 | 人数 |
|----------|----|
| 会計年度任用職員 | 2人 |

I 産業イノベーション推進課

1 施策の体系（新ビジョン）

政策の柱・・・活躍しやすい環境の整備と働き方改革

目 標・・・技術革新や企業ニーズに対応する高度な知識と技術を持つ人材を育成する。

施 策 産業人材の確保・育成

取 組 高度な知識と技術を持つ人材の育成

政策の柱・・・次世代産業の創出と展開

目 標・・・地域企業の成長産業分野への参入を促進し、経済変動に強い産業構造を構築する。

施 策 新たな成長産業の育成

取 組 産業を牽引する研究開発の推進

政策の柱・・・富を支える地域産業の振興

目 標・・・中小企業・小規模企業の経営力の向上、経営基盤の強化を促進する。

施 策 中小企業の経営力向上

取 組 IoT等を活用した生産性の向上

2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 「高度な知識と技術を持つ人材の育成」

ア 「ICT人材の確保・育成」

(ア) 重 ぶじのくに ICT人材育成事業費 79,628,545円 国 定額

| | | |
|---|-------|-------------|
| 〔 | 内 委託料 | 26,347,397円 |
| | 補助金 | 17,672,948円 |

第4次産業革命の進展等に伴うAI・ICT人材の圧倒的な不足に対応するため、「ぶじのくにICT人材確保・育成戦略」で掲げた4つの階層毎に、首都圏等のスタートアップ企業と県内企業とのビジネスマッチングや県内大学と連携した人材育成講座等の施策を展開した。

a 「ぶじのくにICT人材育成協議会」の設置・運営

産学官が連携してICT人材の確保・育成に向けた課題に対応するため、学識経験者等で構成する「ぶじのくにICT人材育成協議会」を開催した。

<ふじのくに ICT 人材育成協議会>

| 区分 | 氏名 | 所属等 |
|--------|--------|-------------------------------------|
| 学識経験者 | 池田 哲夫 | 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科教授 静岡県デジタル戦略顧問 |
| | 塩見 彰睦 | 静岡大学情報学部情報科学科教授 |
| | 湯瀬 裕昭 | 静岡県立大学経営情報学部経営情報学科教授 |
| 企業 | 山本 敬介 | 株式会社ジオロケーションテクノロジー代表取締役社長 |
| | 渡邊 嘉彦 | 伊豆技研工業株式会社専務取締役 |
| 産業支援機関 | 阪口 瀬理奈 | 静岡県産業振興財団（ふじのくにICT人材育成プロデューサー） |

b ふじのくに ICT 人材育成事業に係るウェブサイトの運営

ふじのくに ICT 人材育成事業を効果的に実施するため、イベントや講座等の情報を広く発信する公式ウェブサイトを運営した。

c 「ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー」の設置

本県における ICT 人材の確保・育成に係る施策等を効果的かつ円滑に進めるため、県や関係団体、企業等に対し、AI や IoT などの先端技術導入に係る専門的な助言、指導等を行う「ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー」を 1 人配置した。

d 「TECH BEAT Shizuoka」の開催

県内企業と首都圏等の ICT スタートアップ企業との協業を促す商談会を開催した。

新型コロナウイルス感染拡大の防止やデジタル社会への変革を促す観点から、全てオンラインで実施した。

| 区分 | | 開催実績 |
|---|----------------|----------------------|
| TECH BEAT Shizuoka for Blue and Green Economy | 日時 | 令和 3 年 8 月 30 日 |
| | 開催方法 | オンライン |
| | スタートアップ企業の参加状況 | 17社 |
| | 参加登録者数 | 692人 |
| | 延べ視聴回数 | 2, 494回 |
| | 商談件数 | 28件 |
| TECH BEAT Shizuoka WEEK | 日時 | 令和 4 年 1 月 17 日～21 日 |
| | 開催方法 | オンライン |
| | 延べ視聴回数 | 1, 227回 |
| TECH BEAT Shizuoka 2021 | 日時 | 令和 4 年 1 月 25 日～26 日 |
| | 開催方法 | オンライン |
| | スタートアップ企業の参加状況 | 89社 |
| | 参加登録者数 | 1, 815人 |
| | 延べ視聴回数 | 3, 497回 |
| | 商談件数 | 103件 |

e ICT 拠点形成に向けた支援

首都圏等の ICT 企業の県内進出を促進するため、事業所開設に係る経費を支援した。

<ICT 関連産業立地事業費補助金>

| 区分 | 内容 | 実績 |
|-------|---------------------------------|-----|
| 補助対象者 | 新たに県内に ICT 関連事業所（高度人材配置）を開設した企業 | 7 件 |
| 対象経費 | 賃借料、通信費、人件費、改修費 | |
| 補助期間 | 3 年間（改修費は 1 回限り） | |
| 補助率 | 1/2（交流拠点を整備した場合 2/3） | |

<ICT 企業誘致タスクフォース>

タスクフォースの概要

| 区 分 | 内 容 |
|------------|---|
| ターゲットとなる企業 | 首都圏等の ICT 企業等 |
| メンバー | 静岡県：産業イノベーション推進課、総合政策課、東京事務所 等 市 町：誘致の意欲がある県内市町（31 市町） オブザーバー：国、金融機関、産業支援機関、教育機関 等 （必要に応じて参画を打診） |

フォームマーケティング（令和 3 年 6 月）

| 区分 | 実績 | 備考 |
|--------------------------|------|--------------------|
| フォームマーケティングにより新規に開拓した企業数 | 27 社 | 3,530 社にアンケート送信 |
| 東京事務所の面談実施企業数 | 49 社 | 78 社にアプローチ（面談申し込み） |
| リストアップした有望企業数 | 32 社 | 「進出意向」又は「進出可能性あり」 |
| うち市町に取り次いだ企業数 | 3 社 | |

静岡県内市町魅力紹介オンライン・プレゼンテーション（令和 3 年 11 月 10 日）

| 区分 | 実績 | 備考 |
|------------|-------|-------------------------------------|
| 参加市町 | 12 市町 | 浜松、磐田、菊川、島田、川根、藤枝、静岡、富士、沼津、長泉、三島、伊東 |
| 参加 ICT 企業数 | 8 社 | 県内進出に興味のある ICT 企業に周知 |

静岡県内市町課題紹介オンライン・プレゼンテーション（令和 4 年 1 月 25 日、26 日）

| 区分 | 実績 | 備考 |
|--------------|------|----------------------------------|
| 参加市 | 4 市 | 浜松、藤枝、焼津、静岡 |
| 参加スタートアップ企業数 | 89 社 | 「TECH BEAT Shizuoka 2021」参加企業に周知 |

f 県内大学等と連携した ICT 講座の開催

県内企業の中核人材を育成するため、県内大学等との連携講座を実施した。

<静岡大学連携講座>【オンライン】

| テーマ | レベル | コース | 開催日 | 受講者数 |
|--|-----|----------|--------------------|------|
| データ分析 （自社のデータを 活用して課題解決 力を養う） | 基礎編 | 販売データ | 9 月 8 日、15 日、22 日 | 33 人 |
| | | 検査・作業データ | 9 月 10 日、17 日、24 日 | 25 人 |
| | 応用編 | — | 10 月 6 日 | 36 人 |

<静岡県立大学連携講座>

| テーマ | 開催日 | 受講者数 |
|--------------------|----------------|------|
| 機械学習【オンライン】 | 7月24日 | 16人 |
| マーケティングリサーチ【オンライン】 | 8月28日、9月4日 | 9人 |
| IoT基礎 | 10月2日、9日 | 8人 |
| 分析ソフト「R」 | 11月13日、20日、27日 | 8人 |
| Pythonプログラミング | 12月11日、18日 | 19人 |

<沼津高专連携講座>【オンライン】

| テーマ | 開催日 | 受講者数 |
|-----------------|-----------------------------|------|
| AI・ディープラーニングの概要 | 7月21日、22日、 8月20日、21日、29日 | 37人 |

g DX（デジタルトランスフォーメーション）推進講座の開催

企業のDXを促進するため、経営者層と、DX担当リーダーを対象とした講座をオンラインで実施した。

| テーマ | 開催日 | 受講者数 |
|-----------------|--------------|------|
| 自社のDXのロードマップを描く | 9月9日、16日、30日 | 24人 |

h ジュニアプログラミングコンテストの開催

小中高生を対象にプログラミング作品を夏休みに募集し、優秀作品を表彰するコンテストを開催した。

<最終審査会・授与式>

| 区分 | 内容 |
|-------|-----------------------------------|
| 日時 | 令和3年10月31日 |
| 開催手法 | オンライン |
| 内容 | ・最終審査プレゼンテーション（17作品） ・マイクラフト実況 |
| 応募作品数 | 100作品 |

i ジュニアプログラミングキャンプの開催

ジュニアプログラミングコンテストの入賞者等を対象に、さらにプログラミングスキルを向上することを目的にしたオンラインキャンプを開催した。

| 区分 | 内容 |
|-----|---|
| コース | 5コース（AI・機械学習、ブロックチェーン、タッチレス操作ソフト開発等） |
| 講師 | 首都圏スタートアップ、県内企業等のエンジニア |
| 参加者 | 15人（中学生12人、高校生3人） |
| 日程 | ・1月23日 コースごとに知識・技術をインプット、作品制作開始 ・2月6日 作品の進捗報告、質疑応答 ・2月20日 作品の最終調整、グループごとに作品発表 |

j ジュニアプロコンコミュニティの形成

プログラミングコンテスト入賞者やキャンプ参加者等など、ハイスキルな次世代人材のネットワークづくりを新たに開始した。

| 区分 | 内容 |
|------|---|
| 参加者 | 30人程度（中学生～大学生） |
| 内容 | プログラミングの勉強会や作品発表等 |
| 活動実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月27日 デザイン勉強会 ・9月12日 3Dゲームの作り方 ・12月18日 作品発表会 |

(2) 「産業を牽引する研究開発の推進」

ア 「マリンバイオテクノロジーを活用した産業の振興」

| | | | | | | |
|---------------------|---|-------|--------------|-----|---------------|--|
| (ア) 重 マリンバイオ産業振興事業費 | 319,917,140 円 | 国 1/2 | | | | |
| | <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>内 委託料</td> <td style="text-align: right;">60,792,820 円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">254,219,849 円</td> </tr> </table> | 内 委託料 | 60,792,820 円 | 補助金 | 254,219,849 円 | |
| 内 委託料 | 60,792,820 円 | | | | | |
| 補助金 | 254,219,849 円 | | | | | |

海洋産業の振興と海洋環境保全の世界的拠点の形成を目指すマリンオープンイノベーションプロジェクト（MaOIプロジェクト）を推進するため、推進体制の整備、拠点機能の形成、研究開発と産業応用の促進、ネットワークの構築に取り組んだ。

a MaOIプロジェクト戦略推進委員会の開催

産学官金で構成するMaOIプロジェクト戦略推進委員会を開催し、「MaOIプロジェクト第1次戦略計画」の進捗評価や達成目標の追加設定を行った。

<MaOIプロジェクト第1次戦略計画達成目標の進捗>

| 指標名 | 令和3年度 達成状況 | 令和6年度 最終目標 |
|-------------------------|-------------------------|---------------|
| MaOIフォーラム参画会員数 | 122 会員 (目標:130 会員) | 160 会員 |
| MaOI海洋生物資源ライブラリー利用件数 | 9 件 (目標5 件) | 年間 30 件 |
| MaOIデータベース利用件数 | 8,599pv (目標:1,500pv) | 年間 6,200pv |
| プロジェクトにおける共同研究等件数 | 累計 32 件 (目標:20 件) | 累計 50 件 |
| プロジェクト事業化(製品・サービス事業化)件数 | 累計 8 件 (目標: 3 件) | 累計 30 件 |

b 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構（MaOI機構）

プロジェクトの推進機関である一般財団法人マリンオープンイノベーション機構が主体となり、会員ネットワーク組織「MaOIフォーラム」の運営や、県内外の大学や研究機関と地域企業とのマッチングなど、研究開発と事業化の総合的な支援を行った。

<MaOI機構>

| 区分 | 内容 |
|------|---|
| 設立 | 令和元年7月1日 |
| 基本財産 | 300万円（県100%出資） |
| 所在地 | 清水マリビル2階（静岡市清水区日の出町） |
| 役割 | ・研究シーズと企業ニーズのマッチング ・海洋生物資源のライブラリ・データベースの構築 ・MaOIフォーラムの運営 ほか |
| 理事長 | 松永 是（JAMSTEC 顧問、東京農工大元学長） |
| 体制 | 理事長、専務理事兼事務局長、統括プロデューサー、プロデューサー、データサイエンティスト、コーディネーター、総務部長 等 |

<MaOIフォーラム>

| 区分 | 内容 |
|--------|---|
| 設置 | 令和元年10月 |
| 会員 | 122 会員（一般：50 会員、サポーター：72 会員）※令和4年3月末現在 <一般会員> ・MaOIプロジェクトに関心を持つ法人、団体及び個人 ・会費：5万円/口 <サポーター会員> ・国、関係機関、地方自治体、大学・研究機関 等 ・会費：無料 |
| 主な事業内容 | ・セミナー、交流会等の開催 ・関連情報の提供 ・大学等研究機関と企業等とのマッチング支援 ・その他研究開発と事業化に係る総合的な支援 |

c シーズ創出研究

本県独自の技術シーズを早期に創出するため、「シーズ創出研究委託」を公募し、産業振興や国際社会の課題解決に資する先端的な研究開発を8件（継続6、新規2）採択・実施した。

このほか、県直営の研究として水産・海洋技術研究所でドウマンガニの完全養殖に向けた研究を実施した。

<シーズ創出研究委託の概要>

| 区分 | 内容 |
|-------|--------------------------------|
| 委託対象者 | 大学等研究機関（企業又は県研究機関とのコンソーシアムも対象） |
| 上限額 | 10,000 千円/年 |
| 期間 | 3年以内（毎年度継続審査を実施） |

<令和3年度採択テーマ>

| 区分 | 研究テーマ | 提案者（協力者） |
|----|----------------------------|-----------------------------------|
| 継続 | キンメダイの飼育技術の構築 | 東京海洋大学 （県水産・海洋技術研究所） |
| | 静岡県産魚類由来成分による失明疾患の制御に関する研究 | 慶應義塾大学 （静岡大学） （県水産・海洋技術研究所） |

| | | |
|----|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 継続 | 深海環境において生分解性を示すバイオプラスチックの構造探索 | 東京工業大学 (県水産・海洋技術研究所) |
| | 駿河湾由来のカロテノイド生産微生物の探索とサプリメント開発への応用 | 静岡県立大学 (県工業技術研究所) (はごろもフーズ(株)) |
| | 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 | 高知大学 (国立感染症研究所) |
| | 動画撮影とAI認識による駿河湾サクラエビ漁業支援システム開発 | 東海大学 (県工業技術研究所)他 |
| 新規 | サクラエビの初期生活史の解明および受精卵の凍結保存技術の開発 | 静岡大学 (県水産・海洋技術研究所) |
| | 海洋環境ワイヤレスモニタリングのための微生物燃料電池の開発 | 東京工業大学 (県工業技術研究所) |

d マリンオープンイノベーション事業化促進助成

海洋生物資源の機能を活用した製品の開発等による事業化の取組や、バイオテクノロジーを活用した革新的な養殖・種苗生産等による事業化の取組を6件(継続5、新規1)支援した。

<事業化促進助成の概要>

| 区分 | 内容 |
|-------|--|
| 補助対象者 | 民間事業者2者以上又は民間事業者2者以上及び大学等からなる事業化コンソーシアム(県内民間事業者を代表機関とする) |
| 補助率 | 2/3 |
| 上限額 | 20,000千円/年 ※複数年計画の場合は合計で40,000千円 |
| 期間 | 3年以内(毎年度継続審査を実施) |

<令和3年度採択テーマ>

| 区分 | 事業計画名 | コンソーシアム名及び構成員 |
|----|---|--|
| 継続 | 浸透圧調節等を利用した安全で美味しいニジマスの養殖生産技術「味上げ」の開発とブランド化 | 静岡ニジマス味上げコンソーシアム ・柿島養鱒(株)、(株)ニチモウリカルチャー、(株)テクノスルガ [®] 、東京大学、理化学研究所 |
| | 電気分解を応用した魚介類の陸上養殖(閉鎖循環式)の高生産化に寄与する技術開発 | 電解を応用した陸上養殖高生産化技術開発コンソーシアム ・イノベティブ・デザイン・テクノロジー(株)、(株)澤の金魚屋、東海大学 |
| | 鯖発酵調味料の製品化による、特徴ある地域ブランド新製品開発 | 焼津マリンバイオコンソーシアム ・(株)岩清、焼津水産加工協同組合 |
| | 超高齢社会の課題である認知症予防に寄与する機能性食品の開発 | 認知症予防に寄与する機能性食品の開発に向けたコンソーシアム ・三生医薬(株)、はごろもフーズ(株) |
| | まぐろ頭未利用部位からのプロテオグリカン抽出技術の確立と化粧品開発 | まぐろ頭未利用部位からのプロテオグリカン抽出技術の確立と化粧品開発 ・(株)Dr.シーバ [®] 、(株)女性貸付カンパニー |
| 新規 | 熱海沖で採取された海洋酵母が生産する新規カロテノイドの化粧品原料としての事業化 | 海洋酵母コンソーシアム ・ケイアイ化成(株)、ビタミンC60バイオサーチ(株) |

e 海洋技術開発促進助成

マリンバイオテクノロジーの産業応用の基盤となる工学系・情報系分野における技術開発の取組を、3件（継続1、新規2）支援した。

<海洋技術開発促進助成の概要>

| 区分 | 内容 |
|-------|---------------------------------------|
| 補助対象者 | 大学等と連携して技術開発を実施する県内企業 |
| 補助率 | 2 / 3 |
| 上限額 | 10,000 千円 / 年 ※複数年計画の場合は合計で 20,000 千円 |
| 期間 | 2 年以内（毎年度継続審査を実施） |

<令和3年度採択テーマ>

| 区分 | 事業計画名 | 申請者（協力機関） |
|----|--|---|
| 継続 | サーモン陸上養殖をより効率化できる、センサーデバイスシステムの技術開発と陸上養殖技術の確立 | 日建リース工業(株) (東海大学、(株)AmaterZ、静岡大学、千葉工業大学) |
| 新規 | 深海探査機「COEDO」および環境観測マイクロデバイスによる駿河湾海底環境・生態系モニタリング技術の開発 | いであ(株) (JAMSTEC、東京工業大学) |
| | 安全装置付食品加工バンドソーの開発 | 秋山機械(株) (工業技術研究所、静岡大学、(株)エヌエスティー) |

f 美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会

世界に誇るべき美しく豊かな静岡の海を未来につないでいくため、静岡の海に関する様々な人々・企業・団体等の連携・協働を促進する取組を実施した。

<会の概要>

| 区分 | 内容 |
|------|--|
| 設立 | 令和2年2月14日 |
| 会長 | 知事 |
| 事務局 | 一般財団法人マリンオープンイノベーション機構 |
| PR大使 | 青山沙織（深海魚ガール。元沼津市地域おこし協力隊） 三浦愛（釣りガール。元焼津市地域おこし協力隊） さこリッチ（吉本興業 静岡県住みます芸人） |
| 活動内容 | ・海洋環境の保全に係る「自主プロジェクト」の企画・実施 ・静岡の海に関する活動の支援（情報発信、交流促進等） ・新たな取組の創出支援（分科会活動） ほか |
| 会員 | 会の趣旨に賛同する個人、企業、団体 |
| 会員数 | 207 会員（個人：34、家族：4、法人：39、応援：80、パートナー：50） ※令和4年3月末現在 |

<「海の森づくり体験教室」の実施>

海藻の繁殖地「藻場」の保全・回復を柱とした「静岡の海の森づくりプロジェクト」の一環として、漁業者、研究機関、行政、教育機関等と連携し、海の大切さを子供たちに伝える参加型の体験教室を実施した。

| 区分 | 内容 |
|------|--|
| 開催日 | 令和3年11月20日 |
| 開催場所 | オンライン |
| 参加者 | 57人（うち、県内小学生と保護者16組・32人） |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・サガラメの話&海の中の話 ・教室①「チリメンモンスター～静岡の海のなかま」 ・教室②「ミニ深海魚教室」 |

<交流会の開催>

会員の交流の促進や情報交換を行うため、オンラインで交流会を開催した。

| 区分 | 内容 |
|-----|--|
| 開催日 | 令和4年3月2日 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーによる活動発表 ・トークセッション |

g 世界で最も美しい湾クラブ

駿河湾が加盟する「世界で最も美しい湾クラブ」の活動として、年次総会にオンラインで参加した。

イ 「新成長戦略研究等による研究機能強化」

(ア) 重 新成長戦略研究費

214,324,471円 県

内 委託料 61,732,441円

本県産業の成長に貢献するため、大学や民間企業等と連携して15課題（新規3、継続12）の新成長戦略研究に取り組んだ。実施に当たっては、有識者による客観的評価を徹底し、評価結果を踏まえて効率的・効果的に研究を進めた。

また、新成長戦略研究以外に、緊急的な政策課題に対応する2課題の研究及び研究所の研究領域拡大にチャレンジする5課題の研究を実施した。

<新規課題（3課題）>

| 研究課題名（研究期間） | 研究概要 | 中核及び連携機関 |
|--|---|---|
| 人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発（R3～R5） | 次世代ヘッドランプに必要なコミュニケーションライティングシステム（CLS）用樹脂レンズの開発技術の確立と部品性能評価技術の開発 | 工業技術研究所、新産業集積課、浜松工業技術支援センター、民間企業等 |
| 首都圏へ供給拡大!! イチゴ生産を革新する「超促成」「超多収」「高収益」システムの開発（R3～R5） | イチゴ供給拡大のため、作期を拡大する栽培技術及び収穫量を増加する環境制御・施肥・病害虫管理技術の開発 | 農林技術研究所、農芸振興課、マーケティング課、農林事務所、JA静岡経済連、民間企業 |

| 研究課題名（研究期間） | 研究概要 | 中核及び連携機関 |
|-----------------------------------|--|--|
| 浜名湖のアサリ漁業の再生に向けた資源増殖研究 (R3～R5) | 浜名湖のアサリ漁獲量の回復のため、浜名湖の環境変化、食害等アサリ資源の変動に関わる要因の解明及びアサリ増殖手法の開発 | 水産・海洋技術研究所、水産資源課、環境衛生科学研究所、東北大学、静岡大学、海洋研究開発機構（JAMSTEC） |

< 継続課題（12 課題） >

| 研究課題名（研究期間） | 研究概要 | 中核及び連携機関 |
|---|---|---------------------------------------|
| 再生医療に貢献する無菌ブタとその飼育システムの開発 (H29～R3) | 医療材料としての無菌ブタ供給システムの構築や実験用の特殊なブタを開発し、本県医療産業の振興を支援 | 畜産技術研究所、新産業集積課、畜産振興課、九州大学、民間企業等 |
| 大規模トマト生産を支援する生体モニタリングによる農薬と生産ロス削減技術の開発 (R1～R3) | 大規模トマト生産における病害虫及び生理障害による生産ロスを削減し、農薬に依存しない管理技術を開発 | 農林技術研究所、農芸振興課、地域農業課、静岡大学、民間企業等 |
| 世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培」を発展させる種苗産業と新栽培体系の確立 (R1～R3) | ワサビ苗不足を解消するための実生苗大量生産システム及び特徴的で高付加価値なワサビ生産技術の開発 | 農林技術研究所、農芸振興課、環境衛生科学研究所、静岡県立大学、静岡大学等 |
| 無臭養豚管理技術の開発に関する研究 (R1～R3) | 全国に先駆けて無臭化に向けた養豚脱臭システムを開発し、県民生活と養豚業の共存を実現 | 畜産技術研究所、畜産振興課、工業技術研究所、民間企業等 |
| IoT 導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築 (R1～R3) | 「IoT 導入初心者」企業を主な対象とした IoT 導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築 | 工業技術研究所、産業イノベーション推進課、静岡大学、民間企業等 |
| 次世代自動車軽量化のための CNF 複合材の開発 (R1～R3) | 県内企業の CNF 関連産業参入支援のため、マスターバッチの開発及び製造技術の普及 | 工業技術研究所、新産業集積課、静岡大学、民間企業等 |
| 新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料 (CFRP) の高効率成形技術の確立 (R2～R4) | CFRP の成形時間短縮を図り、大量生産に適した生産性の高い成形技術を確立 | 工業技術研究所、新産業集積課、静岡大学、民間企業等 |
| 荒茶販売額を倍増する「静岡型ドリンク向け茶生産システム」の開発 (R2～R4) | ドリンク向けの荒茶販売額を倍増させる省力、多収、低コスト栽培・製茶技術の開発 | 農林技術研究所、お茶振興課、工業技術研究所、静岡理工科大学、民間企業 |
| 世界市場に向けた新時代の「静岡茶アクティブ有機栽培技術」の開発 (R2～R4) | 茶有機栽培面積、茶輸出額を増加させる有機栽培の病害虫防除及び施肥管理の技術開発 | 農林技術研究所、お茶振興課、畜産振興課、地域農業課、静岡大学、民間企業 |
| 気候変動に対応した超晩生温州みかんの早期普及とみかん産地静岡の生産力強化 (R2～R6) | 超晩生温州みかんの早期普及に向けた生育特性の解明及び温州みかんの高品質安定生産技術の開発 | 農林技術研究所、農芸振興課、産業総合技術研究所、県経済農業協同組合連合会等 |
| 本県水産業におけるヒスタミンリスク管理手法の開発と HACCP 制度化に向けた展開 (R2～R4) | HACCP 制度化に対応するヒスタミン管理手法及びヒスタミンの増加抑制、品質向上技術の開発 | 水産・海洋技術研究所、水産振興課、東京海洋大学、中央水産研究所、民間企業 |

| 研究課題名（研究期間） | 研究概要 | 中核及び連携機関 |
|--|--|---|
| マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発（R2～R4） | 駿河湾等の海洋資源を活用した産業の振興と創出を図る海洋由来微生物の探索と製品開発 | 水産・海洋技術研究所、産業イノベーション推進課、工業技術研究所、沼津工業技術支援センター、農林技術研究所、畜産技術研究所、環境衛生科学研究所、民間企業 |

(イ) 研究環境整備事業費

8,599,271円 県

a 知的財産権の取得

各研究所の研究成果である発明のうち、技術移転が見込まれるものについては、特許を出願し権利化に努めるとともに、特許の実施許諾により産業界への技術移転を促進した。

<特許の出願・登録等件数（保有数：令和4年3月31日現在）> (単位：件)

| 区分 | 環衛研 | 工技研 | 農技研 | 畜技研 | 水技研 | 合計 | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 出願数 | 0 | 3 | 2 | 3 | 0 | 8 | |
| 海外 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 登録数 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 5 | |
| 海外 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 保有数 | 登録済 | 0 | 34 | 9 | 1 | 13 | 57 |
| | 海外 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | 出願中 | 0 | 13 | 10 | 4 | 5 | 32 |
| | 海外 | 0 | 4 | 3 | 0 | 0 | 7 |
| 許諾契約件数 | 0 | 17 | 3 | 0 | 3 | 23 | |

b 有識者の知見の活用

研究を効率的・効果的に実施するため、有識者で組織する静岡県試験研究機関外部評価委員会による事前・中間・事後評価、追跡調査及び現地指導を実施した。

<新成長戦略研究の評価等>

| 開催日 | 評価内容 |
|----------------------------------|-----------------|
| 令和3年6月4日～6月18日 令和3年7月5日～7月16日 | 研究書面評価(チャレンジ研究) |
| 令和3年9月9日 | 研究事前評価 |
| 令和4年1月17日 | 研究追跡調査報告会 |
| 令和4年2月21日、2月18日 | 研究中間・事後評価 |

<新成長戦略研究の現地指導（全15課題に関する指導・助言）>

| 農林技術研究所 | 畜産技術研究所 | 水産・海洋技術研究所 | 工業技術研究所 |
|---|----------|-----------------------|---|
| 本所：7月28日 11月11日 茶業：11月5日 果樹：11月11日 伊豆：7月28日 | 中小：7月15日 | 本所：11月17日 浜名：11月1日 | 本所：8月4日 11月8日 浜松：11月8日 富士：8月4日 |

c 研究員の資質向上

(a) 研修派遣

先端技術の習得などを通じて研究員の資質向上を図るため、各研究所の研究員を農林水産技術会議等が主催する研修に9人派遣した。

(b) 交流会の開催

研究員の資質向上と人的ネットワークの拡大を図るため、研究員の交流会を開催し、静岡県試験研究高度化推進顧問を交え、意見交換を実施した。

| 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|-----------|------|------------------------|
| 令和3年6月25日 | 県庁 | 新任研究員の情報交換、先輩研究員との意見交換 |

d 研究成果の情報発信

前年度の研究成果のうち、特に顕著な成果を試験研究10大トピックスとしてホームページや刊行物を通じて情報発信した。

| 区分 | 内容 |
|------------|--|
| 農林技術研究所 | 国内初！土着天敵を利用したミカンサビダニの生物的防除 |
| 畜産技術研究所 | 富士宮発、酒粕を給餌した地域ブランド牛肉を創出 |
| | AIによる牛の分娩検知システムを開発 |
| | 筋ジストロフィーモデルミニブタを開発 |
| | 乳牛ふんを燃料化する技術を開発 |
| 水産・海洋技術研究所 | 新しい人工衛星情報が、浜名湖の養殖現場で活用可能に |
| 工業技術研究所 | 車載ヘッドアップディスプレイ用光学部品の形状及び光学評価技術を開発 |
| | 独自のシミュレーション技術を活用し、難加工材の鍛造成型現象を予測 |
| 環境衛生科学研究所 | 脱炭素社会の実現に向けた志太榛原地域における地下水熱交換システム導入適地マップを作成 |
| | 《県民の健康を守る》新型コロナウイルス感染症の発生に伴うウイルス検査の対応 |

e 外部研究機関等との連携

連携協定を結ぶ国立大学法人静岡大学大学院の学生を農林技術研究所に1人受け入れ、次世代を担う研究員の育成と大学との交流促進に取り組んだ。

(3) 「IoT等を活用した生産性の向上」

ア 「中小企業へのIoT導入支援」

(ア) 中小企業IoT活用促進事業費 49,100,567円 国定額
(内 委託料 17,683,600円)

製造現場等へのIoT導入による中小企業の実業性向上を図るため、「静岡県IoT活用研究会」を中心とした普及、研究活動を行ったほか、工業技術研究所に設置した「静岡IoT推進ラボ」において、最新IoT機器の展示やセミナー等を実施した。

a 「静岡県 IoT 活用研究会」の運営

| 区分 | 内容 |
|------------|--|
| IoT 大学連携講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・座学講座（令和3年6月4日 講師：静岡大学教授） ・実習講座（静岡：令和3年6月22日、浜松：令和3年9月16日、沼津：令和3年12月17日） ・成果発表（静岡：令和3年9月8日、浜松：令和3年12月10日、沼津：令和4年2月24日） |
| 個別企業支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・機械の稼動状況のデータ取得等を支援（県内企業5社） |
| IoT 活用事例普及 | <ul style="list-style-type: none"> ・「産業振興フェア in いわた」にて「IoT 展示コーナー」を設置（令和3年11月12日、13日） ・「富士山麓産官学金連携フォーラム」にて「IoT 展示コーナー」を設置 ・IoT 個別相談（2社） ・IoT 活用研究会総会・セミナー（令和4年3月25日） |

b 「静岡県 IoT 推進ラボ」の運営

県内の中小企業の IoT 導入支援拠点となる「静岡県 IoT 推進ラボ」を運営した。中小企業が最新の IoT 機器を体験する機会を提供するため、出展企業の協力のもと、11月に展示機器を更新した。

<令和3年度見学者実績>

(単位:社・人)

| 区分 | 企業 | 金融機関 | マスコミ | 団体 | 研究機関 | 官公庁 | 学校 | 計 |
|-----|-----|------|------|----|------|-----|----|-----|
| 法人数 | 169 | 27 | 3 | 25 | 16 | 46 | 6 | 292 |
| 人数 | 341 | 31 | 3 | 48 | 28 | 60 | 62 | 573 |

<実習・セミナーの開催>

| 開催日 | 内容 | 人数 |
|--------|---|-----|
| 6月22日 | 令和3年度「わかりやすい IoT を用いた現場実装講座」in 静岡(大学連携講座) | 10人 |
| 8月24日 | IoT 入門研修会 ～導入事例の紹介と機器の実演～ 主催：北海道立工業技術センター web セミナー | 21人 |
| 9月8日 | 令和3年度 IoT 大学連携講座（実装成果発表会 in 静岡） | 10人 |
| 9月16日 | 令和3年度「わかりやすい IoT を用いた現場実装講座」in 浜松(大学連携講座) | 8人 |
| 12月10日 | 令和3年度 IoT 大学連携講座（実装成果発表会 in 浜松） | 8人 |
| 12月17日 | 令和3年度「わかりやすい IoT を用いた現場実装講座」in 沼津(大学連携講座) | 8人 |
| 2月1日 | 静岡県つながる工場テストベッド事業お披露目会(web 開催) | 70人 |
| 2月24日 | 令和3年度 IoT 大学連携講座（実装成果発表会 in 沼津） | 8人 |

c 「静岡県 IoT 推進ラボ」の拡充

県内中小企業の製造現場への IoT 導入を加速化するため、令和3年11月30日に沼津及び浜松工業技術支援センターにサテライトラボを開設した。

イ 「中小企業のロボット導入促進」

(ア) 中小企業ロボット導入促進事業費

5,536,287円 県

| | |
|-------|------------|
| 内 委託料 | 1,055,670円 |
| 内 補助金 | 250,000円 |

中小企業へのロボット導入を促進し、労働生産性を向上するため、「ふじのくにロボット技術アドバイザー」を配置するとともに、ロボットシステムインテグレータを育成する研修を行った。

a 「ふじのくにロボット技術アドバイザー」の配置

中小企業の製造現場を巡回訪問し、ロボット導入に関する相談や提案、システムインテグレータへの橋渡しを行う「ふじのくにロボット技術アドバイザー」を、浜松工業技術支援センターと工業技術研究所に設置した。

<ふじのくにロボット技術アドバイザー>

| 区分 | 西部 | 中部 |
|--------|--------------|------------------|
| アドバイザー | 長谷川 徹氏 | 窪寺 恒二氏 |
| 活動拠点 | 浜松工業技術支援センター | 工業技術研究所 |
| 訪問実績 | 60件、36社 | 24件、14社（令和3年9月～） |

b ロボットシステムインテグレータの育成

ロボットシステムインテグレートに必要な知識や技能、提案能力の習得を目的とした基礎的な研修を（一社）日本ロボット工業会に委託し実施した。

<ロボットシステムインテグレータ研修>（オンライン、実技：対面型）

| 区分 | 基礎編 | 上級編 |
|-----|--|-----------------|
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロボットSI事業の実施又は参入を目指すユーザー企業 ・自社内でロボットSI業務に携わる人材の育成を目指す企業 | |
| 期間 | 令和3年10月（6日間） | 令和3年12月（2日間） |
| 参加者 | 19人 | 8人 |
| 内容 | SIer業務基礎講座 | SIer業務基礎講座、実技講座 |

3 評価、課題及び改善

(1) 評価

| 指標名 | | 現状値 (2016年度) | 実績 | | | | | 目標値 (2021年度) |
|------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | |
| 活動指標 | 新成長戦略研究の成果の新たな実用化件数 | 7件 | 9件 | 10件 | 15件 | 7件 | 10件 | 8件 (毎年度) |
| 活動指標 | 静岡県IoT活用研究会の会員数 | 累計 188 社・団体 | 累計 232 社・団体 | 累計 262 社・団体 | 累計 276 社・団体 | 累計 308 社・団体 | 累計 329 社・団体 | 累計 320 社・団体 |

ア 「産業人材の確保・育成」については、首都圏等のスタートアップ企業と県内企業とのビジネスマッチング、県内大学等と連携した人材育成講座の開設等、「ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略」に沿った施策を進めるなど、着実に取り組んでいる。

イ 「新たな成長産業の育成」については、新成長戦略研究の成果の新たな実用化件数では、目標値を達成することができた。また、海洋産業の振興と海洋環境の保全の両立を図るMa O Iプロジェクトについては、中核拠点施設「Ma O I - P A R C」や海洋データプラットフォーム「B I S H O P」の整備を行うとともに、プロジェクトの支援により事業化の成果が生まれるなど、計画的に進捗している。

ウ 「中小企業の経営力向上」については、静岡県 IoT 活用研究会と IoT 推進ラボの連携を深め、新たに IoT 大学連携講座を西部、東部に展開し開催するなど、IoT 導入を促進する施策を強化したことなどにより、静岡県 IoT 活用研究会の会員数は目標値を達成することができた。また、中小企業へのロボット導入については、ふじのくにロボット技術アドバイザーの設置やロボットシステムインテグレータの育成を行うなど、着実に取り組んでいる。

(2) 課題

ア 「産業人材の確保・育成」については、急速に社会経済が変化する中で、新たな価値の創造や生産性の向上を図るため、ICT 人材の確保・育成、首都圏 ICT 企業の誘致の取組強化などが必要である。

イ 「新たな成長産業の育成」については、社会変化に伴う新たな課題を解決する研究開発・社会実装に貢献する技術支援、調査研究を推進する必要がある。また、脱炭素化、デジタル化等の社会変化に伴う県内産業の技術革新を促進するため、微生物等の海洋生物資源に着目したマリンバイオテクノロジー等の先端技術の産業応用を図ることが課題である。

ウ 「中小企業の経営力向上」については、静岡県 IoT 活用研究会の会員数の累計は目標値を達成したが、IoT の活用等による生産性向上に向けた取組を支援するため、製造現場等へのIoT の実装や活用、ロボット導入を更に促進する必要がある。

(3) 改善

ア 「産業人材の確保・育成」については、新型コロナウイルス感染症を契機に、中小企業のデジタル化の遅れが顕在化する中、「ふじのくに ICT 人材確保・育成戦略」に基づく ICT 人材の確保・育成の取組をより一層加速化するとともに、市町と連携し、首都圏の ICT 企業誘致の取組を強化していく。

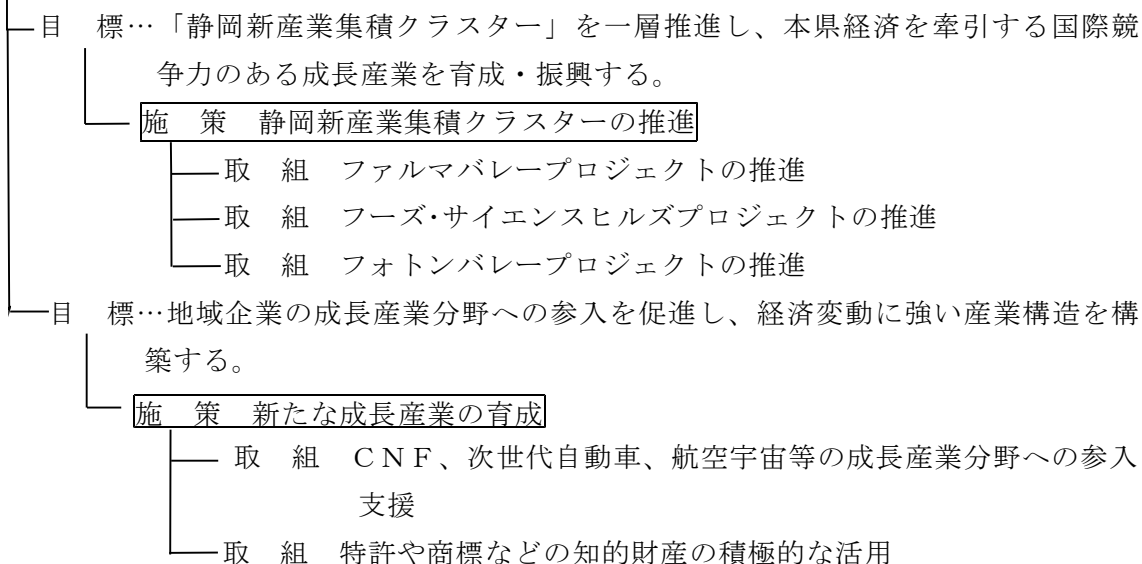
イ 「新たな成長産業の育成」については、「静岡県の試験研究機関に係る基本戦略」に基づき、本県産業の成長に貢献する研究開発や現場ニーズに対応し、社会実装につながる技術支援等を推進する。また、Ma O I プロジェクトについては、始動期における体制整備が概ね終了したことから、成果を早期に創出するとともに、データ駆動型の研究開発など、プロジェクトを高度化させる取組を進めていく。

ウ 「中小企業の経営力向上」については、静岡県 IoT 活用研究会と IoT 推進ラボが連携した IoT 大学連携講座を継続するほか、IoT 推進ラボの機能強化に取り組み、中小企業の製造現場等への IoT 技術、設備の導入を促進する。また、中小企業のロボット導入については、導入前の費用効果分析等に対する支援制度の利活用促進の取組を強化していく。

II 新産業集積課

1 施策の体系（新ビジョン）

政策の柱…次世代産業の創出と展開



2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 「ファルマバレープロジェクトの推進」

| | | | |
|-----|--------------------|----------------------|---|
| ア 重 | ファルマバレープロジェクト推進事業費 | 214,561,198円 | 県 |
| | | 〔 内 委託料 5,849,470円 〕 | |
| | | 〔 補助金 206,304,331円 〕 | |

(ア) 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業

「ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画」に基づき、事業の中核支援機関である（公財）ふじのくに医療城下町推進機構「ファルマバレーセンター」の管理運営費や活動費等に対し助成した。

また、「ふじのくに先端医療総合特区」について、医療健康産業政策で連携する山梨県の7市町への指定区域拡大等を盛り込んだ令和3年度からの5年間を期間とする新たな計画を開始した。

(イ) 健康長寿・自立支援プロジェクト

介護・自立支援機器等の研究開発を行う県内中小企業に対し助成したほか、20年後の住まいを考える共同研究の場として、令和3年3月に整備したファルマモデルルーム「自立のための3歩の住まい」の周知を図るとともに、モデルルームに関連する製品開発を促進した。

<ファルマモデルルーム「自立のための3歩の住まい」見学者の状況>

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 見学期間 | 令和3年3月8日（開所）から令和4年3月31日（337日※） ※緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により見学を中止した期間は除く |
| 見学者数 | 580名 |

<自立支援・介護支援機器等開発助成>

| 区 分 | 内 容 |
|------|--|
| 補助対象 | 高齢者等の自立やQOL（生活の質）の向上、介護者の負担軽減、その他介護現場の課題解決等に資する新たな製品の実用化に向けた事業 |
| 補助率等 | 補助率：1/2 上限額：300万円 |
| 助成実績 | 4件（うちモデルルーム関連製品1件） |

(ウ) 富士山麓ビジネスマッチング促進事業

富士山麓地域の12市町との協働により、ファルマバレープロジェクトにおける産学官連携から創出される製品化シーズと地域企業の技術とのビジネスマッチングをファルマバレーセンターが促進した。

(エ) 創薬探索研究事業

ファルマバレーセンター、県立大学創薬探索センター、環境衛生科学研究所が協力して創薬探索研究を実施した。

| 区 分 | 内 容 |
|--------------|---|
| ファルマバレーセンター | 約12万個（累計）の化合物を収集 大学等との共同研究の調整 |
| 県立大学創薬探索センター | がん、自己免疫疾患及び感染症を主要テーマにした評価法・分析法の研究及びスクリーニングの実施 |
| 環境衛生科学研究所 | 化合物ライブラリーの整備(化合物データベース、収集化合物の秤量・プレート作成、リファレンスライブラリーの作成) |

| | | | | | | | |
|--------------------------|--|---|-------------------|---|--|----------------|--|
| イ 静岡県医療健康産業研究開発センター管理運営費 | 55,636,835円 県 | | | | | | |
| | <table border="0"> <tr> <td style="font-size: 2em;">[</td> <td style="padding-left: 10px;">内 委託料 54,755,019円</td> <td style="font-size: 2em;">]</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-left: 10px;">工事請負費 759,000円</td> <td></td> </tr> </table> | [| 内 委託料 54,755,019円 |] | | 工事請負費 759,000円 | |
| [| 内 委託料 54,755,019円 |] | | | | | |
| | 工事請負費 759,000円 | | | | | | |

指定管理者である（公財）ふじのくに医療城下町推進機構を通じ、施設の管理運営を行うとともに、別棟の一部について改修工事を実施した。

<施設概要>

（令和3年度末現在）

| 区 分 | 内 容 |
|-------|---|
| 所在地 | 駿東郡長泉町下長窪1002-1 |
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造3階、鉄骨造 敷地面積：約43,000㎡、延床面積：約17,000㎡ 平成28年3月に一部開所、平成28年9月に全部開所 |
| 入居企業 | テルモ(株)MEセンター、東海部品工業(株)ほか9社 |

施設の利用状況

1 指定管理者制度導入の状況

| 期 間 | 委託金額 (円) | 利用料金制 |
|------------------|------------------|-------|
| 令和3.4.1～令和8.3.31 | 令和3年度 54,800,000 | 採用 |

2 施設の利用状況

(令和3年度)

| 利用状況 年 度 | | (施設名:静岡県医療健康産業研究開発センター)会議室・ホール等 | | | | | |
|-------------|------|---------------------------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|
| | | 開館日数 (A) | 室 数 (B) | 供用数 (C) | 利用数 (D) | 利用率(%) (D/C) | 利用料金等(円) |
| 元 年 度 | 実 績 | 241 | 10 | 28,920 | 4,202 | 14.5 | 2,587,500 |
| | 対前年比 | (99%) △3 | (100%) 0 | (99%) △360 | (36%) △7,426 | — | (41%) △3,728,300 |
| 2 年 度 | 実 績 | 247 | 10 | 29,640 | 7,686 | 25.9 | 4,909,600 |
| | 対前年比 | (102%) 6 | (100%) 0 | (102%) 720 | (183%) 3,484 | — | (190%) 2,322,100 |
| 3 年 度 | 実 績 | 236 | 10 | 28,320 | 8,065 | 28.5 | 6,033,500 |
| | 対前年比 | (96%) △11 | (100%) 0 | (96%) △1,320 | (105%) 379 | — | (123%) 1,123,900 |

(2) 「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進」

ア フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費

257,670,603円 国 1/2

| | |
|-------|--------------|
| 内 委託料 | 36,555,267円 |
| 補助金 | 214,549,171円 |

(ア) フーズ・ヘルスケアプロジェクト連携促進・PR事業

「フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画」に基づき、事業の中核支援機関である(公財)静岡県産業振興財団「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター」の管理運営費や活動費に対し助成した。

(イ) 高付加価値型食品等開発推進事業

高付加価値型食品等の開発や事業化を目指す地域企業を支援するため、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターが地域企業による事業化の前段階である試作・実証試験に対して助成したほか、異分野の企業のグループによる食品等開発研究会の活動を支援した。

(ウ) 化成品・加工機械開発推進事業

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターが化成品・加工機械の開発や販路拡大に取り組む地域企業に対し、製品開発助成や展示会出展支援等を行った。

(エ) 健康食イノベーション推進事業

健康食産業を振興するため、健康食フォーラムの開催や展示会への出展、研究開発に対する助成を行うフーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターに助成したほか、健康と食に関するデータを収集・解析し、製品やサービスの創出を支援する体制を整備・運営する静岡県立大学に対し助成した。

また、新たなヘルスケア産業の創出のため、食と健康に関するデータに基づく健康的な食を提供するビジネスモデルの構築と実証業務を委託した。

<健康食ビジネスモデル創出委託の概要>

| 代表機関 | 内 容 |
|--------------|--|
| (株) 竹屋旅館 | 健康経営推進企業向けのオンライン健康関連コンテンツ提供システムの構築 |
| (株) 食の学び舎くろみ | 運動能力向上を支援するジュニアアスリート向け食関連サービス提供システムの構築 |
| 静岡県立大学 | 「静岡ブランド健康食」の開発と外食・中食・配食サービスの創出 |

(3) 「フォトンバレープロジェクトの推進」

ア フォトンバレープロジェクト推進事業費 96,651,487円 県

〔 内 委託料 521,191円
補助金 31,000,000円 〕

(ア) フォトンバレーセンター事業負担金

フォトンバレープロジェクトを推進する（公財）浜松地域イノベーション推進機構「フォトンバレーセンター」の活動費等の一部を負担した。

(イ) A-SAP（エイサップ）産学官金連携イノベーション推進事業

フォトンバレーセンターが様々な産業分野における光・電子技術の応用を進めることで、地域企業の課題を解決する「A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業」を実施した。

予算の弾力的な運用を可能とする特定資産の造成により、企業ニーズへの迅速な対応、年間を通じたタイムリーな事業実施を実現し、10件の採択に結びつけた。

| 区 分 | 内 容 |
|-----------|--|
| 対 象 者 | 県内中小企業 |
| 対 象 事 業 | 新製品や既存製品の高度化等のアイデアや、事業化にあたり自ら解決が困難な課題で、光・電子技術の活用が見込まれるもの |
| 支 援 内 容 | 大学等の研究者からなるプロジェクトチームを結成し、試作品開発等による中小企業の課題の解決を支援 |
| 支 援 上 限 額 | 500万円（プロジェクトチームに対して交付） |
| 応 募 方 法 | 随時募集（年4回の採択審査を実施） |
| 支 援 実 績 | 10件 |

(ウ) はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

国立研究開発法人科学技術振興機構の地域産学官共同研究拠点整備事業において整備した研究機器の利活用や、産学官連携を推進するために設置した「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会」に対し運営経費の一部を負担した。

(4) 「CNF、次世代自動車、航空宇宙等の成長産業分野への参入支援」

ア 重 新成長産業戦略的育成事業費助成 139,238,910 円 県
(内 補助金 138,563,188 円)

次世代自動車、航空宇宙、医療・福祉機器、ロボット、新エネ・環境、光技術関連、CNFなど、成長分野への中小企業の進出を支援するため、中核機関として事業を推進する(公財)静岡県産業振興財団に対し助成した。

| 区 分 | 内 容 |
|----------------|---|
| 啓発・ 技術支援 | ○航空宇宙産業中核人材育成講座：計10日間開催 ○ロボット産業参入促進セミナー：YouTube動画配信 ○医工連携スタートアップ支援：5課題採択 |
| 研究開発・ 試作品開発 | ○産学官連携研究開発助成：4社 補助率：2/3、限度額：1,000万円 ○中小企業研究開発助成：3社 補助率：2/3、限度額：500万円 |
| 事業化・ 販路開拓 | ○事業化推進助成：8社 補助率：2/3、限度額：2,000万円 ○日本内視鏡外科学会への出展（医工連携出合いのサロン） ○航空機産業専門家によるマッチング支援：105社 |

イ 重 先端企業育成プロジェクト推進事業費助成

242,451,131円 国 定額

| | |
|-------|--------------|
| 内 委託料 | 24,182,821円 |
| 補助金 | 217,779,140円 |

(ア) 研究開発

県内企業の技術開発、新商品開発を促進するため、企業が国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と実施する共同研究開発に必要な費用を助成するとともに、産総研に対して県内企業との当該共同研究開発を委託した。

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 補助対象 | 成長分野の新技术・新製品の実用化を目的とした研究開発を産総研と共同研究契約を締結して行う事業（最長3年） |
| 補助率等 | 補助率：中小企業2/3、中堅企業1/2 上限額：中小企業 単年6,000万円、複数年計9,000万円 中堅企業 単年5,000万円、複数年計7,500万円 |
| 助成実績 | 9件 （内訳）環境・新エネルギー、医療・福祉機器、光関連技術：継続3件 成長産業分野：継続4件 医療・福祉機器、環境、新エネルギー：新規2件 |

(イ) 事業化推進助成

(ア) に採択され、事業を終了した「企業等」を対象に、当該事業で得られた研究開発成果を活用し、事業化に向けたさらなる研究開発を行う事業に対し助成した。

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 補助対象 | 先端企業育成プロジェクトの研究開発支援事業を終了した中小企業又は中堅企業が産総研と連携した成長分野にかかる新技术・新製品の研究開発を活用し、事業化を目的に実施する事業 |
| 補助率等 | 補助率：2/3 上限額：2,000万円、2年間計3,000万円 |
| 助成実績 | 1件（医療・福祉機器） |

ウ ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費

44,104,090円 県

| | |
|-------|------------|
| 内 委託料 | 9,788,900円 |
| 補助金 | 1,335,000円 |

(ア) ふじのくにCNFフォーラム

フォーラムの会員等を対象に、Webを活用した「ふじのくにCNF総合展示会」を開催し、ビジネスマッチングや大学、国、企業等の講師によるセミナー、企業向けの実習などを実施した。

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 会員数 | 製紙、住宅、自動車関係企業など221団体等（令和4年3月31日現在） |
| 主な活動 | ○ふじのくにCNF総合展示会：オンライン（R3.12.1～R4.2.28） ・常設展示：出展76社・団体 ・普及・啓発のためのセミナー：1回、閲覧552人 ・技術講演会：1回、閲覧856人 |

(イ) コーディネータ活動

コーディネータ3人を配置し、企業訪問による情報提供・収集、相談対応や、富士工業技術支援センター等の技術支援への橋渡しを271件行うなど、企業間のマッチングなどを行った。

(ウ) CNF活用試作品開発事業費補助金

CNFを活用した製品開発を促進するため、県内企業が実施するCNFを用いた試作品開発に対し助成した。

| 区 分 | 内 容 |
|------|-------------------|
| 補助対象 | CNFを活用した試作品の製作 |
| 補助率等 | 補助率：1/2 上限額：200万円 |
| 助成実績 | 2社 |

(エ) ふじのくにCNF寄附講座

CNFを活用した研究開発と専門人材の育成を推進するため、富士市と連携し、静岡大学に寄附講座を開設し、産学官連携による樹脂複合化技術の実用化研究を推進した。

| 区 分 | 内 容 |
|------|--|
| 目 的 | CNFに係る研究開発と人材育成 |
| 設置時期 | 平成29年10月1日 |
| 研究分野 | ・ CNF/PP複合材料向け相溶化剤※の開発 ・ CNF系樹脂リサイクル技術に関する研究 ※樹脂同士や樹脂と素材などを混練するために用いる添加剤 |
| 寄付金額 | 20,000千円（令和3年度） |
| 開設場所 | 静岡大学大学院総合科学技術研究科 農学専攻 |

(オ) ふじのくにCNF研究開発センター

企業の製品開発に対する支援体制を強化するため、富士工業技術支援センター内に「ふじのくにCNF研究開発センター」を設置し、静岡大学と企業3社が入居した。

| | | |
|------|--------------------------------|-----------|
| 区 分 | 静岡大学CNFサテライトオフィス | CNFラボ（3室） |
| 仕 様 | 事務室仕様 57㎡ | 研究室仕様 48㎡ |
| 開所時期 | 令和元年5月24日 | 令和元年10月 |
| 期 間 | 1年間（更新可） | |
| 入居条件 | 富士工業技術支援センターと企業は共同研究契約を締結 | |
| 備 考 | 365日・24時間使用可能、使用料は無料（光熱費は実費負担） | |

| | |
|--------------------------|-----------------------|
| エ 重 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費 | 287,458,374円 国1/2 |
| | 〔 内 委託料 61,666,618円 〕 |
| | 〔 補助金 129,081,617円 〕 |

(ア) 次世代自動車の電動化・デジタル化等対応研究会

2050年のカーボンニュートラル実現や急速なデジタル化の進展への対応など、本県の基幹産業である自動車産業への支援策等を検討するため、自動車関連企業、通信機器メーカー、大学及び支援機関による「次世代自動車の電動化・デジタル化等対応研究会」を4回開催した。研究会は、本県の強みである高い技術力や多彩な産業集積等を活かした今後必要となる取組等を報告書に取りまとめた。

<報告書の要旨（3つの重点項目）>

| 重点項目 | 取組内容（主なもの） |
|----------|---|
| ①企業間連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・従来の系列を超えた企業間連携のための大手サプライヤと中小企業のワークショップの開催 ・ITベンチャー企業等のスタートアップと県内自動車関連企業とのマッチングの場の創出 |
| ②人材育成・確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・県立工科短期大学校のカリキュラムとの連携によるIT人材の育成 ・完成車メーカー等と連携したサイバーセキュリティ対策の普及啓発 |
| ③脱炭素経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・LCAに基づいた自社のCO2排出量の把握 ・省エネ診断、省エネ設備導入の支援 ・充電・充填インフラ整備、更新の促進 |

(イ) 企業連携ワークショップ

大手サプライヤと中小企業等をメンバーとしたワーキンググループ（WG）を開催し、中小企業単独では難しい系列を超えた大手企業との連携を支援した。

| WG名称 | テーマ | 開催日 |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 電動化・カーボンニュートラル | 電動化部品の試作製作、CO2削減の工法開発等 | 11月22日 2月16日 |
| 3Dデジタル技術 | 3DCADやCAEを活用したデジタルものづくり等 | 11月29日 2月16日 |
| 積層造形技術 | 3Dプリンタの活用方法、3Dプリンタによる量産部品製作等 | 11月19日 2月18日 |
| 次世代エアモビリティ | 次世代エアモビリティの社会実装に向けた支援策等 | 2月8日 3月16日 |

(ウ) 次世代自動車技術革新対応促進助成事業

中小企業者及び中堅企業が行う次世代自動車分野に関する新技術・新製品等を目的とした研究開発等に対し助成した。

| 区 分 | | 内 容 | |
|------|--------|------|--|
| 研究開発 | 産学官連携型 | 補助対象 | 企業が行う産学官連携による研究開発等への助成 |
| | | 補助率等 | 補助率：2/3、上限額：1,000万円(2年計 2,000万円) |
| | | 助成実績 | 2件 |
| | 一般型 | 補助対象 | 企業が行う研究開発等への助成 |
| | | 補助率等 | 補助率：2/3、上限額：500万円 |
| | | 助成実績 | 2件 |
| 事業化 | 事業化型 | 補助対象 | 事業化に向けたさらなる研究開発等への助成 (事業終了後1年以内に事業化が見込めるもの) |
| | | 補助率等 | 補助率：2/3、上限額：2,000万円、(2年計 3,000万円) |
| | | 助成実績 | 4件 |
| | 試作品開発 | 補助対象 | 次世代自動車の搭載部品の試作等に対する助成 |
| | | 補助率等 | 補助率：1/2、上限額：200万円 |
| | | 助成実績 | 6件 |

(エ) 中核人材育成講座

県内の次世代自動車産業の中核を担う人材を育成するため、モビリティの変化とデジタル化に関する最新動向セミナー、カーボンニュートラルや軽量化等の要素技術研究講座を実施した。

(オ) 次世代自動車コーディネータ

次世代自動車関連の事業化を支援するコーディネータを(公財)静岡県産業振興財団に2人配置し、企業への訪問を220件行うなど県内中小企業の製品化や販路開拓を支援した。

(カ) 試験・評価機器整備

新素材を採用した製品や部品、電子機器等の開発に取り組む地域企業を支援するため、工業技術研究所に試験・評価機器を整備した。

| 機器名 | 機 能 | 試験・評価対象例(製品・素材) |
|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| 次世代車載照明及び光センサー用配光性評価試験機 | 微小光源やモジュールの発光性能を高解像度かつ高精度に測定評価 | 次世代ヘッドランプ、車載用樹脂工学部品 等 |

(キ) 次世代自動車センター事業負担金

(公財)浜松地域イノベーション推進機構の「次世代自動車センター浜松」を次世代自動車分野における支援プラットフォームの中心に位置付け、同センターの活動に対して負担金を拠出した。

<次世代自動車センター浜松事業>

中小企業の固有技術を活かし、次世代自動車に搭載される部品の開発等を行うための5つの支援策を実施した。(会員企業数427社、令和4年4月1日現在)

| 区 分 | 内 容 |
|------|---|
| 技術啓発 | 次世代自動車センターフォーラム（143社、183人） |
| | 技術動向講演会（100社、181人） |
| | 会員企業アンケート調査及び報告会（67社、86人） |
| | カーボンニュートラル対応基礎講座（339社、600人） |
| | 「デジタルものづくり支援のためのトライアル事業」報告会（33社、49人） |
| 技術研鑽 | 部品ベンチマーク活動（2回）（延べ144社、延べ233人） |
| | E V（欧州四輪）車両分解活動（4回）（延べ192社、延べ437人） |
| 技術創造 | 次世代自動車関連部品の試作品製作（7社） |
| 人材育成 | 固有技術探索活動基礎講座（6回及び説明会2回）（延べ92社、延べ171人） |
| | 新入社員向け講座－安全教育・品質管理等（3回）（延べ144社、延べ277人） |
| | 若手・中堅社員向け講座－トヨタ生産方式等（4回）（延べ211社、延べ381人） |
| | 自動車工学基礎講座（5回）（延べ235社、延べ409人） |
| | モーターと電気自動車基礎講座（3回）（延べ233社、延べ441人） |
| | モデルベース開発基礎講座（5回）（延べ124社、延べ517人） |
| | 振動騒音の測定・分析基礎講座（66社、132人） |
| | C A Eのための材料力学基礎講座（45社、71人） |
| 販路開拓 | 先行開発企業報告会（67社、108人） |

(ク) M a a S促進

県内企業が産業構造の変化に対応し、新たなモビリティ・サービスに参入するためのネットワーク構築を支援するとともに、県内におけるM a a Sの導入を促進するためW e bセミナーを開催した。

| 区 分 | 内 容 |
|---------|---|
| セミナー名 | 静岡県M a a S社会実装W e bセミナー ～カーボンニュートラル時代のモビリティサービス～ |
| 開 催 日 | 令和4年3月15日(火) |
| 申 込 者 数 | 102人 |

オ 静岡型航空産業育成事業費助成

40,214,810円 県

(内 補助金 40,064,340円)

県内航空機産業の育成を図るため、県内航空機部品メーカーの設備導入や人材育成、航空認証の取得に対する助成を行ったほか、ブラジル・エンブラエル社等の海外企業とのマッチング支援、事業化への研究開発を行う団体に対し次世代無人航空機（プロトタイプ機）の貸与を行った。

カ 地域ものづくり企業技術革新支援事業費助成 8,857,000円 県
(内 補助金 8,857,000円)

中小企業が成長分野に参入するため、(公財)浜松地域イノベーション推進機構が県西部地域の市町(浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、菊川市、御前崎市、森町)と連携して取り組む支援施策に助成した。

キ 成長産業における共同受注体支援事業費助成 150,000円 県
(内 補助金 150,000円)

県内協同組合が行う医療機器の一貫生産体制確立を支援する静岡県中小企業団体中央会に対し助成した。

ク 環境資源協会事業費助成 3,160,000円 県
(内 補助金 3,160,000円)

県内企業の環境保全と資源の有効利用活動を促進し、その健全な発展を図るため、環境保全対策事業等を実施する(一社)静岡県環境資源協会に対し助成した。

(5) 「特許や商標などの知的財産の積極的な活用」

ア 産学官技術交流促進事業費 23,993,590円 県
(内 委託料 23,893,000円)

技術コーディネータを配置し、中小企業等の技術相談等への対応及び産学官連携促進の支援に関する業務を(公財)静岡県産業振興財団に委託した。

イ 知的財産活用促進事業費 11,316,594円 県
(内 委託料 11,288,164円)

企業が保有する未利用特許等の流通促進のため、特許流通アドバイザーによる県内中小企業への技術移転業務を、(一社)静岡県発明協会に委託した。

(6) 医薬品・医療機器産業の基盤強化

ア 重 医療機器産業基盤強化推進事業費助成 202,238,965円 国 10/10
(内 補助金 202,238,965円)

医療機器のデジタル化や遠隔・非接触技術等の新規研究開発及び事業化を推進するため、県内企業による新規参入や新規開発を支援する(公財)静岡県産業振興財団に対して助成した。

| 区 分 | 内 容 | |
|------|---|---------------------------------|
| 補助対象 | 「命を守る産業」の基盤強化に必要な資材、機器、システムなどの製品開発、生産等に係る経費 | |
| 補助率等 | 初期投資助成 | 補助率：2/3 上限額：2,000万円 |
| | 研究開発・事業化助成 | 補助率：2/3 上限額：1,000万円(2年間2,000万円) |
| 助成実績 | 16件 (内訳) 医療機器開発：6件 検査機器開発：5件 ソフトウェア開発ほか：5件 | |

イ 重 緊急時医療用ガウン生産体制構築事業 3,878,331円 国 10/10
(内 委託料 3,878,331円)

医療用ガウンを緊急時に県内にて生産し供給できる体制を構築するため、県内企業の不織布を用いた医療用ガウンの縫製加工の実証業務を4社に委託し、1社あたり1,000着を生産した。

(7) 伊豆ヘルスケア温泉イノベーションプロジェクトの推進

ア 温泉を活用した新しいヘルスケアプロジェクト事業費 941,864円 県
(内 委託料 941,864円)

(ア) 伊豆ヘルスケア温泉イノベーションプロジェクト推進事業

伊豆半島の温泉の持つポテンシャルを、自然・歴史・文化・食・スポーツなど伊豆の地域資源と組み合わせ、伊豆地域全体でヘルスケアサービスを提供する仕組みを構築するため、温泉を活用したヘルスケア事業の先進事例調査や、有識者や地元関係者からなる協議会の立ち上げを行った。

3 評価、課題及び改善

(1) 評価

| 指標名 | | 現状値 (2016年度) | 実績 | | | | | 目標値 |
|----------|--------------------------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------------------|
| | | | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | (2021年度) |
| 成果 指標 | 静岡新産業集積クラスターにおける事業化件数 | 累計 196件 | 40件 | 69件 | 88件 | 104件 | 集計中 | 累計226件 (2018～2021年度) |
| | (うちファルマバレープロジェクト) | 累計 33件 | 12件 | 14件 | 14件 | 17件 | 14件 | 累計42件 (2018～2021年度) |
| | (うちフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト) | 累計 119件 | 19件 | 46件 | 62件 | 68件 | 集計中 | 累計120件 (2018～2021年度) |
| | (うちフォトンバレープロジェクト) | 累計 44件 | 9件 | 9件 | 12件 | 19件 | 集計中 | 累計64件 (2018～2021年度) |
| | 新成長分野の経営革新計画新規承認件数 | 累計 436件 | 100件 | 93件 | 143件 | 244件 | 140件 | 累計440件 (2018～2021年度) |
| | 試作・実証試験助成制度等を活用した成長分野における製品化件数 | 累計 37件 | 11件 | 12件 | 10件 | 11件 | 集計中 | 累計40件 (2018～2021年度) |
| 活動 指標 | 静岡新産業集積クラスターによる試作品開発支援件数 | 累計 254件 | 67件 | 111件 | 90件 | 125件 | 集計中 | 累計279件 (2018～2021年度) |
| | (うちファルマバレープロジェクト) | 累計 25件 | 11件 | 11件 | 18件 | 15件 | 13件 | 累計44件 (2018～2021年度) |
| | (うちフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト) | 累計 148件 | 37件 | 85件 | 61件 | 97件 | 集計中 | 累計150件 (2018～2021年度) |
| | (うちフォトンバレープロジェクト) | 累計 81件 | 19件 | 15件 | 11件 | 13件 | 集計中 | 累計85件 (2018～2021年度) |
| | 静岡新産業集積クラスターによる高度産業人材育成数 | 累計 384人 | 92人 | 109人 | 101人 | 150人 | 集計中 | 累計412件 (2018～2021年度) |
| | (うちファルマバレープロジェクト) | 累計 151人 | 33人 | 42人 | 45人 | 31人 | 32人 | 累計172件 (2018～2021年度) |
| | (うちフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト) | 累計 98人 | 30人 | 30人 | 24人 | 81人 | 83人 | 累計104件 (2018～2021年度) |
| | (うちフォトンバレープロジェクト) | 累計 135人 | 29人 | 37人 | 32人 | 38人 | 集計中 | 累計136件 (2018～2021年度) |
| | コーディネータ（CNF、航空宇宙等）の企業訪問件数 | 平均 252社 | 349社 | 474社 | 565社 | 645社 | 596社 | 毎年度 470社 |
| | 特許流通アドバイザーによる知的財産の活用マッチング件数 | 平均 48件 | 75件 | 69件 | 75件 | 70件 | 79件 | 毎年度 70件 |

ア 「静岡新産業集積クラスターの推進」については、各プロジェクトの中核支援機関に配置した事業化コーディネータなどを中心に、研究成果と地域企業の技術力のマッチングなどにより多くの製品が生み出されており、「静岡新産業集積クラスターにおける事業化件数」は、(集計中) 件の事業化を実現し、順調に推移している。

地域企業の医療分野参入に対する規制緩和や金融支援の実施が可能な「ふじのくに先端医療総合特区」を令和3年度から県内12市町に山梨県7市町を追加、山梨県と連携して、広域な医看工連携による高度な医療機器開発等を促進している。

また、各プロジェクトにおいて、助成制度などにより試作品開発を支援したほか、産学官連携による地域企業の人材育成を促進するため、富士山麓医療機器開発エンジニア養成プログラム、健康イノベーション教育プログラム及びレーザーによるものづくり中核人材育成講座等の開催を支援した。

「試作品開発支援件数」は(集計中) 件、「高度産業人材育成数」は(集計中) 人で、共に順調に推移している。

イ 「新たな成長産業の育成」については、(公財) 静岡県産業振興財団等と連携し、成長産業への参入を目指す企業に対して技術相談から研究開発、事業化、販路開拓まで一貫した支援を引き続き実施した。

次世代自動車分野では、次世代自動車センター浜松が行う、次世代自動車の開発に不可欠な企業の固有技術探索活動、EVの分解活動、試作品開発などへの支援に重点的に取り組んだほか、県産業振興財団と連携した研究開発・事業化への助成や、次世代自動車向けの評価試験機の工業技術研究所への整備を行った。

また、脱炭素社会の実現に向け2035年までに軽自動車を含む乗用車の新車販売の全てを電動車とする国の目標への対応などの大きな環境変化を乗り切るため、産学官連携の研究会を開催し、今後必要となる取組等を取りまとめた。研究会で喫緊の課題とされた企業間連携の強化を図るため、大手サプライヤと中小企業等をメンバーとしたワークショップを4分野で設置し、中小企業単独では難しい系列を超えた大手企業との連携の支援に取り組んだ。

CNFでは、ふじのくにCNF研究開発センターを拠点とした県工業技術研究所と静岡大学や地域企業との産学官連携体制の充実を図ったほか、リサイクル性の高いCNFの自動車用部材への導入を検討する研究会を立ち上げた。航空宇宙分野ではコーディネータによる受注機会の拡大に向けた支援、医療分野ではデジタル化や遠隔・非接触技術等の新規研究開発や事業化への支援などに取り組んだ。

この結果、「新成長分野の経営革新計画新規承認件数」は140件、「試作・実証試験助成制度等を活用した成長分野における製品化件数」は(集計中) 件で、順調に推移している。

(2) 課題

ア 「静岡新産業集積クラスターの推進」については、中核支援機関を中心に、地域企業による研究開発や開発を担う人材の育成、製品の販路拡大などを支援し、地域企業の新規参入と成長を促進していく必要がある。

特に医療分野では、超高齢社会に向け、地域企業等による高齢者の生活を支援する製品開発を促進するなど、介護・福祉現場の多様なニーズを幅広い産業分野の地域企業に結びつけることで、更なる参入の促進を図る必要がある。

イ 今後も、参入の段階に応じた支援を幅広く継続的に実施することで、新たな成長産業の育成を推進する必要がある。

特に、本県の基幹産業である自動車産業については、脱炭素社会に向け世界的に加速するEV化や、デジタル化などの産業構造の変化に地域企業が対応するため、官民が連携したスピード感を持った支援が求められている。

植物由来の素材であるCNFについては、将来的に大きな市場への展開が期待される自動車や家電、建材なども含めた様々な産業分野での製品（用途）開発を促進していく必要がある。航空宇宙分野では、航空機需要回復後の将来的な成長に向けて、ドローンや空飛ぶクルマ等の次世代航空機を含む航空宇宙産業への中小企業の新規参入を促進する必要がある。また、日本の医薬品・医療機器産業は約4兆円の輸入超過となっており、優れた技術を有する地域企業の参入を支援し、医薬品・医療機器産業を「命を守る産業」として育成していく必要がある。

(3) 改善

ア 「静岡新産業集積クラスターの推進」については、引き続きファルマバレープロジェクトにおいて、高齢者の理想の住環境を具現化したモデルルームを新たな製品開発のアイデアを生み出す場として活用することにより、幅広い産業分野の地域企業等の参入を促し、健康長寿・自立支援プロジェクトを加速させるとともに、山梨県との連携協定及び先端医療総合特区に基づく広域的な医看工連携により、高度な医療機器開発を促進していく。

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトでは、ヘルスケアサービスの創出を促進するため、データヘルス・リビングラボ静岡、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター、静岡社会健康医学大学院大学などの連携により、データを活用した製品開発に対する支援を強化していく。

フォトンバレープロジェクトでは、大学の知見等を活用した地域企業の課題解決を支援するA-SAPを推進するとともに、光・電子技術活用の啓発活動・ビジネスマッチングを行う人材の育成を進めることなどにより、あらゆる産業分野における光・電子技術の活用や新製品・新技術の開発を促進していく。

イ 「新たな成長産業の育成」については、引き続き、成長分野への参入を目指す企業に対し、技術相談から研究開発、事業化、販路開拓までを一貫して支援する。

次世代自動車分野では、令和3年度開催した研究会で重点項目とされた、EVの部品の共同開発などの「企業間連携」、デジタル設計への対応やサイバーセキュリティ対策などのための「人材育成・確保」、カーボンニュートラルに向けた自社のCO2排出量把握などの「脱炭素経営」の3つの項目について、中核支援機関である次世代自動車センター浜松を中心として、積極的に支援していく。特に「企業間連携」については、研究会で喫緊の課題とされたことから、令和3年度に引き続き、大手サプライヤーと中小企業等をメンバーとしたワークショップを開催し、連携強化に向けて取り組んでいく。

CNFでは、ふじのくにCNF研究開発センターを拠点として県工業技術研究所と静岡大学や地域企業が共同研究に取り組むほか、試作品開発に対する助成やCNFの研究開発に必要な機器の富士工業技術支援センターへの導入により、県内企業の製品開発を推進する。また、自動車用部材を事例にリサイクル性の高いCNFを導入する場合の課題解決を

検討するため、産学官金連携による研究会を開催し、CNFを切り口とした循環経済のビジネスモデルを構築していく。

航空宇宙分野では、引き続きコーディネータによるマッチング支援に注力し、参入しやすい環境の整備や支援体制の充実を図るほか、産学官が連携したワーキンググループを開催し、ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代航空機への参入を支援していく。

医療分野では、初期投資への支援とともに、先進性や技術的困難度が高く、医薬品・医療機器産業を牽引する有望な取組の研究開発・事業化を支援し、新規事業への投資から事業化までの一貫した支援により、国産化を着実に進め、将来的な輸出産業化を目指していく。

I マーケティング課

1 施策の体系（新ビジョン）

政策の柱・・・農林水産業の競争力の強化

目 標…マーケットインの考え方で市場を見据えた生産体制を構築し、生産の拡大を図る産業の枠を越えた連携により新たな価値を創造し、農林水産業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進する。

施 策 市場と生産が結びついたマーケティング戦略の推進

- 取 組 ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進
- 取 組 マーケティング拠点の整備と付加価値向上による販路拡大

政策の柱・・・魅力的なライフスタイルの創出

目 標…特色ある地域資源を活かした産業の振興を図り、その文化と魅力を発信する。

施 策 人々を惹きつける都づくり

- 取 組 「食の都」づくり

政策の柱・・・地域外交の深化と通商の実践

目 標…県産農林水産物の輸出や、県内企業の海外展開を拡大する。

施 策 世界に開かれた通商の実践

- 取 組 県産品の輸出拡大

2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 「ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進」

ア 県産品国内販路開拓支援事業費 17,970,553 円 県
(内 委託料 10,270,000 円)

(ア) 国内への販路開拓

首都圏、関西圏等のスーパーや百貨店、アンテナコーナーなどにおいて、「しずおか食セレクション」や「ふじのくに新商品セレクション」の認定・表彰商品を中心とした県産品の販売促進活動を実施した。

a 首都圏

(a) アンテナコーナーの設置（東京都：秋葉原）

「ふじのくに おいしい処（どころ）静岡」（愛称：「おいしず」）を県産商品のテストマーケティングと情報発信を目的として設置し、約300品の県産商品を常時販売した。

(b) 量販店への販路拡大

首都圏等のスーパーで「富士山しずおかマルシェ」を開催し、県産品の販売を促進するとともに、首都圏の消費者ニーズの把握や店舗の要望等調査を実施した。

(15回 延べ30日、567店舗)

b 関西圏

- ・「静岡フェア」開催(11月、大阪府)
- ・「関東甲信越静6県合同観光物産展」出展(12月、大阪府)

c 県産品の競争力強化支援

ビジネス経営体をアドバイザーが訪問し、経営的視点からのアドバイスを実施した。

イ 農芸品供給拡大緊急対策事業費

135,856,229円 県

| | |
|-------|--------------|
| 内 委託料 | 619,915円 |
| 補助金 | 134,377,000円 |

首都圏等のマーケットにおけるニーズに対応した県産品の供給力拡大を図るため、局内に設置した専門チームを中心に、県経済連、JAなど生産者団体等と連携して需要拡大や安定的な販路の確保に取り組んだ。

また、マーケットインの発想による商品力・競争力の高い県産品の生産拡大を図るため、産地自らが行うマーケティング調査やテスト販売等を支援した。

あわせて、市場ニーズが高い品目の生産拡大を図るため、鉄骨ハウス等の新設を支援した。

ウ 新 新たな地域経済圏における販路開拓事業費

36,032,432円 国 定額、県

(内 委託料 31,103,288円)

本県農林水産物の販路拡大と生産拡大を図るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う消費者や流通事業者等の行動変容を踏まえた「ふじのくにマーケティング戦略2022」を取りまとめた。

また、^{やま くに}山の洲(静岡県、山梨県、長野県、新潟県)域内での地域資源や強みを活かした個人消費の喚起のため、静岡・山梨両県で県産品を互いに購入し合い相互に助け合う「バイ・ふじのくに」の取組成果をもとに、「バイ・ふじのくに」物産展や域内の農林水産品を対象とした直売会を開催するとともに、中部横断自動車道を活用した新たな商物流構築を促進する地場量販店と連携した静岡フェアやオンライン商談会を実施した。さらに、EC市場での販路拡大のため、全国ECサイトと連携した商品開発などブランド力強化に取り組んだ。

(2) 「マーケティング拠点の整備と付加価値向上による販路拡大」

ア 新 新たな地域経済圏における販路開拓事業費(再掲)

36,032,432円 国 定額、県

(内 委託料 31,103,288円)

デジタル活用による新たな販路開拓ため、オンライン上に整備した「バイ・シズオカ ^{やま くに}オンラインカタログ」を活用し、県内生産者と首都圏や山の洲等の量販店とのオンライン商談会を実施するなど、県産農林水産品・加工品の販路拡大に繋げた。

イ 6次産業化推進事業費 25,936,051円 国 定額、県

| | |
|-------|------------|
| 内 委託料 | 7,634,029円 |
| 補助金 | 1,595,263円 |

6次産業化に取り組む農林漁業者等を総合的に支援するため、6次産業化サポートセンターを14か所に設置し、農林漁業者に対し、経営改善戦略策定及び実践の支援を行った。

また、6次産業化等により開発された新商品の表彰や生産者の商談力向上研修会、「ふじのくに総合食品開発展」の開催等により、販路開拓を支援した。

(ア) 事業化に向けた支援（「6次産業化サポートセンター」の運営）

- ・支援窓口の設置 14か所
(本庁、農林事務所、水産・海洋技術研究所、農林技術研究所、工業技術研究所)
- ・専門家派遣による経営改善戦略策定の支援

(イ) 商品開発、ブランド化、販路開拓支援

- ・「商談ステップアップ講座」の開催（4回、9事業者参加）
- ・「ふじのくに新商品セレクション」の選定・表彰（最高金賞1点、金賞8点）
- ・「ふじのくに総合食品開発展」の開催（令和4年2月1日～2月28日、84事業者出展）

(ウ) 農水商工連携の促進

- ・県と関係機関で構成する地域支援ネットワーク等において地域段階での取組を推進

(エ) 地域食農連携プロジェクトの推進

- ・地域の食に関わる多様な事業者が連携し、社会的課題の解決と経済的利益の両立を目指した新たなビジネスモデルを創出

(3) 「食の都」づくり」

ア 「食の都」づくり推進事業費 25,201,566円 国 定額、県

| | |
|-------|-------------|
| 内 委託料 | 16,637,712円 |
| 補助金 | 4,491,476円 |

「食の都しずおか」を実現するため、食文化の創造に貢献する人材や企業・団体を、「ふじのくに食の都づくり仕事人」、「ふじのくに食の都づくり貢献賞」として表彰するとともに、各地域において仕事人と生産者、県民が連携した取組の強化に取り組んだ。

(ア) ふじのくに食文化の創造に貢献する人材等の表彰

| 項 目 | ふじのくに食の都づくり 仕事人 | The 仕事人 of the year | ふじのくに食の都づくり 貢献賞 |
|------|--|------------------------|--------------------|
| 表彰者数 | 10人 | 12人 | 2企業・団体 |
| 表 彰 | ふじのくに「食の都」表彰式 ・開催日：令和3年11月25日（グランディエールブケトーカイ） | | |

(イ) 「食の都しずおか」の実現に向けた地域づくり

仕事人や食関係者等との連携を図りながら、地域の食文化の掘り起こしや、地域食材を使った特色あるレシピやメニューの開発を通じて、「食の都」の県民への浸透を図った。

(ウ) 食の都ウェブサイトの運営

食の都の情報発信を強化し、多くの人々による本県の食を目的とした周遊を促進するた

め、複数のサイトを統合し、「ふじのくに食の都づくり仕事人」や県産食材を使ったレシピなど、本県の食に関するとおきの逸品・情報を紹介するサイトを構築した。

イ 多様な食文化に対応した「食」の提供促進事業費 4,631,212 円 県
(内 委託料 3,996,300 円)

本県を訪れる多様な食文化を持つ外国人旅行者等に対応した食事環境の整備や県産食材・加工品の販路開拓を促進し、飲食店や食品事業者の事業展開を支援するため、個別コンサルティング、ハラル対応実践セミナー、オンライン商談会、及びウェブサイト「ハラル・ポータル」の運営による情報発信を実施した。

また、飲食店の国際化対応を支援するため、ピクトグラム導入を推進したほか、ムスリムモニターによる試食評価会を開催した。

(4)「県産品の輸出拡大」

ア 県産品輸出促進機能形成事業費 34,519,188 円 県
(内 委託料 33,857,040 円)

県産品の海外販路を開拓・拡大するため、海外市場のニーズに対応し、生産者や産地と海外市場をつなぐ輸出の仕組み構築に取り組んだ。

(ア) 中部横断自動車道開通商圏拡大事業

山^{やま}の洲^{くに}(静岡県、山梨県、長野県、新潟県)産品を清水港から輸出する仕組みを構築するため、輸出可能な商品の選定から現地でのプロモーション活動に至る一連の取組を実施した。

(イ) 県産品海外販路拡大ニューノーマル創出事業

新型コロナウイルス感染拡大により変容した消費者行動やデジタル化の進展に対応するため、輸出先国の消費行動に適したデジタルを活用した県産品の販路拡大につながる新しい輸出スキームを検討、実証する事業を実施した。

イ 県産品輸出促進事業費 348,034,844 円 国 定額、県
(内 委託料 15,246,015 円)
(内 補助金 328,347,785 円)

輸出先国のニーズや規制に対応した産地づくりや生産体制の整備を支援するとともに、海外展開の支援体制の構築やバイヤー等との商談機会を提供するなど、多彩で高品質な県産農林水産物等の輸出を支援した。

(ア) G F P グローバル産地づくり推進事業

農林水産物の輸出拡大を図るため、輸出先国から求められる品質、コスト、ロットでの生産や規制等に対応した産地形成に向けた取組について支援した。

(6 連携体 (メロン 1、茶 5))

(イ) 食品産業の輸出向け H A C C P 等対応施設整備事業

農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、食品事業者等が輸出先のニーズ (H A C C P 等) に対応するために行う設備の導入や施設の改修等を支援した。

(8事業者(茶5、水産加工品2、わさび加工品1))

(ウ) 県産品の中国向け輸出販路開拓事業

今後、輸入規制等が緩和され、市場開放が進むことが期待される中国に対し、中・長期的な県産品の輸出拡大につなげるため、「第4回中国国際輸入博覧会(令和3年11月開催)」へ静岡県ブースを出展したほか、年間を通じて中国向けに販路開拓を目指す事業者を支援した。

(エ) 販路開拓支援等

a 香港・台湾・東南アジア

(a) 輸出商社を窓口とした販路開拓支援

沖縄県物産公社(職員1名派遣)と連携し、現地商社を通じて、現地小売店や飲食店等に県産品の提案を実施した。

b 中国・韓国・台湾・東南アジア

(a) ふじのくに通商エキスパートの設置

輸出、販路開拓のコーディネーターである「ふじのくに通商エキスパート」を海外駐在員事務所(中国、韓国、台湾、東南アジア)に配置し、県内事業者の海外販路開拓・拡大を支援した。

c 韓国

(a) ソウル国際食品産業展(COEX FOOD WEEK 2021)への出展(令和3年11月)

(b) 静岡わさび活用外食産業向けメニュー開発セミナーの開催(令和4年2月)

d 台湾

(a) 「FOOD TAIPEI 2021」への出展(令和3年12月)

(b) 日本酒と料理のペアリングによる商談会の開催(令和4年3月)

e 東南アジア

(a) 「Food Japan 2021 ONLINE」への出展(令和3年8月)

(b) 静岡フェア「SAKURAYA Shizuoka Fair 2021」の開催(令和3年11月)

(c) レストランフェア(タイ)の開催(令和3年12月、令和4年1月)

f その他

(a) 沖縄大交易会(令和3年11月)への県内2事業者の参加支援

3 評価、課題及び改善

(1) 評価

| 指標名 | | 現状値 (2016年度) | 実績 | | | | | 目標値 (2021年度) |
|------|--|-----------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|------------------------------------|
| | | | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | |
| 成果指標 | 農業産出額 (販売農家 一戸当たり) | 2,266億円 (753万円/戸) | 2,263億円 (783万円/戸) | 2,120億円 (757万円/戸) | 1,979億円 (720万円/戸) | 1,887億円 (773万円/戸) | 2022年12月 公表予定 | 2,400億円 (953万円/戸) |
| | 農業生産関 連事業の年 間販売金額 | (2015) 1,062億円 | (2016) 1,083億円 | (2017) 1,119億円 | (2018) 1,112億円 | (2019) 1,138億円 | (2020) 1,003億円 | 毎年度 1,100億円 |
| | 県産品を選 んで購入す る県民の割 合 | 72% | 72% | 72% | 89% | 65% | 86% | 毎年度 90%以上 |
| | 県の海外市 場開拓支援 による県産 農林水産物 新規輸出成 約件数 | (2013~2016年度) 累計302件 | 75件 | 100件 | 161件 | 180件 | 212件 | (2018~2021年度) 累計360 件 |
| 活動指標 | 首都圏にお ける富士山 しずおかマ ルシェでの 県産品販売 額 | 800万円 | 2,168万円 | 2,705万円 | 4,486万円 | 5,406万円 | 5,958万円 | 5,000万円 |
| | 6次産業化 等新規取組 件数 | (2013~2016年度) 累計608件 | 185件 | 167件 | 213件 | 184件 | 2022年6月 公表予定 | (2018~2021年度) 累計 640件 |
| | 「食の都」 づくりに関 する表彰数 | (2014~2017年度) 累計 61個人・団体 | 19個人・ 団体 | 25個人・ 団体 | 21個人・ 団体 | 16個人・ 団体 | 14個人・ 団体 | (2018~2021年度) 累計 70個人・ 団体 |
| | 輸出商談 会・見本市 等参加事業 者数 | (2013~2016年度) 累計 504 事業者 | 129 事業者 | 146 事業者 | 337 事業者 | 261 事業者 | 271 事業者 | (2018~2021年度) 累計 550 事業者 |

ア ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進

ふじのくにマーケティング戦略に基づき、首都圏でのアンテナコーナーの設置や県産品の販売促進活動、ニーズに対応した供給力拡大に取り組んだ結果、「首都圏における富士山しずおかマルシェでの県産品販売額」は着実に増加し目標を達成した。

また、首都圏に続く新たな市場として、「山の^{やま}洲^{くに}」での県産農林水産品の販路拡大を図り、需要の喚起に取り組んでいる。

イ マーケティング拠点の整備と付加価値向上による販路拡大

オンライン上に整備した「バイ・シズオカ オンラインカタログ」を整備活用して、県内生産者と量販店とのオンライン商談会の実施に繋げ、デジタル活用による県産農林水産品・加工品の新たな販路開拓に取り組んでいる。

また、6次産業化サポートセンターによる農林漁業者等への総合的支援や、展示商談会等の開催、出展機会の提供などを通じて、6次産業化等の新規取組はおおむね順調に進んでいる。

併せて、農林水産物や加工品の認定・表彰や、コロナ禍に対応したオンラインでの商談会開催など、新商品の販路開拓の支援を着実に実施している。

ウ 「食の都」づくり

食の都づくりを牽引する「ふじのくに食の都づくり仕事人」の活動支援や、特徴ある農林水産物の活用につながる情報発信等を通じて、多様な関係者による食の都づくりが展開されたことで、「食の都」づくりに関する表彰数は目標を達成した。コロナ禍の影響を受け、県民の消費行動につながる食体験等の機会が減少する中、食の魅力を伝える情報発信を強化したことで「県産品を選んで購入する県民の割合」は目標達成には至らなかったものの前年度より大幅に増加した。

エ 県産品の輸出拡大

「ふじのくに通商エキスパート」の配置によるサポート体制強化、バイヤー招聘や展示会への出展支援など、様々な商談機会の提供を行った結果、「輸出商談会・見本市等参加事業者数」は順調に増加し、「県の海外市場開拓支援による県産農林水産物新規輸出成約件数」の目標値を達成した。

また、国庫補助事業を活用し、産地形成に向けた取組の支援や輸出先のニーズや市場変化に対応した施設整備の支援を実施したほか、海外駐在員事務所等と連携し、海外での商談会の開催等により、県産農林水産物等の輸出を支援している。

(2) 課題

ア ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進

「首都圏における富士山しずおかマルシェでの県産品販売額」は首都圏量販店や流通事業者、生産者団体等との連携を強化した結果、着実に増加している。さらなる県産品販売額の増加のためには、「しずおか食セレクション」の新たな愛称「頂」を活用したブランド力向上や首都圏量販店での通年販売化につなげる取組が必要である。

また、首都圏市場に過度に依存するリスクが顕在化したことから、移出市場を一定程度分散させていく必要がある。

イ マーケティング拠点の整備と付加価値向上による販路拡大

「バイ・シズオカ オンラインカタログ」を活用したオンライン商談会は商談件数、参加者数ともに年々増加している。更なる販路拡大に結びつけていくためには、商談機会の増加や、成約に向けた支援体制を強化する必要がある。

「6次産業化に関する新規取組件数」は堅調に推移しているものの、販売額の向上のためには商品の販売戦略立案や販路開拓等について、事業者に対する伴走的支援が必要である。

ウ 「食の都」づくり

「県産品を選んで購入する県民の割合」を高めるためには、本県の特徴ある農林水産物等の断片的な情報だけでなく、活用場面や食文化等も含めた情報発信を強化し、県民の関心や理解を深める必要がある。

エ 県産品の輸出拡大

拡大する世界の食料市場に向けて、国は、農林水産物・食品の輸出額を2025年までに2兆円、2030年までに5兆円へ拡大することを目標としている。新型コロナウイルス感染症の拡大により海外ニーズやビジネスモデルが大きく変容しており、輸出先市場に合った新たな手法を開拓するとともに、顕在化した課題に対応し、本県の経済成長の原動力となる輸出の拡大に取り組む必要がある。

(3) 改善

ア ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進

引き続き首都圏を国内最大のマーケットと位置付け、県産農林水産物の販路と供給を拡大するため、スーパー等における「富士山しずおかマルシェ」の開催、青果物等の産地直送の取組の推進及びニーズに対応した供給力拡大等に取り組む。

さらに、「しずおか食セレクション」の愛称「頂」を活用し、首都圏等の中高級スーパーでの静岡フェアを通じた認知度向上やコンビニとの連携した「しずおか食セレクション」認定商品を使用した新商品開発等により、県産品のブランド力向上に取り組む。

また、首都圏市場に続く新たな市場として、中央日本4県での更なる連携を図り、「バイ・やま くに山の洲」の取組を一層推進して、農林水産品の域内サプライチェーンの拡大・強靱化に取り組む。

イ マーケティング拠点の整備と付加価値向上による販路拡大

「バイ・シズオカ オンラインカタログ」の魅力を高め登録事業者を増加させるとともに、商談機会の増加や生産者の商談力向上への支援、コーディネーターによる商談サポート等の強化により、販路開拓を支援する。

6次産業化による経営発展を目指す農林漁業者に対し、経営改善戦略策定を支援するとともに、その実践に向け、交付金を活用した事業化支援やブランディングの推進、商談交渉力の向上等、事業計画策定から販路拡大に至る一連の支援を強化する。

ウ 「食の都」づくり

「しずおか食セレクション」や「ふじのくに新商品セレクション」等受賞商品の出口支援やポータルサイトでの情報発信を強化し、県産品のブランド力向上と認知の拡大を図るとともに、「ふじのくに食の都づくり仕事人」等と連携した地域活動を推進し、県産農林水産物の多面的な魅力発信を強化する。

また、ハラル対応をはじめとした「食の都」の内なる国際化を推進するため、飲食店や食品事業者へのピクトグラムを導入推進やアドバイザー派遣による事業者への支援に取り組む。

エ 県産品の輸出拡大

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により変容した海外ニーズに対応した輸出スキームを構築するため、ECやライブコマース、デジタルマーケティングなどデジタルを活用した販売・販促手法の実証、定着に取り組む。

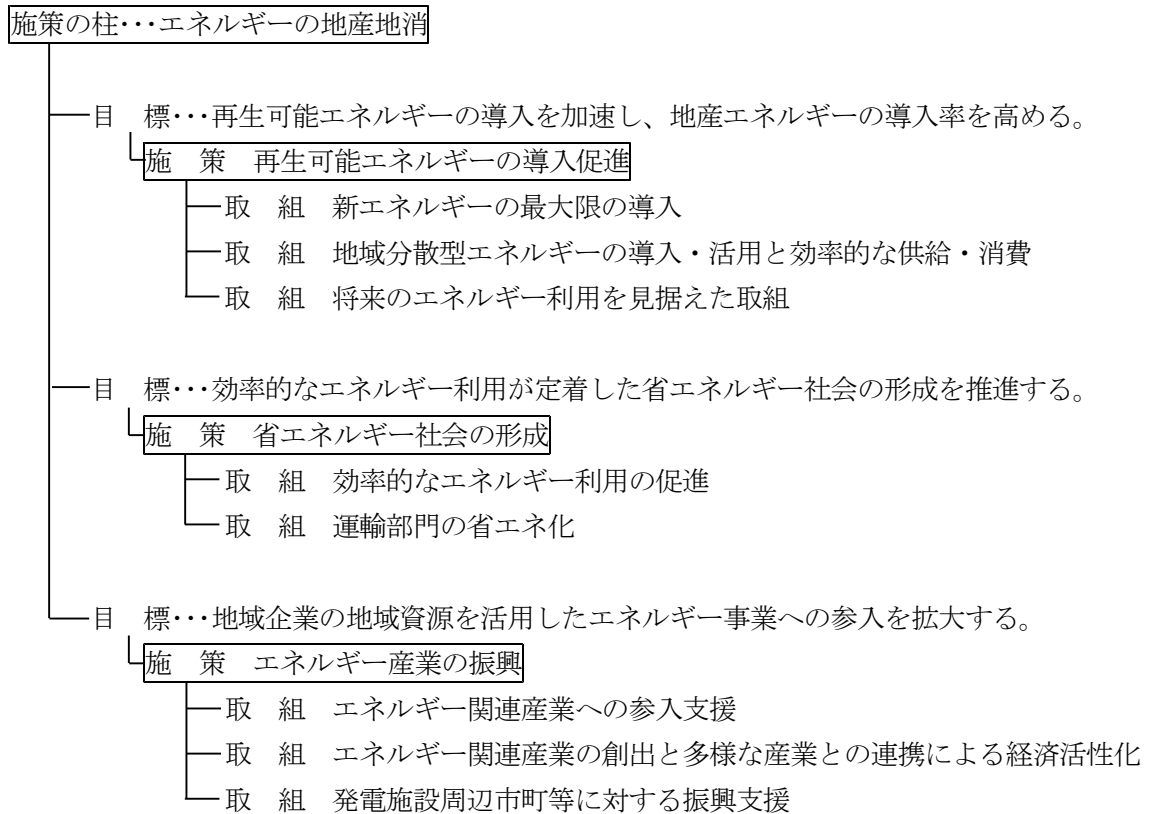
成長の原動力として県産品の輸出促進に取り組むため、マーケティング戦略に基づき海外戦略5品目(茶、いちご、わさび、温室メロン、日本酒)の輸出拡大を図るほか、輸出先国の市場ニーズや輸入規制に対応した産地づくりに取り組む生産者の支援を実施する。

また、清水港、富士山静岡空港を県産品輸出の物流拠点とするため、民間事業者(地域商社等)による商流・物流体制づくりを支援する。

さらに、ふじのくに通商エキスパートや県海外駐在員事務所等と連携し、輸出に取り組む県内事業者の現地での販路開拓を支援する。

IV エネルギー政策課

1 施策の体系（新ビジョン）



2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 「新エネルギーの最大限の導入」

ア 地産エネルギー創出支援事業費 41,801,153 円 県
(内 補助金 40,710,368 円)

太陽や水、森林など本県の豊かな自然資源を活用し、「ふじのくにエネルギー総合戦略」に掲げる目標を可能な限り早期に達成できるよう、新エネルギー等の導入促進に取り組んだ。

(ア) 住宅用太陽熱利用設備の導入支援

住宅に太陽熱利用設備を設置した者に対して、設置費の一部を助成した。

| 補助先 | 補助金額 | 概 要 |
|---|---------------------|---|
| 静岡県地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人アースライフネットワーク）（設置者へは同団体より交付） | 8,686 千円 (201 者) | 補助率：設置費の 1/10（上限 10 万円） 対象者：住宅に補助対象となる強制循環型太陽熱利用設備を設置した者 |

(イ) 事務費等

静岡県地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人アースライフネットワー

ク) に対して、住宅用太陽熱利用設備の設置者に対する補助金の交付事務に係る経費を助成した。

(ウ) 事業者用太陽光発電設備等の導入支援

太陽光発電設備等を設置する中小企業等に、設備導入借入への利子補給を行い、導入を支援した。

| | 金額 | 概要 |
|-----------|---------------------|---|
| 利子補給 | 2,061 千円 | 新エネ設備特別型 ・利子補給率 0.67%以内 (通常の制度融資は 0.47%以内) ・太陽光、風力、バイオマス等の新エネ設備導入 |
| (参考) 制度融資 | 113,380 千円 (7 件) | 融資利率 (申請者負担) 1.4%以内 (通常の利率は 1.6%以内) |

(エ) ふじのくにエネルギー地産地消推進事業

県内の小水力、バイオマス、温泉エネルギーの利活用を進める事業について、可能性調査及び設備導入を行った者に対して、経費の一部を助成した。

| 補助先 | 補助金額 | 概要 |
|-----------------------------------|--------------------------|--|
| 市町 (政令市除く) 民間 (中小企業、 非営利団体) | 24,999 千円 (4 社 計 4 件) | 補助率: 1/3 (補助対象経費: 国庫補助額を除いた額) 上限: 可能性調査 300 万円 設備導入 200 万円~1 億 3,000 万円 |

(オ) ふじのくに未来のエネルギー推進会議

学識経験者や事業者等で構成する「ふじのくに未来のエネルギー推進会議」を開催し、次期「ふじのくにエネルギー総合戦略」の検討を行った。

- ・委員 9 人 (会長: 岩堀恵祐 静岡県立大学客員教授、宮城大学名誉教授)
- ・開催日 令和 3 年 8 月 25 日 (水)、12 月 22 日 (水)、令和 4 年 3 月 15 日 (火)

イ 重 新 ふじのくにエネルギー総合戦略検討事業費 10,250,027 円 県
(内 委託料 9,933,000 円)

国のエネルギー基本計画等の社会状況の変化を踏まえ、エネルギーの地産地消と産業の振興を図るとともに、環境とエネルギーの調和を目指す新たな戦略の立案を行った。

(ア) エネルギー産業の振興に関する基礎調査

戦略の立案に向け、本県の現状や国の施策の動向などの基礎調査を実施した。

(イ) ふじのくに未来のエネルギー推進会議総合戦略検討作業部会の開催

- ・委員 14 人 (部会長: 福原長寿 静岡大学工学部教授)
- ・開催日 令和 3 年 9 月 27 日 (月)、11 月 17 日 (水)、令和 4 年 1 月 12 日 (水)

(2) 「地域分散型エネルギーの導入・活用と効率的な供給・消費」

ア 地産エネルギー創出支援事業費（再掲） 41,801,153 円 県
 (内 補助金 40,710,368 円)

(ア) 事業者用太陽光発電設備等の導入支援（再掲）

天然ガスコージェネレーションを設置する中小企業等に、設備導入借入への利子補給を行い、導入を支援した。

イ 新 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費

10,000,000 円 国 10/10

(内 補助金 10,000,000 円)

再エネ等を活用した地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築を目指す民間事業者が行う計画策定・調査等に対し助成した。

| 区 分 | 内 容 |
|--------|---|
| 補助対象者 | 県及び地元市町と地域の自立・分散型エネルギーシステムの構築に関する協定を締結している民間事業者 |
| 補助対象事業 | 事業計画の策定及び関連調査 |
| 補 助 率 | 1 / 2 |
| 補助限度額 | 10,000 千円 |

(3) 「将来のエネルギー利用を見据えた取組」

ア 次世代エネルギー産業構築支援事業費 21,754,863 円 国 10/10、県
 (内 委託料 10,355,400 円
 補助金 11,338,666 円)

エネルギー供給源の多様化や環境負荷の低減に貢献し、次世代のエネルギーとして期待される水素を活用した産業創出のため、新たな分野への参入機会の提供や県民等への普及啓発等を実施するとともに、水素ステーションの整備に対し助成した。

(ア) 小学校における水素エネルギー出前教室

水素をより身近に、かつ正しい知識を得る機会を提供し、水素エネルギーの理解促進を図るため、県内小学生を対象に水素エネルギー出前教室を実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大により、一部小学校は資料配付のみとした。

| 学校名 | 開催日 | 内容 |
|------------------------------|--------------|--|
| 加藤学園暁秀初等学校 | 令和4年2月4日(金) | ・環境、エネルギー、水素に関する説明 ・燃料電池自動車 (FCV)、水素ステーション等に関する説明 |
| 静大教育学部附属浜松小学校 | 令和4年2月8日(火) | |
| 聖隷クリストファー小学校 | 令和4年2月16日(水) | |
| 静岡サレジオ小学校 | 令和4年2月22日(火) | |
| 静大教育学部附属静岡小学校、常葉大学教育学部附属橘小学校 | 資料配付のみ | ・FCVの乗車、見学 ・FCVから家電等への電源供給等 |

(イ) 水素ステーション整備への助成

県内に設置される水素ステーションに対し、国の補助金と合わせ、その整備に要する経費の一部を助成した。

| 補助先 | 設置先 | 補助金額 | 概 要 |
|---|-----|-----------|--|
| 日本水素ステーション ネットワーク合同会社 岩谷産業株式会社 | 浜松市 | 10,222 千円 | 補助率：1/6 以内（上限 1 億円） 対 象：国庫補助対象の水素ステーション |
| 日本水素ステーション ネットワーク合同会社 日本エア・リキード合同会社 | 沼津市 | 1,117 千円 | |

(4) 「効率的なエネルギー利用の促進」

- ア 新エネルギー管理事業費 327,479 円 県
エネルギーに関する情報を収集、整理し、県民に情報を発信した。

(5) 「運輸部門の省エネ化」

- ア 次世代自動車普及促進事業費 4,859,105 円 国 10/10、県
(内 委託料 1,376,320 円)

(ア) FCV（燃料電池自動車）の普及促進

a ふじのくに FCV 普及促進協議会の開催

FCV の普及を促進するとともに、水素ステーションの整備を促進するため、エネルギー、運輸、自動車メーカー及び自治体等からなる協議会（平成 26 年 2 月設立）において、FCV 及び水素エネルギーに関する最新動向等の情報共有を Web 開催で行った。

- ・開催日 令和 4 年 3 月 10 日（木）

b FCV 活用事業

静岡トヨタ自動車株から無償にて FCV を借り受け、その活用方法を県内市町・企業・団体に公募し、一定期間貸し出すことで、FCV の普及促進を図った。

- ・貸出件数 2 件

(イ) EV（電気自動車）の普及促進

EV の普及に向けた利用環境の整備を図るため、充電器の位置情報等を配信した。

| 区 分 | 内 容 |
|-------------------|---|
| 充電器位置情報等配信システムの運営 | ・電気自動車用充電器の位置情報等の配信 |
| 県有急速充電器の維持管理 | ・一般開放している県有急速充電器の維持管理 設置場所：県庁、4 総合庁舎、富士山静岡空港、水ヶ塚駐車場 計 7 か所 |

(ウ) 外部給電デモンストレーションの開催

県内市町防災・エネルギー担当職員を対象に、県内 4 か所において、避難所等への電源供給を想定した外部給電デモンストレーションを開催し、水素エネルギーや FCV 等次世代

自動車の説明、次世代自動車からの外部給電を行うことで、次世代自動車の災害時における付加価値を認識していただくとともに普及啓発を図った。

| 開催地 | 開催日 | 内容 |
|-------------------|--------------|---|
| 地頭方原子力防災センター「ジ・ホ」 | 令和4年1月18日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・水素エネルギー、燃料電池自動車の説明 ・外部給電器の説明 ・外部給電デモンストレーション ・FCV、PHVの見学、試乗 |
| サンワーク下田 | 令和4年1月26日(水) | |
| 菊川下内田地区河川防災ステーション | 令和4年2月9日(水) | |
| 旧西浦小学校 | 令和4年2月28日(月) | |

(6) 「エネルギー関連産業への参入支援」

ア 創エネ・蓄エネ技術開発支援事業費 97,384,057円 国 10/10、県
 (内 委託料 7,473,850円)
 (補助金 89,910,207円)

産学官金の連携により、再生可能エネルギーや蓄電池等の創エネ・蓄エネに関する技術開発や実用化を促進し、地域企業によるエネルギー関連事業への参入促進やエネルギーを軸とした新たな次世代産業の創出を図るため、平成30年度に設立した「静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会」において、講演会やマッチング交流会、ワーキンググループ活動を実施した。また、9つのワーキンググループでの技術開発テーマのうち、3つのプロジェクトについて、次のステップとなる共同研究・実証のための助成を実施した。

(ア) 協議会事業

創エネ・蓄エネ関連の技術開発に取り組みたい企業、大学、試験研究機関、行政、金融機関等からなる協議会(会員数 177企業・団体(令和4年3月末時点))では、創エネ・蓄エネの技術開発に係る講演や情報提供、ビジネスマッチング交流会の動画配信等を実施した。

また、共同研究・共同実証に向けたテーマ別の9つのワーキンググループ活動を行った。

- ・講演会の開催 令和3年12月21日(火)
(動画配信:令和4年1月14日(金)~1月28日(金))
- ・ビジネスマッチング交流会の開催 令和3年12月10日(金)
(動画配信:令和3年12月13日(月)~12月24日(金))
- ・先進地視察 令和3年12月15日(水)~12月17日(金)
(動画配信:令和4年2月18日(金)~3月4日(金))
- ・ワーキンググループ活動報告会 令和4年3月4日(金)~

(イ) プラットフォーム構築

協議会を母体としたプラットフォームを構築し、コーディネータ2人による相談対応・マッチング支援を行い、また、令和元年度に開設した協議会のウェブサイトにより、創エネ・蓄エネに関する講演会等の情報提供を行った。

- ・コーディネータ企業訪問・相談対応件数 63件

(ウ) 技術開発・実証試験への助成

協議会のワーキンググループで検討した、再エネ及び省エネに資する先進的な技術開発に対し、助成を行った。

| 補助先 | 補助金額 | 概要 |
|------------------|-----------------------|--|
| 県内企業 中小企業団体ほか | 89,911 千円 (3社 計3件) | 補助率：10/10 (全額国庫) 上限：1 億円 下限：100 万円 |

(7) 「エネルギー関連産業の創出と多様な産業との連携による経済活性化」

ア ふじのくにバーチャルパワープラント構築事業費 377,931 円 国 10/10、県
IoT 技術を活用し、太陽光や風力といった再生可能エネルギーなどの発電量と家庭や事業所が利用する電力量などのデータを集約し、蓄電池の遠隔操作等により、地域内の電力の需要と供給を効率的に調整するバーチャルパワープラントの構築に取り組んだ。

(ア) ふじのくにバーチャルパワープラント構築協議会の開催

有識者、市町及び事業者等で構成される協議会を設立し、実証事業の事例紹介、意見交換を行った。

- ・開催日 令和3年12月22日(水) 会場及びWeb 併用開催
令和4年3月2日(水) Web 開催

(イ) ふじのくにバーチャルパワープラント構築セミナー

県民や事業者等へのバーチャルパワープラントの理解促進や関連ビジネスへの参入促進を図るため、バーチャルパワープラントの意義や展望、企業の取組等に関する動画を作成し、参加申込者限定で県ホームページに公開し、理解促進を図った。

- ・開催期間 令和4年3月1日(火)～15日(火)

イ 次世代エネルギー産業構築支援事業費(再掲) 21,754,863 円 国 10/10、県
〔内 委託料 10,355,400 円〕
〔 補助金 11,338,666 円 〕

エネルギー供給源の多様化や環境負荷の低減に貢献し、次世代のエネルギーとして期待される水素を活用した産業創出のため、新たな分野への参入機会の提供や県民等への普及啓発等を実施した。

(ア) 水素エネルギーに関する県内企業等調査及び検討会の開催

県内の水素エネルギーのポテンシャルや、企業や大学の技術をマッチングし、今後企業同士が共同で技術開発や製品開発等に取り組み、事業化を目指すための体制を構築するため、県内企業等に対する意向調査及び水素利活用ポテンシャル調査を実施するとともに、今後共同で事業を進めていくためのテーマ及び事業体制に係る検討会を実施した。

- ・水素エネルギー関連産業に取り組む可能性がある企業の実態及び意向調査

| | |
|------|--|
| 調査対象 | 令和2年度に実施したアンケート結果等に基づき、企業10事業所、研究者2名を抽出・選定 |
| 調査内容 | 水素に関する取組や検討会への参画意向等を把握するためのヒアリング調査 |
| 調査期間 | 令和3年11月4日(木)～令和4年2月21日(月) |

- ・県内における水素利活用ポテンシャル調査

| | |
|------|---|
| 調査対象 | 令和2年度に経済産業省が実施した調査をもとに民間事業所(80事業所)を選定 ・食料品製造業 58 事業所 ・飲料、たばこ、飼料製造業 22 事業所 |
| 調査内容 | ・一般及び産業廃棄物廃棄量(現在・将来)から水素製造量を推計 ・県の取組への参画意向 等 |
| 調査期間 | 令和3年10月18日(月)～11月5日(金) |

- ・静岡県水素エネルギー関連ビジネス参入検討会

| | |
|-----|-------------------------------|
| 開催日 | 令和4年3月1日(火) |
| 場 所 | パルシェ貸会議室(JR静岡駅ビル内) 第1会議室 |
| 参加者 | 検討会メンバー(民間企業)10名(会議室7名・WEB3名) |

(8) 「発電施設周辺市町等に対する振興支援」

- ア 電源立地等対策事務費 78,983円 国 10/10、県
電源立地地域対策交付金及び石油貯蔵施設立地対策等交付金に関する交付事務を行った。

- イ 電源立地地域対策交付金事業費 1,764,367,059円 国 10/10
(内 交付金 1,764,367,059円)

エネルギーの安定供給確保を図るため、発電施設等周辺市町等に対して、国からの交付金の発電施設等周辺市町への交付等を行った。

(ア) 原子力発電施設等周辺地域対策

原子力発電施設が立地する地域の住民福祉の向上を図るため、御前崎市及び隣接市の家庭及び事業者に対し、一般財団法人電源地域振興センターを通じて国からの交付金を交付した。

(単位：千円)

| 区分 | 市 名 | 電灯需要家 (口) | 電力需要家 (kW) | 交 付 額 | | |
|-------------|-------------|--------------|---------------|---------|-----------|-----------|
| | | | | 家 庭 | 事 業 者 | 計 |
| 所 在 市 | 御前崎市(旧浜岡町) | 142,848 | 1,007,374 | 152,990 | 538,945 | 691,935 |
| | 御前崎市(旧御前崎町) | 51,612 | 175,914 | 41,444 | 70,541 | 111,986 |
| | 小 計 | 194,460 | 1,183,288 | 194,434 | 609,486 | 803,921 |
| 隣 接 市 | 牧之原市(旧相良町) | 127,680 | 1,142,074 | 68,309 | 304,933 | 373,242 |
| | 掛川市(旧大東町) | 109,512 | 892,740 | 58,589 | 238,361 | 296,950 |
| | 菊川市(旧小笠町) | 79,596 | 416,242 | 42,584 | 111,136 | 153,720 |
| | 小 計 | 316,788 | 2,451,056 | 169,482 | 654,430 | 823,912 |
| 計 | | 511,248 | 3,634,344 | 363,916 | 1,263,917 | 1,627,833 |

(一般財団法人電源地域振興センター事務費 36,884千円)

※端数調整の関係で、合計が一致しない場合がある。

(イ) 水力発電施設周辺地域対策

運転開始後 15 年以上経過した水力発電施設等が立地する地域の住民福祉の向上を図るため、当該施設が所在する市町に対して、国からの交付金を交付した。

(単位：千円)

| 市 町 名 | 事業数 | 交付金額 | 市 町 名 | 事業数 | 交付金額 |
|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| 富 士 宮 市 | 2 | 7,824 | 東 伊 豆 町 | 1 | 4,400 |
| 島 田 市 | 2 | 11,642 | 小 山 町 | 1 | 3,344 |
| 裾 野 市 | 1 | 4,400 | 川 根 本 町 | 8 | 63,640 |
| 伊 豆 市 | 1 | 4,400 | 合 計 | 16 | 99,650 |

※端数調整の関係で、合計が一致しない場合がある。

ウ 石油貯蔵施設立地対策事業費 51,765,300 円 国 10/10
(内 交付金 51,765,300 円)

石油貯蔵施設が立地する地域の住民福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設所在市及び隣接市町に対して、国からの交付金を交付した。

(単位：千円)

| 地 点 | 市 町 名 | 交付金額 | 計 |
|------|----------|--------|--------|
| 清水地点 | 静 岡 市 | 24,717 | 35,310 |
| | 富 士 宮 市 | 2,119 | |
| | 志太広域事務組合 | 4,237 | |
| | 富 士 市 | 2,119 | |
| | 島 田 市 | 2,119 | |
| 焼津地点 | 焼 津 市 | 11,550 | 16,455 |
| | 静 岡 市 | 990 | |
| | 藤 枝 市 | 1,301 | |
| | 島 田 市 | 1,308 | |
| | 吉 田 町 | 1,306 | |
| 合 計 | | | 51,765 |

※端数調整の関係で、合計が一致しない場合がある。

エ 特定発電所周辺地域振興対策事業費 247,999,988 円 県
(内 交付金 247,999,988 円)

浜岡原子力発電所が立地することに伴って必要となる所在市等の事業に対して、当該地域の振興と地域住民の福祉の向上や原子力安全対策の推進を図るため、県が交付金を交付した。

(単位：千円)

| 市 町 名 | 事業数 | 交付金額 | 市 町 名 | 事業数 | 交付金額 |
|---------|-----|---------|---------|-----|---------|
| 御 前 崎 市 | 3 | 150,723 | 牧 之 原 市 | 1 | 42,198 |
| 掛 川 市 | 1 | 17,951 | 菊 川 市 | 2 | 15,357 |
| 吉 田 町 | 2 | 1,103 | 袋 井 市 | 1 | 3,282 |
| 焼 津 市 | 1 | 5,196 | 藤 枝 市 | 1 | 3,959 |
| 島 田 市 | 1 | 3,466 | 森 町 | 1 | 131 |
| 磐 田 市 | 1 | 4,633 | 合 計 | 15 | 248,000 |

※端数調整の関係で、合計が一致しない場合がある。

3 評価、課題及び改善

(1) 評価

| 指標名 | | 現状値 (2016年度) | 実績 | | | | | 目標値 (2021年度) |
|----------|---------------------------|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|
| | | | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | |
| 成果 指標 | 地産エネルギー導入率 | 16% | 18.9% | 19.3% | 19.8% | 21.3% | 2023年2月 公表予定 | 23% |
| | 新エネルギー等 導入量 | 105.1 万kl | 110.5 万kl | 116.5 万kl | 121.0 万kl | 126.4 万kl | 2023年2月 公表予定 | 159.1 万kl |
| | エネルギー消 費効率 | 94 (2014年度) | 82 | 84 | 86 | 88 | 2023年2月 公表予定 | 85 |
| 活動 指標 | 太陽光発電 導入量 | 152.0 万kW | 172.7 万kW | 193.2 万kW | 210.7 万kW | 226.3 万kW | 2023年2月 公表予定 | 210 万kW |
| | バイオマス 発電導入量 | 4.0 万kW | 5.0 万kW | 5.0 万kW | 5.0 万kW | 5.0 万kW | 2023年2月 公表予定 | 6.0 万kW |
| | バイオマス 熱利用導入 量 | 5.4 万kl | 5.4 万kl | 5.3 万kl | 4.8 万kl | 5.3 万kl | 2023年2月 公表予定 | 6.0 万kl |
| | 中小水力発電 導入量 | 1.2 万kW | 1.2 万kW | 1.2 万kW | 1.3 万kW | 1.3 万kW | 2023年2月 公表予定 | 1.9 万kW |
| | 水素ステー ション設置 数 | 2基 | 2基 | 2基 | 3基 | 3基 | 4基 | 7基 |
| | 電気自動車 用充電器設 置数 | 907基 | 947基 | 968基 | 968基 | 970基 | 970基 | 1,829基 |
| | 静岡版メタン 発酵プラント 導入か所数 | 0か所 | 0か所 | 0か所 | 0か所 | 0か所 | 0か所 | 3か所 |

ア 再生可能エネルギーの導入促進

事業所等への太陽光設備導入の支援や市町・民間事業者が行う小水力、バイオマス、温泉エネルギーの利活用可能性調査や設備導入への支援を実施することで、地産エネルギー等の導入量増加を推進した。

水素エネルギーの利活用に向けて、県内6小学校（うち2校は資料配付のみ）において、水素エネルギー出前教室を開催し、水素エネルギーやFCVの理解促進に努めた。

県内4か所目（浜松市内2か所目）、5か所目（沼津市内）となる水素ステーションの整備に助成し、水素の供給拠点の設置を促進した。

イ 省エネルギー社会の形成

一般開放される電気自動車充電器数は、国等の支援により民間施設を中心に少しずつ普及が進んでいる。また、充電器の位置情報等の配信を行い、利用環境の向上を図った。

県内4か所において、避難所等への電源供給を想定した外部給電デモンストレーションを開催し、災害時における次世代自動車の有用性を確認した。

ウ エネルギー産業の振興

静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会において、講演会やビジネスマッチング交流会の開催や研究テーマ別ワーキンググループへの支援、さらに協議会を母体として構築したプラットフォームにおいて、コーディネータによる企業連携支援に関する個別相談などの支援を行った。また、ワーキンググループで検討した、再エネ及び省エネに資する先進的な技術開発3件に対し、助成を行った。

ふじのくにバーチャルパワープラント構築協議会を開催し、実証事業の情報共有を行い、バーチャルパワープラントの事業化に向けた機運醸成を図った。

水素に関する取組や検討会への参画意向等について、県内事業者への調査を実施し、参画意向があった事業者で今後共同で事業を進めていくための検討会を開催することで、ビジネス参入に向けた機運醸成を図った。

(2) 課題

ア 再生可能エネルギーの導入促進

カーボンニュートラルの実現には、メガソーラーや洋上風力などの大型施設が有効である一方、大型施設は地域住民の生活に及ぼす影響が大きく、県内でも建設計画に対する反対運動が起きている事例がある。

また、燃焼時に二酸化炭素を排出しない水素エネルギーは、カーボンニュートラルの実現に欠かせない二次エネルギーとして期待されており、水素ステーションなどのインフラ整備とともに県民の理解向上を図る必要がある。

イ 省エネルギー社会の形成

国内の自動車保有台数のうち、約85%がガソリン車及びディーゼル車で、EVやFCVは全体の1%未満に留まっており、EV等の充電インフラも依然として不足している状況である。

ウ エネルギー産業の振興

カーボンニュートラルの実現には、産業全体での取組が必要となるが、脱炭素化への関心はあるものの具体的な取組にまで至っていない企業が多い。

(3) 改善

ア 再生可能エネルギーの導入促進

メガソーラーや大型風力発電所などの大型施設の設置に当たっては、法令に基づき環境の保全のための適正な措置を確保するとともに、「太陽光発電設備の適正導入に向けたモデルガイドライン」をもとに各市町が地域の特性を踏まえた指導を行うことによって、地元住民の十分な理解のもと、環境と調和した適切な設備導入を図る。

FCVの普及促進に向けた取組として、水素ステーション整備や普及啓発を図るため、施設整備への助成、関係者による協議会、普及啓発イベント等を開催する。

イ 省エネルギー社会の形成

EV・PHV等の次世代自動車の普及促進に向けた取組として、充電インフラの整備や情報発

信などによる安心して運転できる環境の整備、災害時に次世代自動車から避難所等に電気を供給する外部給電機能のデモンストレーションに取り組んでいく。

ウ エネルギー産業の振興

静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会において、講演会やマッチング交流会、ワーキンググループによる支援、さらに協議会を母体として構築したプラットフォームにおいて、コーディネータによる企業連携支援や販路開拓に関する個別相談などの支援を継続して行っていく。また、令和3年度助成した技術開発3件のうち2件については、令和4年度も支援を継続するとともに、令和3年度のワーキング活動において熟度が進捗した新たなプロジェクト1件についても事業化に向け実証事業に対し支援していく。

水素エネルギー関連ビジネスへの参入に向けた機運を高めるため、意欲のある企業同士の勉強会や視察等を実施し、事業化を目指して取り組んでいく。

事業の根拠法令調

| 事業名 | 根拠法令 |
|---|--|
| (産業イノベーション推進課) | |
| ふじのくにICT人材育成事業 | ICT関連産業立地事業費補助金交付要綱 コワーキングスペース設置事業費補助金交付要綱 プログラミングコンテスト開催事業費補助金交付要綱 |
| マリンバイオ産業振興事業費 | マリンオープンイノベーション事業費補助金交付要綱 マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金交付要綱 海洋技術開発促進事業費補助金交付要綱 |
| (新産業集積課) | |
| ファルマバレープロジェクト推進事業費 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金交付要綱 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 |
| 静岡県医療健康産業研究開発センター管理運営費 | 静岡県医療健康産業研究開発センターの設置、管理及び使用料に関する条例 |
| フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費 | フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費補助金交付要綱 高付加価値型食品等開発推進事業費補助金交付要綱 化成品・加工機械開発推進事業費補助金交付要綱 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 健康食産業振興事業費補助金交付要綱 |
| フォトンバレープロジェクト推進事業費 | 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業費（特定資産造成事業）補助金交付要綱 |
| 地域ものづくり企業技術革新支援事業費助成 | 地域ものづくり企業技術革新支援事業費補助金交付要綱 |
| 環境資源協会事業費助成 | 静岡県環境資源協会事業費補助金交付要綱 |
| 新成長産業戦略的育成事業費助成 静岡型航空産業育成事業費助成 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金交付要綱 |
| 先端企業育成プロジェクト推進事業費助成 | 先端企業育成プロジェクト推進事業費補助金交付要綱 新成長産業戦略的育成事業費補助金交付要綱 |
| ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費 | CNF活用試作品開発事業費補助金交付要綱 |
| 成長産業における共同受注体支援事業費助成 | 共同受注体支援事業費補助金交付要綱 |
| 医療機器産業基盤強化推進事業費助成 | 医療機器産業基盤強化推進事業費補助金交付要綱 |

事業の根拠法令調

| 事業名 | 根拠法令 |
|------------------------------------|--|
| (マーケティング課) | |
| 産地主導型マーケティング活動支援事業費 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金交付要綱 |
| 6次産業化推進事業費 | 食料産業・6次産業化交付金交付要綱 農山漁村6次産業化対策事業補助金交付要綱 地域食農連携プロジェクト推進事業補助金交付等要綱 |
| 食と観光の連携事業費 | 食と観光の連携事業費補助金交付要綱 |
| ムスリム受入環境整備事業費 | 外国人観光客受入環境整備事業費補助金交付要綱 |
| 食品産業振興事業費助成 | 流通加工関係団体活動費補助金交付要綱 |
| GFPグローバル産地づくり推進事業費 | GFPグローバル産地づくり推進事業費補助金交付要綱 |
| 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業実施要綱及び交付要綱(国) 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金交付要綱 |
| 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費 | 食料産業・6次産業化交付金実施要綱及び交付要綱(国) 6次産業化推進事業費補助金交付要綱 |
| (エネルギー政策課) | |
| 新エネルギーの導入 | 新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法 |
| 太陽熱利用設備導入支援事業費助成 | 住宅用太陽熱利用設備導入支援事業費補助金交付要綱 |
| ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費助成 | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金交付要綱 |
| 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費助成 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費補助金交付要綱 |
| 電源立地地域等の振興 | 特別会計に関する法律、同法施行令 発電用施設周辺地域整備法、同法施行令 電源立地地域対策交付金交付規則 電源立地地域対策交付金交付要綱 石油貯蔵施設立地対策等交付金交付規則 石油貯蔵施設立地対策等交付金交付要綱 |
| 水素供給設備整備事業費助成 | 水素供給設備整備事業費補助金交付要綱 |
| 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費助成 | 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費補助金交付要綱 |

職 員 配 置 調

(令和4年4月1日現在)

| 区 分 | | 産業革新局 | 産業イノベーション推進課 | 新産業集積課 | マーケティング課 | エネルギー政策課 | 計 |
|------------------|-----------|----------|--------------|--------|-----------|----------|-----------|
| | | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 |
| 配 置 職 員 | 職 員 (事) | 2 | 11 | 16 | 10 | 7 | 46 |
| | 職 員 (技) | 2 | 3 | 4 | 7 | 1 | 17 |
| | 再任用職員 (事) | — | — | — | — | — | 0 |
| | 再任用職員 (技) | — | — | — | — | — | 0 |
| | 会計年度任用職員 | (1) | — | — | (1) | — | (2) |
| | 臨時的任用職員 | — | — | — | — | — | (0) |
| 計 | | (1) 4 | 14 | 20 | (1) 17 | 8 | (2) 63 |

過年度分収入未済額調

(令和4年5月31日現在)

| 年度 | 区分 | 本庁分 | | 本庁分 | | 合 計 | |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------|----------|------------------|----------|--------------------------|-------|
| | | 過年度返納金 | | 過年度返納金 | | | |
| | | 地域研究 | 産業開発 | 創造補助 | 技術補助 | | |
| | | 件数 | 収入未済額 | 件数 | 収入未済額 | 件数 | 収入未済額 |
| | | | | | | | |
| 27年度以前(A) | 1 (1) | 4,780,000 (4,780,000) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 4,780,000 (4,780,000) | |
| 28年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 29年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 30年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 元年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 2年度 | 0 | 0 | 1 (0) | 2,100,000 (0) | 1 (0) | 2,100,000 (0) | |
| 合計 | 1 (1) | 4,780,000 (4,780,000) | 1 (0) | 2,100,000 (0) | 2 (1) | 6,880,000 (4,780,000) | |
| 摘要① (滞納処分の停止等の理由) | 債権事務取扱要領第8の1(2)に該当 | | - | | - | | |
| 摘要② (不納欠損処分の件数、額) | - | | - | | - | | |
| 摘要③ (A欄のうち、1件10万円以上の内訳) | 富士千橋梁土木㈱ 1件・4,780,000円 | | - | | - | | |

預 金 調

(令和4年3月31日現在)

| 金融機関名 | 預金種類 | 口座番号 | 口座名義人 | 残高(円) | 摘 要 |
|--------------|--------------|---------|---------------------------------------|-------|--------------------|
| 静岡銀行 県庁支店 | 無利息型 普通預金 | 0297248 | 経済産業部産業革新局資金前渡者 産業革新局長 餅原太郎 | 0 | 現地支払経費等 資金前渡用 |
| 静岡銀行 県庁支店 | 無利息型 普通預金 | 0297259 | (自振口) 経済産業部産業革新局資金前 渡者 産業革新局長 餅原太郎 | 0 | 携帯電話料金の自動 振替払 等 |
| 残高合計 | | | | 0 | |

様式第7号-4

郵 券 等 受 払 調

(令和4年3月31日現在)

(単位：枚、円)

| 区 分 | 種 類 | 令和2年度 | | | | | | 令和3年度 | | | | | | 摘 要 | | |
|--------------|------|-------|----|-----|----|-----|----|-------|----|----|----|----|----|-----|-------|-----------|
| | | 繰越 | | 受入 | | 払出 | | 繰越 | | 受入 | | 払出 | | | 差引現在高 | |
| | | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | 枚数 | 金額 | | 枚数 | 金額 |
| 郵 券 | 50円券 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| | 80円券 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| | 計 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| タクシー チケット | 用度課 | 0 | | 120 | | 65 | | 0 | | 90 | | 38 | | 0 | | 連絡 調整用 |
| | 配付分 | | | | | 25 | | | | | | 22 | | | | |
| | | | | | 30 | | | | | | | 30 | | | | |
| | 計 | 0 | | 120 | | 120 | | 0 | | 90 | | 90 | | 0 | | |

(注) タクシーチケット中の払出欄は、上段：使用分、中段：廃棄分、下段：用度課返納分である。

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

| 節名 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 執行済額（円） | | |
|---------------------|------|-------|-------|-------|---------------|---------------|-----------------|
| | | | | | 令和2年度 | 令和3年度 | 左のうち、2年度からの繰越額分 |
| (12) 委託料 | 一般会計 | 経済産業費 | 産業革新費 | 産業革新費 | / | 389,999,662 | / |
| | 一般会計 | 経済産業費 | 企画調整費 | 企画調整費 | / | 2,959,000 | / |
| | | | | | / | | / |
| 計 | | | | | 391,574,550 | 392,958,662 | 0 |
| (14) 工事請負費 | 一般会計 | 経済産業費 | 産業革新費 | 産業革新費 | / | 759,000 | / |
| | | | | | / | | / |
| | | | | | / | | / |
| 計 | | | | | 429,550 | 759,000 | 0 |
| (16) 公有財産購入費 | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| 計 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| (17) 備品購入費 | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| 計 | | | | | 670,560 | 0 | 0 |
| (18) 負担金、補助及び交付金 | 一般会計 | 経済産業費 | 産業革新費 | 産業革新費 | / | 4,145,154,690 | 102,255,000 |
| | | | | | / | | / |
| | | | | | / | | / |
| 計 | | | | | 4,285,915,543 | 4,145,154,690 | |
| (21) 補償、補填及び賠償金 | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| | | | | | / | / | / |
| 計 | | | | | 0 | 0 | 0 |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|------------------------------|----------------|----------------|------------|-------------|-----------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| | 産業イノベーション推進課 (事務関係) | | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 1 | マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究業務委託 | 東京海洋大学 | 8,600,900 | 8,449,694 | △ 78,469 | 8,371,225 |
| 2 | " | 慶應義塾大学 | 9,798,360 | 9,780,000 | 0 | 9,780,000 |
| 3 | " | 東京工業大学 | 9,941,910 | 9,922,000 | 0 | 9,922,000 |
| 4 | " | 静岡県立大学 | 2,537,700 | 2,497,000 | 0 | 2,497,000 |
| 5 | " | 高知大学 | 6,565,600 | 6,546,000 | 0 | 6,546,000 |
| 6 | " | 東海大学 | 6,033,500 | 6,000,000 | 0 | 6,000,000 |
| 7 | " | 東京工業大学 | 10,096,900 | 10,000,000 | △ 2,120,905 | 7,879,095 |
| 8 | " | 静岡大学 | 9,006,800 | 9,000,000 | 0 | 9,000,000 |
| 9 | ふじのくにICT人材育成事業ウェブサイト保守管理業務委託 | (株)ウェブサクセス | 400,400 | 400,400 | 0 | 400,400 |
| 10 | 静岡大学と連携した中核的ICT人材育成講座業務委託 | (株)浜名湖国際頭脳センター | 4,283,400 | 4,283,400 | 0 | 4,283,400 |
| 11 | 静岡県立大学と連携した中核的ICT人材育成講座業務委託 | 静岡県公立大学法人 | 2,499,970 | 2,499,970 | 0 | 2,499,970 |
| 12 | ふじのくにICT人材育成プロデューサー業務委託 | (公財)静岡県産業振興財団 | 6,422,416 | 6,422,416 | △ 1,039,589 | 5,382,827 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契 約 締結方法 | 契 約 期 間 | 支出年月日 | 金 額 | 委 託 業 務 の 内 容 | 摘 要 |
|-------------|---------------------------|---|--|--|---------------------------------------|
| | | | 円 | | |
| 随契 | 3. 4. 13 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 12 | 8, 371, 225 | キンメダイの飼育技術の構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 13 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 11 | 9, 780, 000 | 静岡県産魚類由来成分による失明疾患の制御に関する研究 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 13 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 12 | 9, 922, 000 | 深海環境において生分解性を示すバイオプラスチックの構造探索 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 19 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 11 | 2, 497, 000 | 駿河湾由来のカロテノイド生産微生物の探索とサプリメント開発への応用 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 15 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 12 | 6, 546, 000 | 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 19 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 12 | 6, 000, 000 | 動画撮影とAI認識による駿河湾サクラエビ漁業支援システム開発 | 随契2号 (不適) 変更理由: コロナ禍による出張旅費等の減少 |
| 随契 | 3. 8. 2 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 12 | 7, 879, 095 | 動画撮影とAI認識による駿河湾サクラエビ漁業支援システム開発 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 30 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 11 | 9, 000, 000 | 動画撮影とAI認識による駿河湾サクラエビ漁業支援システム開発 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 28 | 400, 400 | ふじのくに I C T人材育成事業に関するイベントや講座等の情報を広く発信するための、公式ウェブサイトの運営 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 6. 1 ～ 4. 3. 31 | 3. 11. 30 | 4, 283, 400 | 県内企業の中核人材育成を目的に、静岡大学と連携した I C T講座の実施 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 12 ～ 4. 3. 31 | 3. 4. 30 3. 10. 29 小計 | 1, 320, 154 1, 179, 816 2, 499, 970 | 県内企業の中核人材育成を目的に、静岡県立大学と連携した I C T講座の実施 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 9 ～ 4. 3. 29 | 3. 6. 30 3. 9. 30 3. 12. 22 4. 4. 26 小計 | 1, 605, 604 1, 605, 604 1, 605, 604 566, 015 5, 382, 827 | 県や関係団体、企業等に対して専門的な助言、指導等を行う I C T人材育成プロデューサーの配置 | 随契2号 (不適) 変更理由: コロナ禍による企業訪問等の減少 |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|---------------------------|--------------------|----------------|------------|-------------|------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| 13 | プログラミングコンテスト・キャンプ実施業務委託 | エデュケーショナル・デザイン(株) | 8,998,000 | 8,998,000 | 0 | 8,998,000 |
| 14 | ジュニアプロコンコミュニティ運営業務委託 | エデュケーショナル・デザイン(株) | 990,000 | 990,000 | 0 | 990,000 |
| 15 | D X 推進講座業務委託 | テービーテック株式会社 | 2,805,000 | 2,805,000 | 0 | 2,805,000 |
| 16 | 首都圏 I C T 企業新規リード獲得業務委託 | (株)イマクリエ | 987,800 | 987,800 | 0 | 987,800 |
| 17 | 中小企業IoT活用促進業務委託 | (公財)静岡県産業振興財団 | 8,906,400 | 8,894,600 | 0 | 8,894,600 |
| 18 | ロボットシステムインテグレーター業務委託 | (一社)日本ロボット工業会 | 1,429,890 | 1,429,890 | △ 374,220 | 1,055,670 |
| | 産業イノベーション推進課 計 | 15件 | 100,304,946 | 99,906,170 | △ 3,613,183 | 96,292,987 |
| | 新産業集積課 (事務関係) | | | | | |
| 19 | 静岡県医療健康産業研究開発センター管理運営事務委託 | (公財)ふじのくに医療城下町推進機構 | 57,800,000 | 54,800,000 | △ 44,981 | 54,755,019 |
| 20 | ファルマバレープロジェクトセミナー運営業務委託 | (株)静鉄アド・パートナーズ | 896,610 | 601,700 | 0 | 601,700 |
| 21 | 緊急時医療用ガウン生産実証業務委託 | (有)神谷縫製 | 1,063,091 | 1,052,255 | 0 | 1,052,255 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|--------|---------------------------|-----------|--------------|---|-----------------------|
| 随契 | 3. 5. 20 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 25 | 8, 998, 000 | 小中高生を対象にしたプログラミング作品のコンテストの運営、プログラミングスキルを向上する指導・発表を行うキャンプの運営 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 5. 28 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 28 | 990, 000 | 県主催のプログラミングコンテスト等で発掘したハイスキルな次世代ICT人材のコミュニティの運営 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 6. 4 ～ 4. 3. 31 | 3. 11. 30 | 2, 805, 000 | 経営者がDXのイメージを描けるようになるとともに、社内のDX担当リーダーを養成する講座の実施 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 5. 13 ～ 3. 8. 31 | 3. 7. 30 | 987, 800 | 県が企業訪問を行うための新規リード(見込み顧客)獲得を目的に、首都圏ICT企業に対するフォームマーケティングの実施 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 5. 11 ～ 4. 3. 31 | 3. 6. 28 | 1, 002, 128 | 県内中小企業におけるIoTの利活用を促進するためのセミナー、人材育成講座、個別企業支援、普及啓発等の実施 | 随契2号 (不適) |
| | | 3. 10. 6 | 2, 796, 664 | | |
| | | 3. 12. 24 | 2, 638, 584 | | |
| | | 4. 4. 21 | 2, 457, 224 | | |
| | | 小計 | 8, 894, 600 | | |
| 随契 | 3. 8. 23 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 8 | 1, 055, 670 | SIer業務に必要な知識、実技の習得を目的とした研修 | 随契2号 (不適) |
| | | | 96, 292, 987 | | |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 3. 4. 15 | 13, 700, 000 | 静岡県医療健康産業研究開発センターの管理・運営 | 指定管理者 随契2号 (不適) |
| | | 3. 7. 15 | 13, 700, 000 | | |
| | | 3. 10. 15 | 13, 700, 000 | | |
| | | 4. 1. 14 | 13, 700, 000 | | |
| | | 4. 5. 31 | △ 44, 981 | | |
| | | 小計 | 54, 755, 019 | | |
| 随契 | 3. 10. 26 ～ 4. 1. 7 | 4. 2. 24 | 601, 700 | ファルマバレープロジェクトセミナーのオンライン開催に係る業務委託 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 4. 2. 17 ～ 4. 3. 25 | 4. 4. 28 | 1, 052, 255 | 改良不織布を用いた医療用ガウンの生産実証委託 | 随契2号 (不適) |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|-------------------------------------|------------------------------|----------------|------------|-------------|------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| 22 | 緊急時医療用ガウン生産 実証業務委託 | (株) 八木繊維 | 1,376,100 | 1,375,275 | 0 | 1,375,275 |
| 23 | 緊急時医療用ガウン生産 実証業務委託 | 殿岡服飾工業 (株) | 808,522 | 802,516 | 0 | 802,516 |
| 24 | 緊急時医療用ガウン生産 実証業務委託 | (株) サンウエ ルド | 715,605 | 648,285 | 0 | 648,285 |
| 25 | 静岡県健康食ビジネスモ デル創出業務委託 | 静岡県公立大学 法人 | 6,767,400 | 6,767,400 | △ 3,776,730 | 2,990,670 |
| 26 | 静岡県健康食ビジネスモ デル創出業務委託 | (株) 食の学び 舎くるみ | 9,983,897 | 9,983,897 | 0 | 9,983,897 |
| 27 | 静岡県健康食ビジネスモ デル創出業務委託 | (株) 竹屋旅館 | 9,896,700 | 9,896,700 | 0 | 9,896,700 |
| 28 | 温泉に関する調査業務委 託 | 有限責任監査法 人トーマツ | 996,556 | 941,864 | 0 | 941,864 |
| 29 | ふじのくにCNF総合展示会 ウェブサイト制作運營業 務委託 | (株) エイエ ビー静岡支店 | 9,789,000 | 9,788,900 | 0 | 9,788,900 |
| 30 | 次世代自動車に係る企業 連携ワークショップ開催 業務委託 | (公財) 浜松地 域イノベーション 推進機構 | 2,996,400 | 2,996,400 | 0 | 2,996,400 |
| 31 | 先端企業育成プロジェクト 推進事業に係る委託研 究 | (国研) 産業技術 総合研究所 | 27,577,200 | 27,577,200 | △ 3,394,379 | 24,182,821 |
| 32 | 産学官技術交流促進事業 に係る事務委託 | (公財) 静岡県産 業振興財団 | 23,893,000 | 23,893,000 | 0 | 23,893,000 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|----------|---------------------------|----------|------------|---|---|
| 随契 | 4. 2. 14 ～ 4. 3. 25 | 4. 4. 28 | 1,375,275 | 改良不織布を用いた医療用ガウンの生産実証委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 4. 2. 15 ～ 4. 3. 25 | 4. 4. 28 | 802,516 | 改良不織布を用いた医療用ガウンの生産実証委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 4. 2. 15 ～ 4. 3. 25 | 4. 4. 28 | 648,285 | 改良不織布を用いた医療用ガウンの生産実証委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 6. 10 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 14 | 2,990,670 | 食と健康に関するデータに基づく健康的な食の提供モデルの構築と実証事業委託 | 随契2号 (不適) コロナに伴う トライアル実 証規模の縮小 |
| 随契 | 3. 5. 10 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 11 | 9,983,897 | 食と健康に関するデータに基づく健康的な食の提供モデルの構築と実証事業委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 5. 10 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 11 | 9,896,700 | 食と健康に関するデータに基づく健康的な食の提供モデルの構築と実証事業委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.12. 7 ～ 4. 3. 11 | 4. 4. 13 | 941,864 | 温泉効能・活用に関する最新の知見及び国内外の温泉を活用したヘルスケアサービスに関する調査 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 8. 31 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 28 | 9,788,900 | ふじのくにCNF総合展示会をオンラインで開催するためのウェブサイトの制作運営に関する業務委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.11. 1 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 27 | 2,996,400 | 中小企業の企業間連携を促進するため、系列を超えた大手サプライヤ、中小企業等によるワークショップ開催に関する業務委託 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 10 | 4. 4. 20 | 8,580,000 | 県内企業と国立研究開発法人産業技術総合研究所が行う新技術・新製品の共同研究開発の委託 | 随契2号 (不適) コロナに伴う 研究計画変更 (備品費等減) |
| | | 4. 4. 22 | 4,105,621 | | |
| 4. 4. 22 | 11,497,200 | | | | |
| | | 小計 | 24,182,821 | | |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 3. 7. 30 | 10,000,000 | 産学官技術交流促進事業の業務委託 | 随契2号 (不適) |
| | | 3.10. 29 | 10,000,000 | | |
| | | 4. 4. 28 | 3,893,000 | | |
| | | 小計 | 23,893,000 | | |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|-------------------------------|-----------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| 33 | 知的財産活用促進事業に係る事務委託 | (一社)静岡県発明協会 | 11,288,164 | 11,288,164 | 0 | 11,288,164 |
| 34 | 次世代自動車の電動化・デジタル化等対応実態調査業務委託 | (一財)静岡経済研究所 | 2,966,194 | 2,959,000 | 0 | 2,959,000 |
| | 新産業集積課 計 | 16 件 | 168,814,439 | 165,372,556 | △ 7,216,090 | 158,156,466 |
| | マーケティング課 (事務関係) | | | | | |
| 35 | 静岡県産品の販路拡大に向けたマーケット調査業務委託 | 株式会社澤光青果 | 2,133,120 | 2,090,000 | 0 | 2,090,000 |
| 36 | マーケティング戦略品目評価等調査業務委託 | 株式会社ジェイ・エム・アール生活総合研究所 | 1,119,910 | 1,089,000 | 0 | 1,089,000 |
| 37 | 「バイ・ふじのくに」県産品販路拡大業務委託 | 株式会社オギノ | 990,000 | 942,480 | 0 | 942,480 |
| 38 | 「バイ・ふじのくに」山梨物産市運営等業務委託 | 株式会社静鉄アド・パートナーズ | 6,642,948 | 3,693,800 | 1,730,337 | 5,424,137 |
| 39 | 「バイ・シズオカ」ポータルサイト維持管理業務委託 | 株式会社SBSプロモーション | 999,900 | 825,000 | 0 | 825,000 |
| 40 | 「バイ・シズオカ オンラインカタログ」保守管理業務委託 | 株式会社ディーグリーン | 462,000 | 451,000 | 0 | 451,000 |
| 41 | 「バイ・シズオカ オンラインカタログ」追加機能作成業務委託 | 株式会社ディーグリーン | 5,263,500 | 4,537,500 | 0 | 4,537,500 |
| 42 | 食のデジタルカタログを活用した県産品の販路開拓業務委託 | 株式会社JTB静岡支店 | 9,900,000 | 9,899,978 | △ 346,907 | 9,553,071 |
| 43 | ECサイトを活用した県産品の販路開拓業務委託 | 株式会社ポケットマルシェ | 4,999,998 | 4,917,000 | 0 | 4,917,000 |
| 44 | 6次産業化サポート員派遣業務委託 | 株式会社パソナ農援隊 | 3,410,000 | 3,409,643 | 0 | 3,409,643 |
| 45 | ふじのくにに新商品セレクション審査会運営等業務委託 | 株式会社 静鉄アド・パートナーズ | 997,304 | 882,800 | △ 195,423 | 687,377 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契 約 締結方法 | 契 約 期 間 | 支出年月日 | 金 額 | 委 託 業 務 の 内 容 | 摘 要 |
|-------------|----------------------------|-----------|-------------|---|-----------------------------|
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 3. 5. 31 | 4,000,000 | 知財総合支援窓口の実施機関への特許 流通アドバイザー配置 | 随契2号 (不適) |
| | | 3. 8. 31 | 3,000,000 | | |
| | | 3. 11. 30 | 3,000,000 | | |
| | | 4. 4. 28 | 1,288,164 | | |
| | | 小計 | 11,288,164 | | |
| 随契 | 3. 6. 4 ～ 3. 9. 30 | 3. 11. 4 | 2,959,000 | 県内自動車関連企業の電動化・デジタル 化等への対応に関する実態調査業務 委託 | 随契2号 (不適) |
| | | | 158,156,466 | | |
| 随契 | 3. 4. 22 ～ 4. 3. 20 | 4. 4. 12 | 2,090,000 | 「富士山しずおかマルシェ」の開催による県 産品のPR、マルシェ開催店舗での需要調 査・分析 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 8. 6 ～ 3. 8. 31 | 3. 10. 1 | 1,089,000 | マーケティング戦略品目の生産、需要、消 費等の評価調査、及び首都圏や山の洲にお ける静岡県産品の統計調査・分析 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 15 ～ 4. 2. 28 | 4. 4. 6 | 942,480 | 山梨県内に広く店舗展開する量販店での静 岡フェアの開催 | 随契1号 (少額) |
| 一般 | 3. 9. 15 ～ 3. 12. 17 | 3. 11. 22 | 5,424,137 | 山梨県と連携した「バイ・ふじのくに」を 両県民へ幅広く周知するための物産展の開 催 | 出展者確定に伴 うイベント設備 経費等の増 |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 18 | 825,000 | 「バイ・シズオカ」等の事業を県内外へ幅 広くPRするためのポータルサイトの管理・ 運営 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 4. 1 ～ 4. 3. 31 | 4. 4. 26 | 451,000 | 「バイ・シズオカ オンラインカタログ」 を適切に管理するための保守管理 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 4. 3. 3 ～ 4. 3. 31 | 4. 5. 20 | 4,537,500 | 「バイ・シズオカ オンラインカタログ」 への登録事業者専用ページ、外国語専用 ページ、検索カテゴリ機能等の追加 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 6. 7 ～ 4. 3. 31 | 4. 5. 20 | 9,553,071 | 県産農林水産品とその加工品を掲載したカ タログの活用によるオンライン商談会や産 地訪問等 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 14 ～ 4. 2. 28 | 4. 4. 8 | 4,917,000 | ECサイトでの静岡県特設ページの開設や新 商品の開発等 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 27 ～ 4. 3. 10 | 4. 3. 31 | 3,409,643 | 6次産業化の案件の掘り起こし、事業者に 対するヒアリング等 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 8. 12 ～ 3. 9. 10 | 3. 10. 20 | 687,377 | 「ふじのくに新商品セレクション2021」選 定審査会の運営 | 随契1号 (少額) |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|--------------------------------------|-----------------------|----------------|-----------|-------------|------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| 46 | 「スーパーマーケット・トレードショー2022」静岡県ブース装飾等業務委託 | 株式会社昭栄美術 | 1,885,000 | 1,885,000 | △ 1,560,500 | 324,500 |
| 47 | 静岡県地域食農連携プロジェクト事務局運営業務委託 | 株式会社JTB静岡支店 | 2,900,000 | 2,899,886 | 0 | 2,899,886 |
| 48 | 食の都しずおかフェア運営等業務委託 | 株式会社JTB静岡支店 | 3,700,000 | 3,700,000 | 1,953,800 | 5,653,800 |
| 49 | ふじのくに「食の都」表彰式運営業務委託 | 株式会社静鉄アド・パートナーズ | 4,165,396 | 3,685,000 | △ 144,765 | 3,540,235 |
| 50 | 静岡ムスリムアドバイザー業務委託 | アサディ みわ | 910,000 | 910,000 | △ 76,500 | 833,500 |
| 51 | ハラール対応実践セミナー・オンライン商談会運営業務委託 | フードダイバーシティ株式会社 | 2,090,000 | 2,090,000 | △ 605,000 | 1,485,000 |
| 52 | ムスリムモニター試食評価会運営業務委託 | フードダイバーシティ株式会社 | 968,000 | 968,000 | 30,800 | 998,800 |
| 53 | 「静岡おいしいナビ！」ホームページ維持管理業務委託 | 株式会社静鉄アド・パートナーズ | 492,800 | 458,700 | 0 | 458,700 |
| 54 | 「静岡おいしいナビ！」ホームページ情報追加・更新業務委託 | 株式会社静鉄アド・パートナーズ | 837,100 | 776,600 | 0 | 776,600 |
| 55 | 食の都ポータルサイトシステム構築業務委託 | 株式会社静鉄アド・パートナーズ | 8,999,650 | 8,999,100 | 2,365,000 | 11,364,100 |
| 56 | しずおか食セレクション愛称「頂」PR等業務委託 | 株式会社ジェイ・エム・アール生活総合研究所 | 7,999,915 | 7,999,915 | 0 | 7,999,915 |
| 57 | 静岡県産品愛用運動推進に係る県産品紹介ホームページ作成・管理運営事務委託 | 静岡県産品愛用運動推進協議会 | 795,454 | 790,000 | 0 | 790,000 |
| 58 | 中部横断自動車道開通商圏拡大業務委託 | エイグローブ株式会社 | 2,992,000 | 2,992,000 | 0 | 2,992,000 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契約締結方法 | 契約期間 | 支出年月日 | 金額 | 委託業務の内容 | 摘要 |
|--------|------------------------|---------|------------|--|------------------------------------|
| 随契 | 3.10.13 ～ 4.2.28 | 4.3.18 | 324,500 | 「スーパーマーケットトレードショー2022」における静岡県ブースの設営、運営 | 随契2号(不適) コロナの影響による出展取り止めに伴う減 |
| 随契 | 3.6.28 ～ 4.3.15 | 4.3.31 | 2,899,886 | 地域食農連携プロジェクトのプラットフォームの形成等の事務局業務 | 随契2号(不適) |
| 随契 | 3.6.25 ～ 4.3.31 | 4.4.25 | 5,653,800 | 「ふじのくに食の都づくり仕事人」店舗において、静岡の食を体験できるレストランフェアの開催 | 随契2号(不適) コロナ禍でのフェア運営変更に伴う周知業務の増 |
| 一般 | 3.8.26 ～ 3.12.24 | 4.1.20 | 3,540,235 | 「ふじのくに食の都表彰式」の運営 | |
| 随契 | 3.6.17 ～ 4.3.18 | 3.6.30 | 455,000 | ハラール対応メニューの開発等の個別コンサルティング、ハラールポータル掲載店舗情報更新業務 | 随契1号(少額) |
| | | 4.4.14 | 378,500 | | |
| | | 小計 | 833,500 | | |
| 随契 | 3.8.6 ～ 4.3.18 | 4.4.14 | 1,485,000 | ハラール対応商品開発事業者等を対象としたオンラインセミナーや個別相談、商談会の開催 | 随契2号(不適) |
| 随契 | 4.1.5 ～ 4.3.25 | 4.4.19 | 998,800 | ハラール対応実践段階にある飲食店の評価、情報発信等の事務局運営業務 | 随契1号(少額) |
| 随契 | 3.4.1 ～ 4.3.31 | 4.4.18 | 458,700 | 「ふじのくに食の都づくり仕事人」等を掲載した「静岡おいしいナビ!」ホームページの維持管理 | 随契1号(少額) |
| 随契 | 3.12.24 ～ 4.3.25 | 4.4.20 | 776,600 | 「静岡おいしいナビ!」の仕事人情報の更新 | 随契1号(少額) |
| 随契 | 3.10.20 ～ 4.3.31 | 4.4.15 | 11,364,100 | 既存のHPを集約し、県産農林水産物を一体的にPRする「食の都ポータルサイト」の構築 | 随契2号(不適) ポータルサイト公開に向けたPR業務の増 |
| 随契 | 3.12.22 ～ 4.3.18 | 4.4.18 | 7,999,915 | 「しずおか食セレクション」の愛称「頂」を活用した首都圏の中高級量販店におけるPR | 随契2号(不適) |
| 随契 | 3.4.1 ～ 4.3.31 | 3.4.26 | 395,000 | 「静岡こだわりの逸品ガイド」の維持管理 | 随契1号(少額) |
| | | 3.11.29 | 395,000 | | |
| | | 小計 | 790,000 | | |
| 随契 | 3.7.19 ～ 4.3.18 | 4.4.18 | 2,992,000 | 静岡県産品と山の洲(山梨県、長野県、新潟県)の産品を清水港から輸出する仕組みの構築 | 随契2号(不適) |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|----------|------------------------------|--|----------------|-------------|-----------|-------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| 59 | 中部横断自動車道開通商圏 拡大業務委託 | J A全農インター ナショナル株式会 社 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 |
| 60 | 中部横断自動車道開通商圏 拡大業務委託 | 株式会社世界市場 | 2,948,000 | 2,948,000 | △ 11,660 | 2,936,340 |
| 61 | 県産品海外販路拡大ニュー ノーマル創出事業業務委託 | 株式会社F o r B r i d g e s | 4,994,000 | 4,994,000 | 0 | 4,994,000 |
| 62 | 県産品海外販路拡大ニュー ノーマル創出事業業務委託 | 株式会社SECA I M A R C H E | 4,999,500 | 4,999,500 | 0 | 4,999,500 |
| 63 | 県産品海外販路拡大ニュー ノーマル創出事業業務委託 | 株式会社萌す | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 |
| 64 | 県産品海外販路拡大ニュー ノーマル創出事業業務委託 | エイグローブ株式 会社 | 4,950,000 | 4,950,000 | 0 | 4,950,000 |
| 65 | 県産品海外販路拡大ニュー ノーマル創出事業業務委託 | 株式会社エイチ・ アイ・エス | 4,985,200 | 4,985,200 | 0 | 4,985,200 |
| 66 | 静岡県産品輸出実態調査業 務委託 | 株式会社静鉄ア ド・パートナーズ | 789,525 | 572,715 | 0 | 572,715 |
| 67 | 静岡県産品の中国向け輸出 販路開拓業務委託 | 株式会社エイチ・ アイ・エス | 3,496,900 | 3,489,640 | 0 | 3,489,640 |
| 68 | 海外市場調査業務委託 | E A T U S A, L L C | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 69 | 海外市場調査業務委託 | 藤田 孝司 | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 70 | 海外市場調査業務委託 | M A I I N T E R N A T I O N A L A S S O C I A T E S J O I N T S T O C K C O M P A N Y | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 71 | 海外市場調査業務委託 | R & A I n f o r m a t i o n S e r v i c e C o . , L t d . | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| | マーケティング課 計 | 37 件 | 111,217,120 | 106,231,457 | 3,139,182 | 109,370,639 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契 約 締結方法 | 契 約 期 間 | 支出年月日 | 金 額 | 委 託 業 務 の 内 容 | 摘 要 |
|-------------|---------------------------|----------|---------------|--|--------------|
| 随契 | 3. 7. 20 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 25 | 3, 000, 000 | 静岡県産品と山の洲（山梨県、長野県、新潟県）の産品を清水港から輸出する仕組みの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 20 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 21 | 2, 936, 340 | 静岡県産品と山の洲（山梨県、長野県、新潟県）の産品を清水港から輸出する仕組みの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 16 ～ 4. 3. 18 | 3. 9. 30 | 3, 690, 000 | 県産品の輸出拡大に向け、市場の変化に対応した輸出スキームの構築 | 随契2号 (不適) |
| | | 4. 4. 14 | 1, 304, 000 | | |
| | | 小計 | 4, 994, 000 | | |
| 随契 | 3. 7. 28 ～ 4. 3. 18 | 4. 5. 16 | 4, 999, 500 | 県産品の輸出拡大に向け、市場の変化に対応した輸出スキームの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 30 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 25 | 5, 000, 000 | 県産品の輸出拡大に向け、市場の変化に対応した輸出スキームの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 7. 30 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 18 | 4, 950, 000 | 県産品の輸出拡大に向け、市場の変化に対応した輸出スキームの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 8. 6 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 27 | 4, 985, 200 | 県産品の輸出拡大に向け、市場の変化に対応した輸出スキームの構築 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 8. 25 ～ 3. 9. 27 | 3. 11. 1 | 572, 715 | 県産品輸出実績に関するアンケート調査・分析 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 6. 8 ～ 4. 3. 18 | 4. 4. 15 | 3, 489, 640 | 第4回中国国際輸入博覧会への出展、年間を通じた中国輸出版路開拓の支援 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3. 9. 9 ～ 3. 9. 17 | 3. 11. 1 | 100, 000 | 輸出先国における日本の農林水産品・食品の流通状況、輸入規制、市場ニーズ等に関する調査 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 9. 14 ～ 3. 9. 24 | 3. 11. 1 | 100, 000 | 輸出先国における日本の農林水産品・食品の流通状況、輸入規制、市場ニーズ等に関する調査 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 9. 14 ～ 3. 9. 24 | 3. 11. 1 | 100, 000 | 輸出先国における日本の農林水産品・食品の流通状況、輸入規制、市場ニーズ等に関する調査 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3. 9. 17 ～ 3. 9. 27 | 3. 11. 1 | 100, 000 | 輸出先国における日本の農林水産品・食品の流通状況、輸入規制、市場ニーズ等に関する調査 | 随契1号 (少額) |
| | | | 109, 370, 639 | | |

委 託 料 に

| 整理 番号 | 委 託 業 務 名 | 受 託 者 | 当 初 設 計 金 額 | 契 約 金 額 | | |
|------------|--|------------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| | エネルギー政策課 (事務関係) | | | | | |
| 72 | 水素エネルギー関連ビジネス 参入支援業務 | 大日本コンサルタント(株)静岡営業所 | 9,482,000 | 9,482,000 | 0 | 9,482,000 |
| 73 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進 事業に係る事務 | (一社)静岡県環境 資源協会 | 4,961,000 | 4,881,382 | △ 21,922 | 4,859,460 |
| 74 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進 事業(コーディネータ配置等) に係る事務 | (一社)静岡県環境 資源協会 | 3,069,000 | 3,061,058 | △ 534,668 | 2,526,390 |
| 75 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進 協議会ウェブサイト維持管理 業務 | (株)共立アイコム | 99,000 | 88,000 | 0 | 88,000 |
| 76 | 水素エネルギー出前教室運営 業務 | (株)ピーエーシー | 919,600 | 780,000 | △ 148,600 | 631,400 |
| 77 | ふじのくにバーチャルパワーブ ラント構築セミナー動画制作業 務 | (株)共立アイコム | 297,000 | 242,000 | 0 | 242,000 |
| 78 | 充電インフラ情報等配信事業 業務 | 日本ユニシス(株) | 1,243,000 | 1,191,520 | 0 | 1,191,520 |
| 79 | 水ヶ塚駐車場急速充電器保守 点検業務 | ニチコン(株) | 199,100 | 184,800 | 0 | 184,800 |
| 80 | ふじのくにエネルギー総合戦 略改定のための基礎調査業務 | 大日本コンサルタン ト(株)静岡営業所 | 9,933,000 | 9,933,000 | 0 | 9,933,000 |
| エネルギー政策課 計 | | 9 件 | 30,202,700 | 29,843,760 | △ 705,190 | 29,138,570 |
| 本庁執行分 合計 | | 77 件 | 410,539,205 | 401,353,943 | △ 8,395,281 | 392,958,662 |
| 産業革新局 合計 | | 77 件 | 410,539,205 | 401,353,943 | △ 8,395,281 | 392,958,662 |

関 する 調

(令和3年度)

| 契 約 締結方法 | 契 約 期 間 | 支出年月日 | 金 額 | 委 託 業 務 の 内 容 | 摘 要 |
|-------------|-----------------------|--------|-------------|---|--------------|
| | | | | | |
| 随契 | 3.8.31 ～ 4.3.4 | 4.3.29 | 9,482,000 | 県内企業に対する水素エネルギー関連調査、 県内における水素利活用ポテンシャル調査、 今後共同で事業を進めていくためのテーマや 事業体制等の検討、検討会の運営 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.7.9 ～ 4.3.11 | 4.3.31 | 4,859,460 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会の運営、 講演会やマッチング交流会の開催、ワーキング グループ活動の運営 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.7.9 ～ 4.3.11 | 4.5.13 | 2,526,390 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会の会員に よる技術開発や新事業創出に対する支援を行 うコーディネータの配置、及び販路開拓アドバ イザーの派遣 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.4.1 ～ 4.3.31 | 4.4.22 | 88,000 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会に係るウェブ サイトの維持管理 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 4.1.14 ～ 4.3.7 | 4.3.23 | 631,400 | 水素エネルギー出前教室の準備、当日の運営 補助等 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 4.1.17 ～ 4.2.21 | 4.3.16 | 242,000 | バーチャルパワープラント構築セミナーの講義 の事前収録、編集、動画作成 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3.4.1 ～ 4.3.31 | 4.5.10 | 1,191,520 | 電気自動車用充電器の位置情報を配信。また、 通信機能を活用し、充電器の使用状況を 管理 | 随契2号 (不適) |
| 随契 | 3.4.1 ～ 4.3.31 | 4.5.10 | 184,800 | 水ヶ塚駐車場に設置した電気自動車用急速充 電器に関する問い合わせ対応と定期点検の実 施 | 随契1号 (少額) |
| 随契 | 3.7.1 ～ 4.3.23 | 4.4.22 | 9,933,000 | ふじのくにエネルギー総合戦略の改定に必要な 基礎調査の実施 | 随契2号 (不適) |
| | | | 29,138,570 | | |
| | | | 392,958,662 | | |
| | | | 392,958,662 | | |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|----------------|--|-----------------------|-------------------------------|---|-------------|-------------|
| (産業イノベーション推進課) | | | | | 円 | 円 |
| 1 | マリンオープンイノベーション事業補助金 イノベーション促進事業分 (マリンバイオ産業振興事業費) | (一財)マリンオープンイノベーション機構 | マリンオープンイノベーション事業費補助金交付要綱 | マリンオープンイノベーションプロジェクトの推進機関となる一般財団法人マリンオープンイノベーション機構の運営・体制整備に要する経費に対し助成 | 163,174,000 | 163,174,000 |
| 2 | マリンオープンイノベーション事業補助金 法人運営等事業分 (マリンバイオ産業振興事業費) | " | " | " | 19,707,000 | 19,707,000 |
| 3 | マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金 (マリンバイオ産業振興事業費) | 柿島養鱒(株) | マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金交付要綱 | 「マリンオープンイノベーションプロジェクトにおける研究開発・産業応用の基本方針」に沿った産業分野の事業化取組に要する経費に対し助成 | 6,021,500 | 4,000,000 |
| 4 | " | イノベティブ・デザイン・テクノロジー(株) | " | " | 17,725,383 | 11,733,333 |
| 5 | " | ㈱岩清 | " | " | 4,068,790 | 2,000,000 |
| 6 | " | 三生医薬(株) | " | " | 27,000,000 | 18,000,000 |
| 7 | " | ㈱Dr. シーバ | " | " | 4,814,259 | 3,209,506 |
| 8 | " | ケイ・アイ化成(株) | " | " | 14,527,673 | 9,685,115 |
| 9 | 海洋技術開発促進事業費補助金 (マリンバイオ産業振興事業費) | 日建リース工業(株) 静岡支店 | 海洋技術開発促進事業費補助金交付要綱 | マリンバイオテクノロジーを活用した「食品」、「水産」、「創薬」及び「環境・エネルギー等」の分野の産業振興の基盤となる工学系・情報系の技術開発に要する経費に対し助成 | 14,334,364 | 9,556,242 |
| 10 | " | いであ(株)静岡営業所 | " | " | 4,731,980 | 3,154,653 |
| 11 | " | ㈱秋山機械 | " | " | 15,709,091 | 10,000,000 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|-------|------------|--------------|--------|------------|---------|--------------------|----------------|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| | | 円 | | 円 | | | |
| 定額 | 3.4.1 | 223,060,000 | 3.4.20 | 78,000,000 | 4.3.31 | 4.3.31 | 国交付決定 3.4.1 |
| | 4.1.26 | △ 46,078,000 | 3.8.20 | 48,000,000 | | | |
| | 4.3.11 | △ 13,808,000 | 4.2.28 | 15,000,000 | | | |
| | 小計 | 163,174,000 | 4.3.25 | 22,174,000 | | | |
| 定額 | 3.4.1 | 21,308,000 | 3.4.16 | 7,000,000 | 4.3.31 | 4.3.31 (4.4.12) | 国交付決定 3.4.1 |
| | 4.1.28 | △ 1,278,000 | 3.8.20 | 4,000,000 | | | |
| | 4.3.31 | △ 323,000 | 4.2.28 | 6,000,000 | | | |
| | 小計 | 19,707,000 | 4.4.26 | 2,707,000 | | | |
| 2/3以内 | 3.4.9 | 4,000,000 | 4.3.31 | 4,000,000 | 4.3.10 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| | 4.1.7 | 0 | | | | | |
| 小計 | 4,000,000 | | | | | | |
| 2/3以内 | 3.4.8 | 12,266,666 | 4.3.31 | 11,733,333 | 4.3.10 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| 2/3以内 | 3.4.8 | 2,000,000 | 4.3.31 | 2,000,000 | 4.3.4 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| 2/3以内 | 3.4.1 | 18,000,000 | 4.3.31 | 18,000,000 | 4.3.10 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| | 4.1.5 | 0 | | | | | |
| 小計 | 18,000,000 | | | | | | |
| 2/3以内 | 3.4.13 | 19,140,000 | 4.3.31 | 3,209,506 | 4.2.28 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| | 4.1.5 | △ 15,785,334 | | | | | |
| 小計 | 3,354,666 | | | | | | |
| 2/3以内 | 3.8.4 | 12,200,000 | 4.3.31 | 9,685,115 | 4.3.10 | 4.3.15 | 国交付決定 3.4.1 |
| 2/3以内 | 3.4.9 | 9,665,333 | 4.3.31 | 9,556,242 | 4.3.10 | 4.3.16 | 国交付決定 3.4.1 |
| 2/3以内 | 3.8.2 | 3,707,986 | 4.3.31 | 3,154,653 | 4.3.10 | 4.3.16 | 国交付決定 3.4.1 |
| 2/3以内 | 3.7.30 | 10,000,000 | 4.3.31 | 10,000,000 | 4.2.25 | 4.3.16 | 国交付決定 3.4.1 |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|------|--|-------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-------------|-------------|
| 12 | ICT関連産業立地事業費補助金 (ふじのくにICT人材育成事業費) | NEXT(株) | ICT関連産業立地事業費補助金交付要綱 | 高度ICT技術者を擁するICT企業の新たな事業所開設に要する経費に対し助成 | 8,571,690 | 3,501,260 |
| 13 | 〃 | セブセンスマーケティング(株) | 〃 | 〃 | 10,980,000 | 2,090,000 |
| 14 | 〃 | myProduct(株) | 〃 | 〃 | 12,534,561 | 3,392,280 |
| 15 | 〃 | ITbookホールディングス(株) | 〃 | 〃 | 13,409,808 | 3,648,700 |
| 16 | 〃 | (株)casaliz | 〃 | 〃 | 7,728,000 | 2,060,000 |
| 17 | 〃 | (株)さくらコミュニケーション | 〃 | 〃 | 3,328,700 | 980,708 |
| 18 | 〃 | ビズフライト(同) | 〃 | 〃 | 4,600,000 | 2,000,000 |
| 19 | 産業用ロボット導入事前検証・事業化可能性調査事業費補助金(中小企業ロボット導入促進事業) | (株)神谷理研 | 産業ロボット導入事前検証・事業化可能性調査事業費補助金交付要綱 | 産業ロボット導入事前検証・事業化可能性調査事業に要する経費に対し助成 | 25,000,000 | 250,000 |
| | 産業イノベーション推進課 計 | 19件 | | | 377,966,799 | 272,142,797 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|-------|-----------|---------------|----------|---------------|----------|------------------------|-----|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 2/3以内 | 3. 4. 1 | 3, 501, 260 | 4. 5. 30 | 3, 501, 260 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 2) | |
| 2/3以内 | 3. 4. 1 | 2, 090, 000 | 4. 5. 31 | 2, 090, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 2) | |
| 2/3以内 | 3. 4. 1 | 3, 498, 090 | 4. 5. 25 | 3, 392, 280 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 25) | |
| 2/3以内 | 3. 4. 1 | 3, 649, 000 | 4. 5. 30 | 3, 648, 700 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 10) | |
| 2/3以内 | 3. 4. 1 | 2, 060, 000 | 4. 5. 25 | 2, 060, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 2) | |
| 2/3以内 | 3. 10. 28 | 980, 708 | 4. 5. 30 | 980, 708 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 6) | |
| 2/3以内 | 4. 2. 28 | 2, 000, 000 | 4. 5. 25 | 2, 000, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 25) | |
| 1/2以内 | 3. 11. 29 | 250, 000 | 4. 3. 29 | 250, 000 | 4. 3. 10 | 4. 3. 10 | |
| | | 276, 104, 709 | | 272, 142, 797 | | | |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|----------|---|-------------------------|-----------------------------|---|------------|------------|
| (新産業集積課) | | | | | | |
| 20 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業) | (公財)ふじのくに医療城下町推進機構 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金交付要綱 | ファルマバレープロジェクト推進の中核的支援機関であるふじのくに医療城下町推進機構の事業運営上必要となる経費に対し助成 | 98,425,585 | 97,979,344 |
| 21 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (法人運営事業) | " | " | " | 49,555,553 | 49,555,553 |
| 22 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (医療機器等開発助成事業) | " | " | 県内中小企業による医療健康分野に関する研究開発成果の早期実用化の加速、県内企業間の連携促進に要する費用に対し助成 | 7,750,646 | 7,750,646 |
| 23 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (自立支援機器開発助成事業) | " | " | 県内中小企業による福祉・介護分野における研究開発成果の早期実用化の加速に要する費用に対し助成 | 7,748,944 | 7,748,944 |
| 24 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (富士山麓ビジネスマッチング促進事業) | " | " | ビジネスマッチングを推進するための事業に要する経費に対し助成 | 12,591,000 | 6,000,000 |
| 25 | ファルマバレープロジェクト推進事業費補助金 (創薬探索研究事業) | " | " | 創薬探索研究を推進するための事業に要する経費に対し助成 | 36,269,844 | 36,269,844 |
| 26 | 中小企業技術者研修事業費補助金 | (独)国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校 | 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 | 富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラムの運営に要する経費に対し助成 | 4,876,817 | 1,000,000 |
| 27 | フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費補助金(連携促進・PR) | (公財)静岡県産業振興財団 | フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費補助金交付要綱 | フーズ・ヘルスケアプロジェクトの成果の普及とその事業化の推進のための連携促進・PR事業に要する経費に対し助成 | 9,494,000 | 5,544,000 |
| 28 | フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費補助金(ビジネスマッチングの推進) | " | " | フーズ・ヘルスケアプロジェクトの成果の普及とその事業化の推進のためのビジネスマッチングの推進事業に要する経費に対し助成 | 41,559,000 | 41,559,000 |
| 29 | フーズ・ヘルスケアプロジェクト推進事業費補助金(食の機能性に関するプラットフォームの構築) | " | " | フーズ・ヘルスケアプロジェクトの成果の普及とその事業化の推進のための食の機能性に関するプラットフォームの構築事業に要する経費に対し助成 | 12,020,000 | 12,020,000 |
| 30 | 高付加価値型食品等開発推進事業費補助金 | " | 高付加価値型食品等開発推進事業費補助金交付要綱 | 高付加価値型食品等開発推進事業を実施する地域企業等に助成する(公財)静岡県産業振興財団に対し助成 | 9,435,564 | 9,435,564 |
| 31 | 化成品・加工機械開発推進事業費補助金 | " | 化成品・加工機械開発推進事業費補助金交付要綱 | 化成品・加工機械の開発支援や販路拡大を通じフーズ・ヘルスケアプロジェクトを推進する(公財)静岡県産業振興財団に対し助成 | 24,801,263 | 24,451,263 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|-----|----------------------------------|--------------------------------------|---|---|----------|------------------------|-----------------------|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 定額 | 3. 4. 6 4. 2. 25 | 118,827,000 △ 17,607,000 | 3. 4. 15 3. 11. 30 4. 2. 28 4. 5. 31 | 55,452,000 27,726,000 10,090,000 4,711,344 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | 小計 | 101,220,000 | 小計 | 97,979,344 | | | |
| 定額 | 3. 4. 6 4. 2. 25 | 54,999,000 △ 4,000,000 | 3. 4. 15 3. 9. 29 4. 2. 28 4. 5. 31 | 21,385,000 17,108,000 10,686,000 376,553 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | 小計 | 50,999,000 | 小計 | 49,555,553 | | | |
| 定額 | 3. 4. 6 4. 2. 25 | 10,000,000 △ 2,020,000 | 3. 4. 15 4. 3. 30 | 500,000 7,250,646 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | 小計 | 7,980,000 | 小計 | 7,750,646 | | | |
| 定額 | 3. 4. 6 3. 8. 31 | 10,000,000 △ 858,000 | 3. 4. 15 4. 3. 30 | 500,000 7,248,944 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | 小計 | 9,142,000 | 小計 | 7,748,944 | | | |
| 定額 | 3. 4. 6 | 6,000,000 | 3. 4. 15 4. 2. 28 | 4,200,000 1,800,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | | | 小計 | 6,000,000 | | | |
| 定額 | 3. 4. 6 4. 2. 25 | 36,654,000 △ 384,000 | 3. 4. 15 3. 11. 30 4. 2. 28 4. 5. 31 | 12,904,000 7,000,000 16,320,000 45,844 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 11) | 現 |
| | 小計 | 36,270,000 | 小計 | 36,269,844 | | | |
| 定額 | 3. 4. 30 | 1,000,000 | 3. 9. 28 4. 5. 20 | 700,000 300,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 14) | 現 |
| | | | 小計 | 1,000,000 | | | |
| 定額 | 3. 4. 19 | 5,544,000 | 3. 5. 28 4. 5. 30 | 3,880,000 1,664,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| | | | 小計 | 5,544,000 | | | |
| 定額 | 3. 4. 19 | 41,559,000 | 3. 5. 28 4. 5. 30 | 29,091,000 12,468,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| | | | 小計 | 41,559,000 | | | |
| 定額 | 3. 4. 19 | 12,020,000 | 3. 5. 28 4. 5. 31 | 8,414,000 3,606,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| | | | 小計 | 12,020,000 | | | |
| 定額 | 3. 4. 19 4. 2. 21 4. 3. 24 | 10,900,000 △ 474,000 △ 600,000 | 4. 5. 31 | 9,435,564 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| | 小計 | 9,826,000 | | | | | |
| 定額 | 3. 4. 23 4. 2. 21 | 29,242,000 △ 1,723,000 | 3. 5. 28 3. 11. 30 4. 3. 31 | 11,700,000 8,769,000 3,982,263 | 4. 2. 28 | 4. 2. 28 (4. 3. 11) | 現 国交付決定 3. 4. 1 |
| | 小計 | 27,519,000 | 小計 | 24,451,263 | | | |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|------|--|---------------------|--|---|-------------|-------------|
| 32 | 中小企業技術者研修事業費補助金 | (公財)静岡県産業振興財団 | 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 | 総合食品学講座の運営に要する経費に対し助成 | 2,116,000 | 1,000,000 |
| 33 | 健康食産業振興事業費補助金(健康食産業振興事業における事業化等支援に要する経費) | 〃 | 健康食産業振興事業費補助金交付要綱 | (公財)静岡県産業振興財団が実施する健康食を対象とした販路開拓等の支援事業に要する経費を助成 | 65,538,646 | 64,388,646 |
| 34 | 〃 | 静岡県公立大学法人 | 〃 | 静岡県公立大学法人が実施する健康食に関する研究開発と事業化支援に要する経費を助成 | 51,990,484 | 51,990,484 |
| 35 | 健康食産業振興事業費補助金(健康食産業振興事業の運営に要する経費) | (公財)静岡県産業振興財団 | 健康食産業振興事業費補助金交付要綱 | 健康食産業振興事業を実施する(公財)静岡県産業振興財団に対し、当該事業の運営に要する経費を助成 | 1,247,057 | 1,247,057 |
| 36 | 〃 | 静岡県公立大学法人 | 〃 | 健康食産業振興事業を実施する静岡県公立大学法人に対し、当該事業の運営に要する経費を助成 | 2,913,157 | 2,913,157 |
| 37 | 中小企業技術者研修事業費補助金 | (学)光産業創成大学院大学 | 中小企業技術者研修事業費補助金交付要綱 | レーザーによるものづくり中核人材育成講座の運営に要する経費に対し助成 | 7,355,888 | 1,000,000 |
| 38 | A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業費(特定資産造成事業)補助金 | (公財)浜松地域イノベーション推進機構 | A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業費(特定資産造成事業)補助金交付要綱 | A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業のための特定資産を造成する事業に対し助成 | 60,000,000 | 30,000,000 |
| 39 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金(新成長産業戦略的育成事業費助成) | (公財)静岡県産業振興財団 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金交付要綱 | 成長産業分野へ進出する中小企業を支援する事業に要する経費に対し助成 | 138,563,188 | 138,563,188 |
| 40 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金(先端企業育成プロジェクト推進事業費助成) | 〃 | 〃 | 先端企業育成プロジェクト推進事業に取り組む中小企業を支援する事業に要する経費に対し助成 | 21,122,140 | 21,122,140 |
| 41 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金(静岡型航空産業育成事業費助成) | 〃 | 〃 | 航空宇宙分野へ進出する中小企業を支援する事業に要する経費に対し助成 | 40,064,340 | 40,064,340 |
| 42 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金(EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費(国庫)) | 〃 | 〃 | 次世代自動車分野へ進出する中小企業を支援する事業に要する経費に対し助成 | 19,100,580 | 19,100,580 |
| 43 | 新成長産業戦略的育成事業費補助金(EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費(県単)) | 〃 | 〃 | 〃 | 102,221,037 | 102,221,037 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|---------|---------------------------------------|---|---|---|----------|------------------------|-----------------------|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 定額 | 3. 4. 19 | 1,000,000 | 3. 5. 28 4. 5. 31 小計 | 700,000 300,000 1,000,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| 定額 | 3. 5. 17 4. 2. 22 小計 | 81,240,000 △ 15,316,000 65,924,000 | 3. 5. 31 3. 11. 30 4. 3. 31 小計 | 24,370,000 32,490,000 7,528,646 64,388,646 | 4. 2. 28 | 4. 2. 28 (4. 3. 11) | 現 国交付決定 3. 4. 1 |
| 定額 | 3. 6. 3 4. 2. 22 小計 | 57,474,000 △ 3,730,000 53,744,000 | 3. 6. 30 4. 3. 31 小計 | 40,230,000 11,760,484 51,990,484 | 4. 2. 28 | 4. 2. 28 (4. 3. 14) | 現 国交付決定 3. 4. 1 |
| 定額 | 3. 5. 17 | 1,306,000 | 4. 3. 1 4. 5. 30 小計 | 914,000 333,057 1,247,057 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 9) | 現 |
| 定額 | 3. 6. 3 4. 2. 24 小計 | 3,900,000 △ 861,000 3,039,000 | 4. 5. 30 | 2,913,157 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 5. 10) | 現 |
| 定額 | 3. 4. 12 | 1,000,000 | 4. 4. 13 | 1,000,000 | 4. 3. 10 | 4. 3. 10 (4. 3. 18) | 現 |
| 定額 | 3. 4. 15 | 30,000,000 | 3. 4. 23 3. 6. 4 小計 | 21,000,000 9,000,000 30,000,000 | 3. 4. 30 | 3. 5. 14 | |
| 10/10以内 | 3. 4. 15 3. 9. 30 4. 3. 2 小計 | 185,000,000 △ 4,033,000 △ 36,130,000 144,837,000 | 3. 5. 31 3. 10. 29 4. 5. 31 小計 | 30,000,000 60,000,000 48,563,188 138,563,188 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |
| 10/10以内 | 3. 4. 15 | 21,282,000 | 3. 5. 31 3. 10. 29 4. 3. 31 4. 5. 31 小計 | 1,000,000 5,000,000 6,000,000 9,122,140 21,122,140 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |
| 10/10以内 | 3. 4. 15 4. 3. 2 小計 | 51,750,000 △ 11,620,000 40,130,000 | 3. 5. 31 3. 10. 29 4. 3. 31 4. 5. 31 小計 | 6,000,000 14,000,000 4,000,000 16,064,340 40,064,340 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |
| 10/10以内 | 3. 5. 13 3. 9. 30 小計 | 25,200,000 △ 1,695,000 23,505,000 | 3. 5. 31 3. 10. 29 4. 3. 31 小計 | 9,000,000 7,000,000 3,100,580 19,100,580 | 4. 3. 16 | 4. 3. 16 (4. 3. 11) | 現 国交付決定 3. 4. 1 |
| 10/10以内 | 3. 4. 15 4. 3. 2 小計 | 112,200,000 △ 8,908,000 103,292,000 | 3. 5. 31 3. 10. 29 4. 3. 31 4. 5. 31 小計 | 15,000,000 30,000,000 20,000,000 37,221,037 102,221,037 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|------|-----------------------|---------------------|---------------------------|---|------------|------------|
| 44 | 先端企業育成プロジェクト推進事業費補助金 | (株)アツミテック | 先端企業育成プロジェクト推進事業費補助金交付要綱 | 県内企業が(国研)産業技術総合研究所と行う新技術・新製品の共同研究開発に要する経費に対し助成 | 15,409,904 | 7,500,000 |
| 45 | 〃 | (株)ANSeeN | 〃 | 〃 | 23,035,911 | 15,333,000 |
| 46 | 〃 | (株)ヒロタ | 〃 | 〃 | 6,071,910 | 4,047,000 |
| 47 | 〃 | (株)アールテック | 〃 | 〃 | 31,227,521 | 20,800,000 |
| 48 | 〃 | アドバンスコンポジット(株) | 〃 | 〃 | 70,727,783 | 47,053,000 |
| 49 | 〃 | (株)三共製作所 | 〃 | 〃 | 16,641,644 | 11,094,000 |
| 50 | 〃 | (株)ノダ | 〃 | 〃 | 88,991,616 | 43,900,000 |
| 51 | 〃 | (株)マクルウ | 〃 | 〃 | 831,435 | 554,000 |
| 52 | 〃 | (株)エイディーディー | 〃 | 〃 | 69,564,546 | 46,376,000 |
| 53 | CNF活用試作品開発事業費補助金 | 北越東洋ファイバー(株) | CNF活用試作品開発事業費補助金交付要綱 | CNFを用いた試作品開発に要する経費に対し助成 | 805,887 | 402,000 |
| 54 | 〃 | (株)コーヨー化成 | 〃 | 〃 | 1,892,925 | 946,000 |
| 55 | 地域ものづくり企業技術革新支援事業費助成 | (公財)浜松地域イノベーション推進機構 | 地域ものづくり企業技術革新支援事業費補助金交付要綱 | 中小企業が成長分野に参入するための技術革新支援事業に対し助成 | 26,913,229 | 8,857,000 |
| 56 | 成長産業における共同受注体支援事業費補助金 | 静岡県中小企業団体中央会 | 共同受注体支援事業費補助金交付要綱 | 成長産業分野への参入を目指す共同受注体が行う一貫生産体制を確立するための事業に対し助成 | 319,500 | 150,000 |
| 57 | 静岡県環境資源協会事業費補助金 | (一社)静岡県環境資源協会 | 静岡県環境資源協会事業費補助金交付要綱 | 環境保全対策事業、環境ビジネス普及啓発事業、エコアクション21地域事務局、資源・エネルギー対策事業、教育情報事業に要する経費に対し助成 | 14,793,883 | 3,160,000 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|---------|----------------------|---------------------------|----------|------------|----------|------------------------|-----|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 1/2以内 | 3. 6. 4 | 7,500,000 | 4. 5. 31 | 7,500,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 28) | 現 |
| 2/3以内 | 3. 5. 25 | 15,333,000 | 4. 5. 31 | 15,333,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |
| 2/3以内 | 3. 6. 4 3. 12. 7 | 11,440,000 △ 7,200,000 | 4. 5. 31 | 4,047,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 18) | 現 |
| | 小計 | 4,240,000 | | | | | |
| 2/3以内 | 3. 5. 21 | 20,800,000 | 3. 10. 1 | 10,000,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | 現 |
| | | | 4. 5. 31 | 10,800,000 | | | |
| | | | 小計 | 20,800,000 | | | |
| 2/3以内 | 3. 6. 4 | 47,053,000 | 4. 5. 31 | 47,053,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 26) | 現 |
| 2/3以内 | 3. 6. 2 | 11,190,000 | 4. 5. 31 | 11,094,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 20) | 現 |
| 1/2以内 | 3. 5. 20 | 43,900,000 | 4. 5. 31 | 43,900,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 27) | 現 |
| 2/3以内 | 3. 7. 6 3. 12. 9 | 1,600,000 △ 1,034,000 | 4. 3. 31 | 554,000 | 4. 1. 31 | 4. 1. 31 (4. 2. 21) | 現 |
| | 小計 | 566,000 | | | | | |
| 2/3以内 | 3. 7. 19 4. 1. 21 | 50,633,000 △ 4,257,000 | 4. 3. 31 | 46,376,000 | 4. 1. 31 | 4. 1. 31 (4. 2. 17) | 現 |
| | 小計 | 46,376,000 | | | | | |
| 1/2以内 | 3. 6. 28 | 1,662,000 | 4. 5. 31 | 402,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 18) | 現 |
| 1/2以内 | 3. 8. 27 | 1,000,000 | 4. 5. 31 | 946,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 25) | 現 |
| 1/3以内 | 3. 4. 30 | 8,857,000 | 3. 6. 30 | 6,100,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 15) | 現 |
| | | | 4. 5. 31 | 2,757,000 | | | |
| | | | 小計 | 8,857,000 | | | |
| 10/10以内 | 3. 9. 30 4. 2. 15 | 319,500 △ 154,500 | 4. 5. 31 | 150,000 | 4. 3. 25 | 4. 3. 31 (4. 4. 8) | |
| | 小計 | 165,000 | | | | | |
| 定額 | 3. 4. 19 | 3,160,000 | 4. 5. 31 | 3,160,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 19) | |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|------|---------------------------------|----------------------|-------------------------------------|---|---------------|---------------|
| 58 | 医療機器産業基盤強化推進事業費補助金 | (公財)静岡県産業振興財団 | 医療機器産業基盤強化推進事業費補助金交付要綱 | 中小企業が行う医療機器産業の基盤強化の取組に対し助成 | 202,238,965 | 202,238,965 |
| | 新産業集積課 計 | 39件 | | | 1,396,227,392 | 1,185,335,752 |
| | (マーケティング課) | | | | | |
| 59 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金 | 三島函南農業協同組合 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金交付要綱 | 食味と葉位の関係性の調査や、機能性成分の含有量調査等の実施 | 0 | 0 |
| 60 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金 | 静岡県経済農業協同組合連合会 | 〃 | レタスの直送による有利販売の可能性調査の実施 | 719,440 | 350,000 |
| 61 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金 | とびあ浜松農業協同組合 浜松PCガーベラ | 〃 | 専用花瓶の開発等の実施 | 1,256,427 | 301,000 |
| 62 | 産地主導型マーケティング活動支援事業費補助金 | 静岡県温室農業協同組合 静南支所 | 〃 | 阪急交通社等を介したEC販売ルートの構築 | 998,000 | 499,000 |
| 63 | 地域食農連携プロジェクト推進事業費補助金 | 株式会社FIEJA | 地域食農連携プロジェクト推進事業補助金交付等要綱 | フードロスの削減、県産農林水産物の正しい価値の発信を目指した、マガジン付きミールキットの開発 | 1,595,263 | 1,595,263 |
| 64 | 食と観光の連携事業費補助金 | 美食のまちやいづ推進委員会 | 食と観光の連携事業費補助金交付要綱 | 地域の水産物、農産物、観光資源を活かした販促創出を目指した連携会議の開催、事業者アンケートの実施 | 751,919 | 751,919 |
| 65 | 食と観光の連携事業費補助金 | かけがわ栗ヶ岳山麓農泊推進協議会 | 〃 | ロングトレイル客に向けたご当地グルメ(テイクアウト弁当、スイーツ)の開発及び教育旅行市場、首都圏への旅行商品販売 | 1,800,527 | 1,764,027 |
| 66 | 食と観光の連携事業費補助金 | 農泊ライダー協議会 | 〃 | サイクリストに向けたご当地グルメ(サブサンド)、栄養補給食の開発、モニターツアーの企画・実施、宿泊プランの造成 | 1,975,530 | 1,975,530 |
| 67 | 流通加工関係団体活動費補助金 | 静岡県食品産業協議会 | 流通加工関係団体活動費補助金交付要綱 | ・食品加工技術の向上、食の安全・安心や法令遵守等に関する知識・ノウハウ習得のための研修会等を実施 ・新商品開発や販路開拓に資する情報収集・提供、各種研修会等による支援を実施 | 1,151,990 | 383,996 |
| 68 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金 | カメヤ食品株式会社 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金交付要綱 | パッケージ機械の導入、わさび充填ラインの衛生対応 | 23,700,000 | 11,850,000 |
| 69 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金 | 株式会社いまる井川商店 | 〃 | 漬け魚加工施設の新設に伴う機械・設備の整備 | 329,444,800 | 158,066,000 |
| 70 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金 | 株式会社やまも満寿多園 | 〃 | 茶粉砕施設等の整備 | 53,030,000 | 9,790,000 |
| 71 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金 | 山福水産株式会社 | 〃 | 水産加工機械、異物検査機械の整備 | 6,030,000 | 3,015,000 |
| 72 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業費補助金 | 中根製茶株式会社 | 〃 | FSSC2000対応冷却装置の整備 | 10,934,000 | 5,467,000 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|-----------|-----------|---------------|-----------|---------------|----------|------------------------|-------------------------------|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 10/10以内 | 3. 6. 11 | 262,500,000 | 3. 6. 30 | 10,000,000 | 4. 3. 10 | 4. 3. 11 | 現 交付決定 **** |
| | 3. 10. 19 | △ 19,388,000 | 3. 10. 29 | 60,000,000 | | | |
| | 4. 1. 17 | △ 17,301,000 | 4. 1. 31 | 70,000,000 | | | |
| | | | 4. 3. 31 | 62,238,965 | | | |
| | 小計 | 225,811,000 | 小計 | 202,238,965 | | | |
| | | 1,235,751,000 | | 1,185,335,752 | | | |
| 1/2 以内 | 3. 7. 6 | 350,000 | - | - | 4. 3. 22 | 4. 3. 23 | 計画変更 (補助対象経 費の執行無 し) |
| | 4. 3. 10 | △ 350,000 | | | | | |
| | 小計 | 0 | | | | | |
| 1/2 以内 | 3. 7. 6 | 350,000 | 5月中旬 | 350,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 18) | |
| 1/2 以内 | 3. 7. 6 | 301,000 | 5月下旬 | 301,000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 28) | |
| 1/2 以内 | 3. 7. 7 | 499,000 | 4. 4. 12 | 499,000 | 4. 2. 28 | 4. 3. 23 | |
| 10/10以内 | 3. 11. 16 | 4,000,000 | 4. 3. 31 | 1,595,263 | 4. 3. 10 | 4. 3. 11 | 現 国交付決定 3. 7. 7 |
| | 4. 3. 7 | △ 1,000,000 | | | | | |
| | 4. 3. 24 | △ 1,404,737 | | | | | |
| | 小計 | 1,595,263 | | | | | |
| 10/10以内 | 3. 7. 9 | 2,000,000 | 4. 3. 31 | 751,919 | 4. 3. 10 | 4. 3. 11 | 現 国交付決定 **** |
| | 4. 3. 7 | △ 1,233,789 | | | | | |
| | 4. 3. 23 | △ 14,292 | | | | | |
| | 小計 | 751,919 | | | | | |
| 10/10以内 | 3. 7. 12 | 2,000,000 | 3. 7. 20 | 710,000 | 4. 3. 10 | 4. 3. 14 | 現 国交付決定 **** |
| | 4. 3. 24 | △ 235,973 | 4. 3. 31 | 1,054,027 | | | |
| | 小計 | 1,764,027 | 小計 | 1,764,027 | | | |
| 10/10以内 | 3. 7. 13 | 2,000,000 | 3. 7. 28 | 1,000,000 | 4. 3. 2 | 4. 3. 8 | 国交付決定 **** |
| | 4. 3. 11 | △ 24,470 | 4. 3. 25 | 975,530 | | | |
| | 小計 | 1,975,530 | 小計 | 1,975,530 | | | |
| 1/3 以内 | 3. 5. 11 | 410,000 | 4. 4. 20 | 383,996 | 4. 3. 30 | 4. 3. 31 | 現 |
| 1/2以内 | 3. 7. 5 | 11,850,000 | 4. 3. 8 | 11,850,000 | 4. 1. 26 | 4. 2. 15 | 現 国交付決定 3. 6. 29 |
| 1/2以内 | 3. 7. 5 | 175,614,000 | 4. 3. 31 | 158,066,000 | 4. 3. 15 | 4. 3. 31 | 現 国交付決定 3. 6. 29 |
| 1/2以内 | 3. 10. 4 | 13,160,000 | 4. 3. 25 | 9,790,000 | 4. 3. 2 | 4. 3. 4 | 現 国交付決定 3. 9. 29 |
| 1/2以内 | 3. 10. 4 | 3,015,000 | 4. 3. 11 | 3,015,000 | 4. 1. 20 | 4. 2. 14 | 現 国交付決定 3. 9. 29 |
| 1/2以内 | 3. 11. 2 | 5,842,000 | 4. 3. 24 | 5,467,000 | 4. 3. 7 | 4. 3. 8 | 現 国交付決定 3. 10. 28 |

補 助 金

| 整理番号 | 対象事業名 | 交付先 | 補助の根拠 | 事業の実績 | 総事業費 | 補助金額 |
|------------|-------------------------------------|---|---|--|---------------|---------------|
| 73 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金 | 株式会社おさだ製茶 | 6次産業化推進事業費補助金交付要綱 | 低温貯蔵施設整備 | 16,000,000 | 7,678,000 |
| 74 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金 | 株式会社カクニ茶藤 | 〃 | 低温貯蔵施設整備 | 156,656,592 | 78,327,000 |
| 75 | 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金 | 丸山製茶株式会社 | 〃 | 異物除去機、焙煎機導入 | 32,500,000 | 16,250,000 |
| マーケティング課 計 | | 17件 | | | 638,544,488 | 298,063,735 |
| (エネルギー政策課) | | | | | | |
| 76 | 住宅用太陽熱利用設備導入支援事業費事務局活動費補助金 | 静岡県地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人アースライフネットワーク) | 住宅用太陽熱利用設備導入支援事業費補助金交付要綱 | 住宅用太陽熱利用設備の導入に対する補助金の申請受付、審査、交付事務、利用者説明会、意識動向調査等 | 4,964,000 | 4,964,000 |
| 77 | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金 | しずおか未来エネルギー(株) | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金交付要綱 | 小水力発電設備導入(詳細設計の一部) | 2,002,000 | 606,000 |
| 78 | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金 | (株) 外天 | 〃 | 小水力発電設備導入 | 3,280,000 | 993,000 |
| 79 | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金 | 富士総業(株) | 〃 | バイオマス熱電併給設備導入可能性調査 | 11,077,000 | 3,000,000 |
| 80 | ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金 | (同) 富士山朝霧 Biomass | 〃 | バイオマス発電設備導入 | 67,320,000 | 20,400,000 |
| 81 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費補助金 | リニューアブルエナジー・ジャパン(株) コーケン工業(株) | 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費補助金交付要綱 | 草木ペレット発電機の技術開発 | 30,586,470 | 28,266,575 |
| 82 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費補助金 | (株) エコアドバンス | 〃 | 温泉からのメタン・水素ガス生成実証事業 | 1,807,995 | 1,643,632 |
| 83 | 創エネ・蓄エネ技術開発推進事業費補助金 | ガイアフローディステリング(株) | 〃 | 遠隔管理技術を利用したスマート小型メタン発酵システムの開発 | 66,000,000 | 60,000,000 |
| 84 | 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費補助金 | E N E O S (株) | 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築事業費補助金交付要綱 | 脱炭素社会に向けた地域の自立・分散型エネルギーシステム構築に必要な基礎調査 | 22,000,000 | 10,000,000 |
| エネルギー政策課 計 | | 9件 | | | 209,037,465 | 129,873,207 |
| 合計 | | 84件 | | | 2,621,776,144 | 1,885,415,491 |

支 出 調

(令和3年度)

| 補助率 | 交 付 決 定 | | 交 付 | | 事 業 完 了 | | 摘 要 |
|-------------|----------------------------|---|---|------------------|----------|------------------------|----------------------------|
| | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 金 額 | 年 月 日 | 確 認 年 月 日 | |
| 1/2以内 | 3. 3. 26 | 7, 856, 000 | 3. 7. 21 | 7, 678, 000 | 3. 5. 31 | 3. 6. 30 | 国交付決定 3. 3. 23 R3～繰越 |
| 1/2以内 | 3. 3. 26 | 78, 429, 000 | 3. 7. 13 | 78, 327, 000 | 3. 5. 27 | 3. 6. 10 | 国交付決定 3. 3. 23 R3～繰越 |
| 1/2以内 | 3. 3. 26 | 16, 550, 000 | 3. 6. 28 | 16, 250, 000 | 3. 4. 30 | 3. 5. 31 | 国交付決定 3. 3. 23 R3～繰越 |
| | | 319, 962, 739 | | 298, 063, 735 | | | |
| 10/10 以内 | 3. 5. 17 | 4, 964, 000 | 3. 8. 25 3. 11. 19 4. 1. 21 4. 5. 20 | 4, 964, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 20) | |
| 1/3 以内 | 3. 7. 26 4. 3. 29 小計 | 2, 200, 000 △ 1, 594, 000 606, 000 | 4. 5. 27 | 606, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 28) | |
| 1/3 以内 | 3. 11. 5 | 1, 003, 000 | 4. 5. 27 | 993, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 26) | |
| 1/3 以内 | 3. 7. 26 | 3, 000, 000 | 4. 5. 27 | 3, 000, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 26) | |
| 1/3 以内 | 3. 11. 5 | 20, 400, 000 | 4. 5. 31 | 20, 400, 000 | 4. 3. 31 | 4. 3. 31 (4. 4. 26) | |
| 10/10 以内 | 3. 9. 6 | 29, 605, 000 | 4. 3. 31 | 28, 266, 575 | 4. 3. 4 | 4. 3. 22 | |
| 10/10 以内 | 3. 9. 3 4. 3. 14 小計 | 6, 176, 000 △ 4, 532, 368 1, 643, 632 | 4. 3. 31 | 1, 643, 632 | 4. 2. 28 | 4. 3. 22 | |
| 10/10 以内 | 3. 10. 4 | 60, 000, 000 | 4. 3. 31 | 60, 000, 000 | 4. 2. 28 | 4. 3. 18 | |
| 1/2 以内 | 3. 10. 15 | 10, 000, 000 | 4. 3. 18 | 10, 000, 000 | 4. 2. 28 | 4. 2. 28 | 国交付決定 *** |
| | | 131, 221, 632 | | 129, 873, 207 | | | |
| | | 1, 963, 040, 080 | | 1, 885, 415, 491 | | | |

負担金支出調

(令和3年度)

| 整理番号 | 負担金名 | 交付先 | 負担根拠 | 事業内容 | 負担金額 | 支出年月日 |
|----------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-------------|----------|
| (産業イノベーション推進課) | | | | | 円 | |
| 1 | 「TECH BEAT Shizuoka」に係る負担金 | TECH BEAT Shizuoka 実行委員会 | 請求書、「TECH BEAT Shizuoka実行委員会」収支予算書 | 「TECH BEAT Shizuoka」の開催運営 | 35,000,000 | 3. 5. 26 |
| 2 | 「世界で最も美しい湾クラブ」年会費 | Club des plus Belles Baies du Monde | 請求書 | 「世界で最も美しい湾クラブ」の年会費 | 151,092 | 3. 8. 20 |
| 産業イノベーション推進課 (本庁執行分) | | 2件 | | | 35,151,092 | |
| 産業イノベーション推進課 (令達分) | | 68件 | | | 1,679,284 | |
| 産業イノベーション推進課 計 | | 70件 | | | 36,830,376 | |
| (新産業集積課) | | | | | | |
| 3 | はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会負担金 | はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会 | はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会規約 | はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会の事業運営に係る負担金 | 1,000,000 | 3. 5. 6 |
| 4 | フォトンバレーセンター事業費負担金 | (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 | 浜松地域イノベーション推進機構理事会議決事項 | フォトンバレーセンターの活動等に係る負担金 | 67,420,000 | 3. 4. 30 |
| | | | | | △ 2,203,000 | 4. 3. 2 |
| | | | | | △ 2,508,056 | 4. 5. 25 |
| | | | | | 62,708,944 | |
| 5 | 次世代自動車センター事業負担金 | (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 | 浜松地域イノベーション推進機構理事会議決事項 | 次世代自動車センター事業に係る負担金 | 46,000,000 | 4. 3. 31 |
| 新産業集積課 (本庁執行分) | | 3件 | | | 109,708,944 | |
| 新産業集積課 (令達分) | | 7件 | | | 157,200 | |
| 新産業集積課 計 | | 10件 | | | 109,866,144 | |

負担金支出調

(令和3年度)

| 整理番号 | 負担金名 | 交付先 | 負担根拠 | 事業内容 | 負担金額 | 支出年月日 |
|------------------|---------------------------------|-------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-------------|---------|
| (マーケティング課) | | | | | 円 | |
| 6 | 職員研修に係る研修負担金 | 株式会社沖縄県物産公社 | 静岡県職員研修にかかる取扱いに関する協定書 | (株)沖縄県物産公社への本県職員の研修派遣 | 1,080,000 | 3.4.30 |
| 7 | (一社)全国スーパーマーケット協会会費 | (一社)全国スーパーマーケット協会 | (一社)全国スーパーマーケット協会定款 | 協会から情報提供等を受けるための賛助会員としての会費 | 180,000 | 3.4.30 |
| 8 | 静岡県農林水産業振興会負担金 | 静岡県農林水産業振興会 | 静岡県農林水産業振興会規約 | 農林水産業関連諸行事の実施、参加 | 1,200,000 | 3.7.6 |
| 9 | 静岡県農林水産業振興会負担金(首都圏アンテナコーナー負担金分) | 静岡県農林水産業振興会 | 静岡県農林水産業振興会規約 | 首都圏における県産品アンテナコーナーの運営 | 5,830,000 | 3.7.6 |
| 10 | 静岡県農林水産業振興会負担金(食の都づくり負担金分) | 静岡県農林水産業振興会 | 静岡県農林水産業振興会規約 | 「ふじのくに食の都づくり仕事人」の表彰・PR | 2,500,000 | 3.7.9 |
| 11 | 農林水産祭都道府県分負担金 | (公財)日本農林漁業振興会 | 農林水産祭開催要綱 | 全国農林水産祭行事の実施 | 300,000 | 3.8.3 |
| 12 | 「バイ・ふじのくに」伊勢丹物産展負担金 | 株式会社静岡伊勢丹 | 「買ってつながる!「バイ・ふじのくに」物産展in静岡伊勢丹」に関する覚書 | 山梨県と連携した「バイ・ふじのくに」物産展の開催 | 2,706,000 | 3.8.16 |
| 13 | 中国国際輸入博覧会出品料 | 株式会社バクトル | 出品案内書、出品申込書・承諾書 | 中国での展示商談会への出品 | 1,980,000 | 3.10.1 |
| 14 | ふじのくに総合食品開発実行委員会負担金 | ふじのくに総合食品開発実行委員会 | ふじのくに総合食品開発実行委員会規約 | ふじのくに総合食品開発の企画・準備、開催・運営 | 13,000,000 | 3.10.22 |
| | | | | | △ 50,850 | 4.5.30 |
| | | | | | 12,949,150 | |
| 15 | 9th沖縄大交易会2021サプライヤー参加費 | 沖縄大交易会実行委員会事務局 | 参加募集要項、推薦参加者募集要領 | 沖縄交易会への参加支援 | 99,000 | 3.10.29 |
| 16 | スーパーマーケットトレードショー出展小間料 | (一社)全国スーパーマーケット協会 | 出展申込要項 | 首都圏における展示商談会への出展 | 1,848,000 | 3.11.5 |
| マーケティング課 (本庁執行分) | | 11件 | | | 30,672,150 | |
| マーケティング課 (令達分) | | 1件 | | | 67,000 | |
| マーケティング課 計 | | 11件 | | | 30,739,150 | |
| (エネルギー政策課) | | | | | | |
| 17 | 自然エネルギー協議会会費 | 自然エネルギー協議会 | 自然エネルギー協議会規約 | 自然エネルギーの普及・拡大のための国に対する政策提言や情報交換等 | 50,000 | 3.7.7 |
| エネルギー政策課 計 | | 1件 | | | 50,000 | |
| 本庁執行分 計 | | 17件 | | | 175,582,186 | |
| 出先機関令達分 計 | | 76件 | | | 1,903,484 | |
| 産業革新局 合計 | | 93件 | | | 177,485,670 | |

交 付 金

| 整理 番号 | 交付金名 | 交 付 先 | 交 付 根 拠 | 事 業 内 容 | 交付金額 |
|-------------------|----------------------------------|------------------|----------------------|--|---------------|
| (エネルギー政策課) | | | | | |
| 1 | 電源立地地域対策交付金(原子力発電施設等周辺地域交付金相当部分) | 一般財団法人電源地域振興センター | 電源立地地域対策交付金交付要綱 | 原子力発電施設立地地域の住民福祉の向上を図るための給付金交付事業 | 1,664,716,959 |
| 2 | 電源立地地域対策交付金(水力発電施設周辺地域交付金相当部分) | 富士宮市外6市町 | 電源立地地域対策交付金交付要綱 | 水力発電施設立地地域の住民福祉の向上を図るための公共用施設の整備事業等 | 99,650,100 |
| 3 | 石油貯蔵施設立地対策等交付金 | 静岡市外7市町等 | 石油貯蔵施設立地対策等交付金交付要綱 | 石油貯蔵施設の周辺地域の住民福祉の向上を図るための公共用施設の整備事業 | 51,765,300 |
| 4 | 特定発電所周辺地域振興対策交付金 | 御前崎市外10市町 | 特定発電所周辺地域振興対策交付金交付要綱 | 特定発電所の周辺における地域の振興又は地域住民の福祉の向上を図るために特定発電所所在市及び隣接市並びに周辺関係市町が実施する事業 | 247,999,988 |
| | エネルギー政策課計 | 4 件 | | | 2,064,132,347 |
| | 合計 | 4 件 | | | 2,064,132,347 |

支 出 調

(令和3年度)

| 交付決定 | | 交 付 | | 事業完了 | | 摘 要 |
|--------|---------------|---------|---------------|--------|---------------------|--------------------|
| 年月日 | 金 額 | 年月日 | 金 額 | 年月日 | 確認年月日 | |
| 3.5.12 | 1,770,956,258 | 3.11.19 | 1,593,860,632 | | | 国の交付決定日 |
| 4.1.26 | △ 79,613,134 | 4.2.21 | 97,482,492 | 4.3.31 | 4.3.31 (4.4.21) | 3.4.30 |
| 4.3.31 | △ 26,626,165 | 4.5.31 | △ 26,626,165 | | | 国の変更承認日 |
| 小計 | 1,664,716,959 | 小計 | 1,664,716,959 | | | 4.1.20 |
| 3.5.10 | 14,000,000 | 4.3.31 | 14,000,000 | 4.2.24 | 4.2.24 (4.3.4) | 国の交付決定日 3.4.26 |
| 3.6.10 | 8,120,000 | 3.11.22 | 7,024,000 | 3.10.5 | 3.10.5 (3.10.25) | 国の交付決定日 |
| 3.8.6 | △ 1,096,000 | | | | | 3.6.8 |
| 3.6.10 | 6,484,000 | 4.3.31 | 6,462,500 | 4.2.24 | 4.2.24 (4.3.4) | 国の交付決定日 |
| 4.3.9 | △ 21,500 | | | | | 3.6.8 |
| 3.6.1 | 11,450,000 | 4.3.31 | 11,307,600 | 4.2.15 | 4.2.15 (4.3.4) | 国の交付決定日 |
| 4.3.9 | △ 142,400 | | | | | 3.5.31 |
| 3.7.7 | 26,300,000 | 4.3.31 | 26,190,000 | 4.2.25 | 4.2.25 (4.3.7) | 国の交付決定日 |
| 4.3.9 | △ 110,000 | | | | | 3.7.1 |
| 3.7.1 | 18,042,000 | 4.3.31 | 18,042,000 | 4.2.25 | 4.2.25 (4.3.7) | 国の交付決定日 3.6.28 |
| 3.7.1 | 16,644,000 | | | | | 国の交付決定日 3.6.29 |
| 4.3.9 | △ 20,000 | 4.3.31 | 16,624,000 | 4.2.28 | 4.2.28 (4.3.7) | 国の変更承認日 3.10.19 |
| 小計 | 99,650,100 | 小計 | 99,650,100 | | | |
| 3.7.30 | 51,810,000 | 4.3.31 | 51,765,300 | 4.2.28 | 4.2.28 (4.3.4) | 国の交付決定日 |
| 4.3.9 | △ 44,700 | | | | | 3.7.27 |
| 小計 | 51,765,300 | 小計 | 51,765,300 | | | |
| 3.6.10 | 247,999,988 | 4.5.31 | 247,999,988 | 4.3.31 | 4.3.31 (4.4.27) | |
| | 2,064,132,347 | | 2,064,132,347 | | | |
| | 2,064,132,347 | | 2,064,132,347 | | | |

建 築

| 整理 番号 | 予算科目 | 工事名 | 工事箇所 | 当 設 計 金 額 | 契約金額 | | |
|----------------------|-------|--------------------------------------|---------------|-----------------------|-----------|----------|-----------|
| | | | | | 当初額 | 変更増減額 | 計 |
| | | (産業イノベーション推進課) | | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 沼津土木 事務所 | 産業革新費 | 沼津工業技術支援セン ター共同研究室改修工事 | 沼津市大岡 | 5,368,000 | 5,258,000 | △ 33,000 | 5,225,000 |
| 浜松工業 技術支援 センター | 産業革新費 | 浜松工業技術支援セン ターIoT推進ラボ設置工事 | 浜松市北区 新都田 | 2,084,500 | 2,084,500 | 0 | 2,084,500 |
| 浜松工業 技術支援 センター | 産業革新費 | 浜松工業技術支援セン ター小研修室天井ボード 改修工事 | 浜松市北区 新都田 | 299,200 | 299,200 | 0 | 299,200 |
| | | 産業イノベーション推進 課 計 | 3件 | 7,751,700 | 7,641,700 | △ 33,000 | 7,608,700 |
| | | (新産業集積課) | | | | | |
| 1 | 産業革新費 | 静岡県医療健康産業研究 開発センター別棟西側ダ クト改修工事 | 駿東郡長泉 町下長窪 | 770,000 | 759,000 | | 759,000 |
| | | 新産業集積課 計 | 1件 | 770,000 | 759,000 | 0 | 759,000 |
| | | 産業革新局 合計 | 4件 | 8,521,700 | 8,400,700 | △ 33,000 | 8,367,700 |
| | | (産業革新局執行) | 1件 | 770,000 | 759,000 | 0 | 759,000 |
| | | (他部局執行) | 4件 | 7,751,700 | 7,641,700 | △ 33,000 | 7,608,700 |

工 事 調

(令和2年度)

| 契約締結方法 | 受注者 | 着手 完成(予定) 年 月 日 | 支出済額 | 工事概要 | 公有財産台帳 | 摘要 |
|--------|-----------------|-----------------------|-----------|--|--------|--------------------------------|
| | | | 円 | | | |
| 一般 | 有限会社カワグチ建設 | 3. 5. 18 3. 8. 20 | 5,225,000 | IoT推進ラボのサテライトラボを設置するための沼津工業技術支援センター共同研究室改修工事 | - | 最終支払日 4. 4. 21 |
| 随契 | 株式会社エンソー | 3. 8. 25 3. 9. 30 | 2,084,500 | IoT推進ラボのサテライトラボを設置するための浜松工業技術支援センター電源及び通信回線設置工事 | - | 最終支払日 3. 10. 21 随契1号(少額) |
| 随契 | 株式会社大東建設 | 3. 5. 19 3. 8. 31 | 299,200 | IoT推進ラボのサテライトラボを設置するための浜松工業技術支援センター小研修室天井ボード改修工事 | - | 最終支払日 3. 6. 25 随契1号(少額) |
| | | | 7,608,700 | | | |
| | | | 円 | | | |
| 随契 | (株)ワールドエンジニアリング | 4. 2. 10 4. 3. 25 | 759,000 | 静岡県医療健康産業研究開発センター別棟西側ダクト改修工事 | - | 最終支払日 4. 4. 15 随契1号(少額) |
| | | | 759,000 | | | |
| | | | 8,367,700 | | | |
| | | | 759,000 | | | |
| | | | 7,608,700 | | | |

補 助 工

| 整理 番号 | 補助事業名 | 補助金 交付先 | 事業主体 | 事業の規模 | 事業箇所 | 事業費 | 補 助 対 象 費 | 補助率 |
|------------|------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------|------------|------------|--|
| | | | | | | 円 | 円 | |
| (エネルギー政策課) | | | | | | | | |
| 1 | 住宅用太陽熱利用設備導入支援事業 | 静岡県地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人アースライフネットワーク） | 田辺好子外200者 | | 熱海市外200箇所 | 8,686,000 | 8,686,000 | 県 10/10以内 補助金交付先から事業主体への補助率は設置費の1/10（上限10万円） |
| 2 | 水素供給設備整備事業 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 岩谷産業株式会社 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 岩谷産業株式会社 | 水素ステーション1基（供給能力300Nm ³ /h） | 浜松市東区 | 68,053,000 | 61,330,000 | 1/6 （ただし補助対象経費からその他収入を控除した額のいずれか少ない額、かつ上限1億円） |
| 3 | 水素供給設備整備事業 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 日本エア・リキード合同会社 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 日本エア・リキード合同会社 | 水素ステーション1基（供給能力300Nm ³ /h） | 沼津市 | 9,090,000 | 6,702,545 | 1/6 （ただし補助対象経費からその他収入を控除した額のいずれか少ない額、かつ上限1億円） |
| 4 | 水素供給設備整備事業 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 岩谷産業株式会社 | 日本水素ステーションネットワーク合同会社 岩谷産業株式会社 | 水素ステーション1基（供給能力300Nm ³ /h） | 御殿場市 | — | — | 1/6 （ただし補助対象経費からその他収入を控除した額のいずれか少ない額、かつ上限1億円） |
| 合 計 | | | | | | 85,829,000 | 76,718,545 | |

事 調

(令和3年度)

| 補助金 交付金額 | 工事進捗状況 | | | 交付決定 | | 補助金交付 | | 事業 確認 年月日 | 摘要 |
|-------------|-----------|---------------|----------|-------------------|---------------------------|---------------------------------------|------------|--------------------|--|
| | 着手 年月日 | 完成(予定) 年月日 | 進捗率 % | 年月日 | 金額 円 | 年月日 | 金額 円 | | |
| 8,686,000 | 3.5.17 | 4.3.31 | 100 | 3.5.17 | 10,000,000 | 3.8.25 3.11.19 4.1.21 4.5.20 | 8,686,000 | 4.3.31 (4.4.20) | |
| | | | 小計 | | 10,000,000 | | | | |
| 10,221,666 | 3.5.17 | 3.7.30 | 100 | 3.5.14 3.7.29 | 14,300,000 △ 4,078,334 | 3.11.22 | 10,221,666 | 3.8.12 | 現 |
| | | | 小計 | | 10,221,666 | | | | |
| 1,117,000 | 3.12.26 | 4.2.18 | 100 | 3.11.15 | 1,273,000 | 4.4.28 | 1,117,000 | 4.3.24 | |
| | | | 小計 | | 1,273,000 | | | | |
| — | — | — | — | 3.11.15 4.3.11 | 1,423,000 △ 1,423,000 | — | — | — | 補助金 交付先 からの 申入れ による 取下げ |
| | | | 小計 | | 0 | | | | |
| 20,024,666 | | | | | 21,494,666 | | 20,024,666 | | |

公 有 財 産 調

(令和3年度)

| 区 分 | 令和3年3月31日 現在 | | 増 | | 減 | | 令和4年3月31日 現在 | | 摘 要 |
|----------------|--------------------------|-----------------|---------------------|---------|---------------------|---------------|--------------------------|-----------------|-----|
| | 数量又は面積 | 台帳価格 | 数量又は面積 | 台帳価格 | 数量又は面積 | 台帳価格 | 数量又は面積 | 台帳価格 | |
| 行政財産 | / | 千円 5,614,304 | / | 千円 0 | / | 千円 102,305 | / | 千円 5,511,999 | |
| 土 地 | 43,744.47 m ² | 3,830,766 | 0.00 m ² | 0.00 | 0.00 m ² | 0 | 43,744.47 m ² | 3,830,766 | |
| 建 物 | 7,995.32 m ² | | 0.00 m ² | | 0.00 m ² | | 7,995.32 m ² | | |
| | 16,866.43 m ² | 1,437,607 | 0.00 m ² | | 0.00 m ² | 75,470 | 16,866.43 m ² | 1,362,137 | |
| 工作物 | 125 個 | 345,931 | 0 個 | 0 | 3 個 | 26,835 | 122 個 | 319,096 | |
| 特許権等 | 6 件 | 0 | 1 件 | 0 | 0 件 | 0 | 7 件 | 0 | |
| 普通財産 | / | 千円 1,188,000 | / | 千円 0 | / | 千円 0 | / | 千円 1,188,000 | |
| 出資による権利 | 5 件 | 1,188,000 | 0 件 | 0 | 0 件 | 0 | 5 件 | 1,188,000 | |
| 公有財産に準 ずるもの | / | 千円 779 | / | 千円 0 | / | 千円 0 | / | 千円 779 | |
| 電話加入権 | 21 件 | 779 | 0 件 | 0 | 0 件 | 0 | 21 件 | 779 | |

出 資

| 出 資 先 (代 表 者 名) | 所 在 地 | 資 本 金 又 基 本 財 産 (A) | 県 出 | |
|---|-----------------------|-----------------------------|------------------|----------------|
| | | | 2 年 度 末 現 在 額 | 3 年 度 増 減 額 |
| (一財) マリンオープンイノベーション 機構 (理事長 松永 是) | 静岡市葵区追手町9-18 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| (公財) 浜松地域イノベーション推進機 構 (理事長 古橋 利広) | 浜松市中区東伊場2-7-1 | 965,700,000 | 183,000,000 | 0 |
| (一財) 東海産業技術振興財団 (理事長 神野 吾郎) | 愛知県豊橋市西幸町字浜 池333-9 | 904,000,000 | 2,000,000 | 0 |
| (公財) ふじのくに医療城下町推進機構 (理事長 大坪 檀) | 駿東郡長泉町下長窪1002 -1 | 1,000,000,000 | 1,000,000,000 | 0 |
| 合 計 | | 2,872,700,000 | 1,188,000,000 | 0 |

金 調

(令和3年度)

| 資 金 等 | | | 決算月 | 年 間 配 当 率 | 出資目的 |
|--------------------|------------|--------------|-----|--------------|---|
| 3 年 度 末 現在額 (B) | 出資の 初年度 | 出資率 (B/A) | | | |
| 円 | 年度 | % | 月 | % | |
| 3,000,000 | 令和 元 | 100.0 | 3 | - | 県が進めるマリンオープンイノベーションプロジェクトを推進する。 (産業イノベーション推進課) |
| 183,000,000 | 昭和 58 | 18.9 | 3 | - | 産学官が連携し、地域企業の経営基盤強化を図る。(新産業集積課) |
| 2,000,000 | 昭和 62 | 0.2 | 3 | - | 東海地域における産学の振興を図る。(新産業集積課) |
| 1,000,000,000 | 平成 29 | 100.0 | 3 | - | 県が進めるファルマバレープロジェクトを推進する。(新産業集積課) |
| 1,188,000,000 | | | | | |

基金の管理状況調

(産業イノベーション推進課)

静岡県美しく豊かな海保全基金

(令和3年度現在)

| 保管区分 | 令和2年度末 | 令和3年度中増減高 | | | 令和3年度末 | 摘要 |
|----------------|--------|------------------|--------|------------------|------------------|-------------------------------|
| | 現在高 | 増 | 減 | 差引増減高 | 現在高 | |
| 別段預金 (一括運用) | 円 0 | 円 150,000,000 | 円 0 | 円 150,000,000 | 円 150,000,000 | 積立 R4.3.29 150,000,000円 |
| 計 | 0 | 150,000,000 | 0 | 150,000,000 | 150,000,000 | |

行政財産貸付・

| 整理 番号 | 区分 | 種別 | 所在地 | 地目 | | 数量又は面積 |
|----------|----|------|-----------------|-----|---------------|-----------------------|
| | | | | 台帳 | 現況 | |
| 1 | 土地 | 土地 | 駿東郡長泉町下長窪1002-1 | その他 | — | 16 本 |
| 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 1 本 |
| 3 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 1 本 |
| 4 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 2 本 |
| 5 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 2 本 |
| 6 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 9.60 m ² |
| 7 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 0.64 m ² |
| 8 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 50.00 m ² |
| 9 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 12.50 m ² |
| 10 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 0.25 m ² |
| 11 | 建物 | 事務所建 | 〃 | — | 鉄筋鉄骨コンクリート3階建 | 653.84 m ² |
| 12 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 鉄筋鉄骨コンクリート3階建 | 138.38 m ² |
| 13 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 鉄筋鉄骨コンクリート3階建 | 49.61 m ² |
| 計 | | | | | | |

使用許可調

(令和4年3月31日現在)

| 貸付料又は使用料 | | 貸付又は 使用許可期間 | 貸付又は使用許可を受けた者の氏名 | 貸付・使用許可 目的 |
|----------|---------|-------------------|---------------------|---------------|
| 単価 | 年額 (円) | | | |
| - | 24,000 | 2. 4. 1~7. 3. 31 | 東京電力パワーグリッド(株)静岡総支社 | 電柱、支線、支柱 |
| - | 1,500 | 3. 7. 5~7. 3. 31 | 東京電力パワーグリッド(株) | 支線 |
| - | 1,500 | 4. 3. 2~4. 3. 31 | 東京電力パワーグリッド(株) | 支線 |
| - | 3,000 | 29. 4. 1~4. 3. 31 | 西日本電信電話(株)静岡支店 | 支線 |
| - | 3,000 | 4. 3. 2~4. 3. 31 | 西日本電信電話(株)静岡支店 | 電柱、支線 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~4. 3. 31 | 長陵会 | 記念碑 |
| - | 免除 | 29. 4. 1~4. 3. 31 | 長泉町 | 防災行政無線 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~6. 3. 31 | (公財)ふじのくに医療城下町推進機構 | 駐車場 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~6. 3. 31 | 〃 | 〃 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~4. 3. 31 | 富士急シティバス株式会社 | バス停 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~6. 3. 31 | (公財)ふじのくに医療城下町推進機構 | 事務室 |
| - | 484,400 | 3. 4. 1~4. 3. 31 | 静岡県がんセンター局 | 〃 |
| - | 免除 | 3. 4. 1~6. 3. 31 | (公財)ふじのくに医療城下町推進機構 | モデルルーム |
| 517,400 | | | | |

備品・図書調

(令和3年度)

| 区 分 | 令和3年3月31日現在 | 増 | | 減 | | 令和4年3月31日現在 |
|----------------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| | 数量 | 数量 | 購入価格 円 | 数量 | 売却価格 円 | 数量 |
| 1-1 机類 | 4 | (0) 0 | | (0) 0 | | 4 |
| 1-3 いす類 | 31 | (1) 1 | | (0) 0 | | 32 |
| 1-4 収納保管庫類 | 7 | (0) 0 | | (0) 0 | | 7 |
| 1-7 書類整理器具類 | 1 | (0) 0 | | (0) 0 | | 1 |
| 1-10 印判類 | 3 | (0) 0 | | (0) 0 | | 3 |
| 1-12 寝具類 | 1 | (0) 0 | | (0) 0 | | 1 |
| 1-13 厨房器具類 | 60 | (0) 0 | | (0) 0 | | 60 |
| 1-19 掲示板・黒板 | 2 | (0) 0 | | (0) 0 | | 2 |
| 1-99 その他の庁用器具類 | 41 | (0) 0 | | (0) 0 | | 41 |
| 2-1 情報処理機器類 | 27 | (0) 0 | | (0) 0 | | 27 |
| 2-2 情報伝達機器類 | 3 | (0) 0 | | (0) 0 | | 3 |
| 3-1 撮影機器類 | 7 | (0) 1 | | (0) 0 | | 8 |
| 3-2 観察・観測用光学機器類 | 0 | (0) 1 | | (0) 0 | | 1 |
| 3-3 視覚用再生等機器類 | 8 | (0) 0 | | (0) 0 | | 8 |
| 4-6 獣医用機器類 | 5 | (0) 4 | | (0) 0 | | 9 |
| 5-1 強度(物性)試験計測機器類 | 3 | (0) 1 | | (0) 0 | | 4 |
| 5-2 波動・熱試験計測機器類 | 12 | (0) 1 | | (0) 10 | | 3 |
| 5-3 電気試験計測器類 | 2 | (0) 0 | | (0) 0 | | 2 |
| 5-4 分析化学機器類 | 6 | (0) 0 | | (0) 0 | | 6 |
| 5-99 その他の試験計測機器類 | 23 | (0) 5 | | (0) 6 | | 22 |
| 6-4 電気電子機器類 | 6 | (0) 0 | | (0) 4 | | 2 |
| 6-99 その他の諸機器類 | 3 | (0) 0 | | (0) 0 | | 3 |
| 8-1 車両類 | 5 | (0) 0 | | (0) 0 | | 5 |
| 9-1 標本美術品 | 0 | (0) 1 | | (0) 0 | | 1 |
| 50-1 図書 | 1 | (0) 0 | | (0) 0 | | 1 |
| 計 | 261 | (1) 15 | 0 | (0) 20 | 0 | 256 |

主 要 備 品 調

(令和4年3月31日現在)

| 整理 番号 | 区 分 | | 品名・規格 | 利用状況 | 購入年月 | 購入金額 |
|----------|------|------------|--|---------------------------|----------|----------------|
| | 大・中 | 小 | | | | |
| 1 | 1-4 | その他の収納保管場所 | 移動式書庫 L7300D1070 | 毎日 (年間260日) | 平成10年11月 | 1,785,000 円 |
| 2 | 1-4 | その他の収納保管場所 | 横スライド書庫 6-8タイプ | 毎日 (年間260日) | 平成10年11月 | 1,023,750 |
| 3 | 5-4 | その他の分析化学機器 | 細胞イメージアナライザー | 月10回(年間120日) 研究に使用(貸1) | 平成23年9月 | 46,830,000 |
| 4 | 5-2 | 光試験計測機器 | 多層膜フィルタ透過率測定装置増 テクノシナジー社製WO | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成29年4月 | 15,800,400 |
| 5 | 5-99 | 試験実験機器 | 自己校正機能付き角度位置決め装置 特注品 Model:SCM-1 | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 令和2年 4月 | 8,140,000 |
| 6 | 6-99 | その他の諸機器 | 実用実証機体(一式) | 毎日(年間365日) 研究に使用 | 平成31年 1月 | 6,016,246 |
| 7 | 5-99 | 試料調整機器 | 大面積薄膜作製装置 ミニラボML-200等 | 毎日(年間365日) 研究に使用 | 平成30年 4月 | 5,324,400 |
| 8 | 6-4 | その他の電気電子機器 | 全固体高出力グリーンレーザ OPSレーザ | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成29年 4月 | 5,212,080 |
| 9 | 5-99 | 計測機器 | 中性子透過画像撮影用高速カメラ FANTCAM NOVA S6 800 | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 令和2年 4月 | 4,999,500 |
| 10 | 5-4 | 分光分析機器 | 分光放射計 CAS140D-154UB | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成30年 4月 | 4,989,600 |
| 11 | 5-4 | 分光分析機器 | 超広ダイナミックレンジ光検装置 分光器部、光検出器部 | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成28年 4月 | 4,428,000 |
| 12 | 5-99 | 試験実験機器 | リサイクル分取HPLC装置 LaboACE LC-5060 | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成29年 4月 | 4,002,696 |
| 13 | 6-99 | その他の諸機器 | 小型試験機(一式) | 毎日(年間365日) 研究に使用 | 平成29年 3月 | 3,982,929 |
| 14 | 5-99 | 洗浄器 | 大面積基板洗浄装置 UVオゾンクリーナー | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成30年 4月 | 3,231,900 |
| 15 | 4-6 | 保存用機器 | 保存用機器 W320×D220×H430mm | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 令和4年 3月 | 2,475,000 |
| 16 | 5-3 | 紫外線試験計測機器 | 大面積紫外線照射装置 HLDL-350X260U6-1UPSC | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成30年 4月 | 2,283,552 |
| 17 | 5-99 | 試験実験機器 | ピエゾXY軸ステージ 各50μm 静電容量センサー | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 令和2年 4月 | 2,183,280 |
| 18 | 5-2 | 光試験計測機器 | 直視結像光学ユニット OL600、OL600-L-100 | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 平成29年 4月 | 2,181,600 |
| 19 | 3-2 | 顕微鏡 | 顕微鏡 倍率範囲7.3×-120× | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸2) | 令和4年 3月 | 1,980,000 |
| 20 | 1-4 | その他の収納保管庫 | 少量危険物倉庫 2坪タイプ | 毎日(年間365日) 研究に使用(貸3) | 平成29年 3月 | 1,836,000 |

※(貸1)は静岡県立大学に、(貸2)は産業技術総合研究所に、(貸3)はふじのくに医療城下町推進機構に設置